

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
東京福祉大学	Special奨学生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	経済社会で活躍できる優秀な人材の養成を目的とし、Special奨学生選考の上位合格者の学生に経済支援を行う。		免除・減免	4年間で約500万円を免除。4年間の授業料・施設設備費を全額免除。海外短期研修・留学の参加費が半額免除となります。	4年間 出願の期、成績などの審査あり。	1年間10名程度	地域の制限なし	入学課	併用可	併用可		
	同窓生・在学生・教職員紹介入生対象奨学金制度	学校出願時		入学金・授業料減免	本学の同窓生(同窓会加入者)、在学生(同窓会加入者)、教職員による紹介で入学された方に入学相当額(大学学部定額部20万円)を免除します。		免除・減免	入学相当額(大学学部定額部20万円)			地域の制限なし	入学課	併用可	併用可		
	学内奨学金制度	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	申請条件 (1)入学希望者と紹介者(東京福祉大学グループ同窓生、在学生、教職員)の関係が家族、親戚、または親しい関係にあること (2)入学手続き時に同窓会費を納入し、本学同窓会員となる方		免除・減免	授業料の全額または半額を免除します。	1年間	年間30名程度	地域の制限なし	入学課	併用可	併用可		
	同窓会奨学金制度	その他	2年次以降	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学の同窓生(同窓会加入者)のうち、学業・人物ともに優秀と認められた場合、またはその特別な事情があると認められる場合に東京福祉大学同窓会より支給される奨学金です。2年次以降、申込者を選考し、該当年度の授業料の全額または半額を免除します。		免除・減免	授業料の全額または半額を免除します。	1年間	年間5~10名程度	地域の制限なし	入学課	併用可	併用可		
	総合型選抜特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	総合型選抜・選抜優異型および総合型選抜(活動発表型)の受験者のうち、特に優秀な成績を修めた者と本学が認めたい者		免除・減免	A特待 初年度授業料全額免除(300,000円) B特待 初年度授業料半額免除(402,500円) C特待 初年度授業料4分の1免除(201,250円)	1~3年間		地域の制限なし	伊勢崎キャンパス 入学課	併用可	併用可		
跡見学園女子大学	跡見学園女子大学後援会修学奨励奨学金	在学中	1年次秋学期以降	学費支援	跡見学園女子大学後援会修学奨励奨学金は跡見学園後援会からの補助金により、経済上の理由で学業の継続が困難な学部生に対し、学費援助を目的として給付するものです。 *募集時期 5月・10月(年2回) *対象 1年次秋学期以降に在籍している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ修学の見込みがあると認められる者 第一種奨学金 (1)主たる計支支持者の死亡、失職、病氣、事故その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2)天災その他の災害により、学費の納入ができない場合 第二種奨学金 (1)経済的収入その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2)学費納入ができない特段の事情がある場合 *給付回数 第一種奨学金 原則1回のみ 第二種奨学金 原則2回まで *返還 なし *併願 他の奨学金との重複受給は認めない。ただし、跡見校友会一帯会修学奨励奨学金と同年度に重複して受給できない。		給付奨学金				地域の制限なし	学生サポートセンター学生課	条件有り併用可	条件有り併用可		
	跡見校友会一帯会修学奨励奨学金	在学中	2年次以降	学費支援	跡見校友会一帯会修学奨励奨学金は、本校友会(一帯会)が経済上の理由で学業の継続が困難な学部生に対し、学費援助を目的として給付するものです。 *募集時期 10月(年1回) *対象 2年次春学期以降に在籍している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ修学の見込みがあると認められる者 第一種奨学金 (1)主たる計支支持者の死亡、失職、病氣、事故その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2)天災その他の災害により、学費の納入ができない場合 第二種奨学金 (1)経済的収入その他の理由により、学費の納入ができない場合 (2)学費納入ができない特段の事情がある場合 *給付回数 第一種奨学金 原則1回のみ 第二種奨学金 原則2回まで *返還 なし *併願 他の奨学金との重複受給は認めない。ただし、跡見校友会一帯会修学奨励奨学金と同年度に重複して受給できない。		給付奨学金			地域の制限なし	学生サポートセンター学生課	条件有り併用可	条件有り併用可			
	跡見花塚記念奨学金	その他	前年度学業成績上位者より選考するため、申請は受け付けていない。	特待生・成績優秀者	跡見花塚記念奨学金は本学に在学する特に優秀な成績を修めた学生に対し、これを表彰し、奨学金を給付するものです。 *選考 各学科・各研究科、学年ごとの前年度学業成績上位者 *対象 学部 2~4年生、大学院1年生 *発表の時期 6月 *返還 なし *その他 他の奨学金との重複受給は認めない。		給付奨学金	*給付額 大学の授業料の一学期分当額			地域の制限なし	学生サポートセンター学生課	併用可	併用可		
埼玉医科大学	埼玉医科大学医学部特別奨学金	学校出願時		学費支援	【目的と概要】 専攻分野等に対し、経済的援助を行うことにより、本学の建学の理念に即し、将来本業の一員として医学・医療の発展に貢献し、活躍できる人材を育成するために設ける奨学金制度です。卒業後、貸付期間の1.5倍の期間、本学に勤務することにより貸付した奨学金の返還が免除されます。大学入学生共済システム利用後の申請を受理し、奨学金を支付し、奨学金を支給いたします。 【対象条件】 下記の条件を満たす者 ①大学入学生共済(特待)受給者であること、2022年度(令和4年度)大学入学生共済システム利用通知(出願予定)の巻2卒業後、直ちに本学に勤務し、医学・医療の発展に貢献する意思を有する者 ②高等学校又は中等教育学校等を2021年3月に卒業(修了)した者、若しくは2022年3月に卒業(修了)見込みの者 【申請方法】 医学部大学入学生共済システム利用後の出願時		貸付奨学金	入学期 350万円、2年次以降 年300万円(総額 1,850万円)								
	研究医科奨学金(研究医科)	在学中	2年次	研究支援制度	【目的と概要】 病気の研究医と基礎医学を専攻する学生のために設ける貸付型奨学金制度です。貸付した者が、埼玉医科大学医学部基礎医学部門において勤務した期間の合計が、貸付した月数と同数の期間に達した場合は返還が免除されます。 【返還免除条件】 埼玉医科大学医学部基礎医学部門において勤務した期間の合計が、貸付した月数と同数の期間に達した場合は返還が免除されます。		貸付奨学金	貸付額 月10万円(総額840万円)								
	毛呂山会育英奨学金	在学中	特になし	学費支援	家庭の事情などにより学費の支払いが困難となった医学部の学生を支援します。 初期臨床研修終了後に返還を開始していただきます。返還期間や年間返還金額などについては個別に定めます。		貸付奨学金	個別に定める								
	第3種特別特待奨学生	その他	学年進級時に処理	特待生・成績優秀者	1~5年次の成績優秀者に対して前年度の成績をもとに選抜します。		免除・減免	授業料のうち150万円を免除								
	埼玉医科大学保健医療学部 第二種特待生制度	その他	進級時に処理	特待生・成績優秀者	2年~4年次の保健医療学部学生対象 入学後2年次以上の各学年において前年度の成績および人物が特に優れている者		免除・減免	免除額30万円(実験実習費相当額)								
	埼玉医科大学保健医療学部 第一種特待生制度	入学手続き時		特待生・成績優秀者	保健医療学部一般入試(前期)合格者対象 保健医療学部の一般入試(前期)合格者のうち、試験の成績が極めて優秀な者		免除・減免	免除額50万円(授業料の一部および実験実習費相当額)								
	埼玉医科大学保健医療学部 富岡園基金奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	対象学年 全学年 学部 保健医療学部 学科 臨床検査学科・臨床工学科・理学療法学科の3学科 資格・条件 1. 経済的理由により修学の困難な学生 2. 奨学金の貸与する必要性が高いと認められる学生 3. 他の奨学金制度と併用可能 返還免除 卒業時に返還計画書を提出。毎月支払いにより返還する(無利子)。 卒業により奨学金の貸与が終了したら、卒業の翌月から貸与された月数の倍以内の期間に毎月均等額を返還する。		貸付奨学金	月額30,000円								
	埼玉医科大学保健医療学部看護学科等奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援 就職支援	対象学年 全学年 学部 保健医療学部 学科 看護学科 資格・条件 1. 希望者全員に貸与可能 2. 他の奨学金制度と併用可能 返還免除 埼玉医科大学の関連病院の正職員として就職し、貸付期間と同期間勤務すると貸付金額の全額が返還免除される。		貸付奨学金	月額30,000円								
	埼玉工業大学	特別奨学生制度	学校出願時	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	埼玉工業大学では、一般選抜入試および大学入学生共済システム利用入試(特待)において、奨学生制度を導入いたします。試験結果で成績優秀者が、選考の対象となります。奨学生は採用されます。下記の優待措置が適用されます。 A奨学生 … 初年度授業料等※(1)の全額免除 B奨学生 … 初年度授業料等※(1)の半額免除 C奨学生 … 入学相当額返還 ※1 授業料等は、授業料・実験実習費・施設設備費の合計です。		給付奨学金 免除・減免	工学部 A奨学生：132万円 免除/B奨学生：66万円 免除/C奨学生：22万円 返還 人間社会学部 A奨学生：100万円 免除/B奨学生：51万円 免除/C奨学生：22万円 返還								
	城西大学	城西大学・城西短期大学奨学生制度	在学中	学科ごとに各学年1~2名程度 ※本奨学金の対象者は学内推薦による決定されるため、募集は行われません。	特待生・成績優秀者 学費支援	城西大学・城西短期大学奨学生制度 創設者田三善初代理事長の育英理想を実現するために設けられたもので、成績・人物等優秀な者を選考し、授業料の一部として年間300,000円の奨学金が貸与されます。 成績・人物などが特に優秀な学生を各学科から1~2名選抜します。		貸付奨学金	年間300,000円							
グローバルチャレンジ奨学金制度		学校出願時		研究支援制度 学費支援 留学期間支援制度 資格取得支援制度	エントリー資格 ①学校推薦型選抜 総合型選抜B日程またはB日程での入学予定者のうち、以下の基準のいずれかを満たしている者。 -実用英語検定準2級以上の資格取得者 -GTEC CBT 750点以上の資格取得者 -GTEC for Students (L&R) 500点以上の資格取得者 -TOEIC Listening&Readingテスト400点以上の資格取得者 (IP可) エントリーおよび提出書類 選考の出願書類と併せて下記書類を併封し提出してください。 ①学校推薦型選抜・総合型選抜 ②学校推薦型選抜(指定校型)総合型選抜志願書 グローバルチャレンジ奨学金エントリー希望欄およびエントリー資格チェック。 -エントリー資格証明書の写し等 選考方法 ①学校推薦型選抜(指定校型)B日程またはB日程での入学予定者のうち、申請基準資格取得状況および高等学校または中等教育学校在学中の成績を判定に使用する。 ②総合型選抜においては、申請基準資格取得状況および各学部・学科の選考内容を判定に使用する。		給付奨学金	200,000円+短期語学研修参加者若しくは10万円を助成	1~3年間 2~3回限り	3~4年間 3名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
JEAP奨学生のための奨学制度		在学中	1年生~4年生	留学期間支援制度	城西大学海外教育プログラム(JEAP)で長期留学期間を在学中に経済的に支援する制度で、若干名を選抜する。		給付奨学金	給付額 年間20万円	1回限り	年間5名程度	地域の制限なし	国際教育センター	併用可	併用可		
学校法人城西大学 上層育英奨学金		在学中	1年生~6年生	用途を定めない経済的支援	①本学(短期大学を含む)に在籍する正課学生 (本学外国人留學生授業料減免の出願資格を有するものを除く) ②選考基準 給付収入の場合 600万円(税込)以下 その他所得の場合 200万円以下(収入金額から必要経費を差し引いた額) ※上記の所得収入の算定は、一律に収入金額とする。 ③卒業成績 日本学生選抜機構が定める第一種奨学金に出願するための学力基準を満たし、修学年限内での卒業の見込みがあること ※募集年度により異なる場合あり。詳細は大学HPを参照		給付奨学金	年間50万円	1回限り	17名	地域の制限なし	学生サービス課	併用可	併用可		
城西大学・城西短期大学特待生制度(授業料全額免除:A特待生)		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学ならびに学部・学科のアドミッション・ポリシーに合致する知識と意欲を有し、一般入試額A日程での成績上位合格者		免除・減免	授業料の全額免除	最長4年間(業学科6年間)	3~4年間18名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
城西大学・城西短期大学特待生制度(授業料半額免除:A特待生)		学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学ならびに学部・学科のアドミッション・ポリシーに合致する知識と意欲を有し、一般入試額A日程での成績上位合格者		免除・減免	授業料の半額免除	最長4年間(業学科6年)	3~4年4名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
スポーツ奨励生		学校出願時		入学金・授業料減免	スポーツ推薦奨励生および奨励生にのみ選抜		免除・減免	入学金と授業料の全額または半額免除	最長4年	学年30名程度	地域の制限なし	スポーツ復興センター	併用可	併用可		
株式会社セキ薬品特別奨学金制度	在学中	1年生~5年生		学費支援	対象 1)フレッシュマン・スカラシップ(20万円) 業学科:1年生2名、薬科学科:1年生1名、医療実習学科:1年生1名 2)ピアサポーター・スカラシップ(10万円) 業学科:5年生2名、薬科学科:1名、医療実習学科:2、3、4年生より各1名		給付奨学金	対象 1)フレッシュマン・スカラシップ(20万円) 業学科:1年生2名、薬科学科:1年生1名、医療実習学科:1年生1名 2)ピアサポーター・スカラシップ(10万円) 業学科:5年生2名、薬科学科:1名、医療実習学科:2、3、4年生より各1名	1~3回限り		地域の制限なし	実務部事務室	併用可	併用可		



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(3)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
駿河台大学	入学免除制度①	入学後		入学金・授業料減免	以下のいずれかに該当する学生。 (1)本学在学生の兄弟姉妹 (2)本学卒業生の平又は兄弟姉妹 入学後、期間まで併用可能		免除・減免	入学金200,000円					併用可	併用可	
	特別奨学生制度①(指定校推薦1期・スポーツ推薦1期)	学校出願時		入学金・授業料減免	以下のいずれかに該当する学生。 (1)沖縄県内居住の指定校在学学生 (2)スポーツ推薦(指定校)のうち推薦員内居住者で沖縄県内に所在する高校の在校生		免除・減免	入学金200,000円					併用可	併用可	
	特別奨学生制度②(一般A-1方式・共通テスト利用型1期)	入学手続時		入学金・授業料減免	一般A-1方式・共通テスト利用型1期の法政学部及び心理学部合格者のうち、試験成績優秀者。 入学手続時に免除。		免除・減免	初年度授業料735,000円					併用可	併用可	
	特別奨学生制度③(一般A-1A-2・B-C方式)	入学手続時		入学金・授業料減免	一般A-1A-2・B-C方式で、沖縄県内居住者または沖縄県内に所在する高校(全日制)の出身者。 入学手続時に免除。		免除・減免	入学金200,000円					併用可	併用可	
	駿河台大給付奨学金	在学中	全年対象、毎年6月頃		用途を定めない経済的支援	①進学意欲が高く、経済的理由により修学が困難な学生 ②学費が当該年度に20万円以上の奨学金(授業料減免)を受けたい学生		給付奨学金	200,000円					併用不可	条件有り併用可
	資格取得奨励金	随時			資格取得支援制度	本学の学部・在学中の学生もしくは学部卒業後5年以内の卒業生で「公益会計士試験」「司法試験」「司法書士試験」に合格した者	その他	奨励金 最高200,000円					併用可	併用可	
	キャリアカレッジ奨励金	随時			資格取得支援制度	本学キャリアカレッジのうち該等の講座を受講し、合格した学生	その他	奨励金 最高200,000円					併用可	併用可	
	駿河台大留学奨学金	その他	留学決定後		留学費用支援制度	本学から本学の留学制度を利用して、海外の提携校に交換・派遣留学学生として留学する学生	給付奨学金	200,000円(但し、滞在期間によって異なる)	1回限り					併用可	併用可
	父母会奨励金	在学中	全年対象、毎年10月頃		課外活動支援制度	文化系課外活動において顕著な成果を収めた個人または学生団体	その他	奨励金 100,000円						併用可	併用可
	卒業成績優秀奨学生	その他	公費無		特待生・成績優秀者 学費支援	2年生以上で前年度までの卒業成績および人物共に優秀な学生	給付奨学金	奨励金 100,000円 2位200,000円 3位4位180,000円 5〜7位50,000円						併用可	併用可
	学部長奨励金	その他	公費無		特待生・成績優秀者	部活動・ボランティア活動・地域活動等において前年度に顕著な活動をした学生(学生団体)または2年生以上で卒業成績が優秀な学生	その他	奨励金 30,000円						併用可	併用可
	スポーツ年間特待生	その他	公費無		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	スポーツ競技成績・人物ともに特に優れた学生	給付奨学金	授業料相当額735,000円						併用可	併用可
	特別奨励員	その他	公費無		課外活動支援制度	本学の名誉を高める顕著な活躍をした学生・学生団体	その他	奨励金 100,000円						併用可	併用可
	海外語学研修制度奨励金	その他	手続書類提出後		留学費用支援制度	本学の海外語学演習を履修し、海外研修制度に参加する学生	給付奨学金	50,000円						併用可	併用可
	駿河台大学奨励金給付奨学金	入学後			入学金・授業料減免	卒業生のすべてで、新規入学する場合に、初年度の授業料半額を奨励金から給付	給付奨学金	授業料の半額87,500円						併用可	併用可
	駿河台大学学費支援基金奨学金	その他	1〜2月		学費支援	経済的理由により、当該年度の学費の給付が困難な学生	貸与奨学金	当該年度の学費を上限とし、返済可能な学費の範囲						併用可	併用可
	特別奨学生制度②(指定校推薦1期)	学校出願時			入学金・授業料減免	指定校推薦(期)合格者のうち出願時点で日本学生支援機構の第一種奨学生予約採用合格者に決定している者	免除・減免	入学金200,000円						併用可	併用可
	入学免除制度②	入学手続時			入学金・授業料減免	メディア情報実習生入試合格者のうち試験成績優秀者 入学手続時に免除	免除・減免	入学金200,000円						併用可	併用可
	入学免除制度③	入学手続時			入学金・授業料減免	スポーツ推薦又は資格取得で競技成績が特に優秀であると評議された場合 入学手続時に免除	免除・減免	入学金200,000円						併用可	併用可
	スポーツ特待生	その他	公費無		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	スポーツ成績優秀者に対する学費給付	給付奨学金	成績により異なる						併用可	併用可
聖学院大学	ルーア・ロング・コース記念奨学金	在学中	秋学期	入学金・授業料減免		全学年対象、主として家計を支えている人の前年一年間の所得金額が700万円未満、募集期間は9月頃。	免除・減免	年間授業料の30%	1回限り				併用不可	併用可	
	チャールズ・エリア・ガスト奨学金	在学中	春学期	特待生・成績優秀者		4年生・卒業成績優秀者対象。定課教育において優秀な成績を収めた学生。6月中旬に発表する。	免除・減免	年間2万円	1回限り				併用可	併用可	
	聖学院大学災害被災者修学支援奨学金	その他	災害時	被災者資金支援		地震・風水害等の自然災害等により被災した学生対象。	免除・減免	年間授業料の20%〜学費金額(新入生は入学金含む)	被災時による				併用可	併用可	
	女子聖学院短期大学記念国際交流奨学金	在学中	短期海外研修が実施される時	留学費用支援制度		聖学院大学主催する短期海外研修に参加する学生対象	給付奨学金	海外研修費用の10%が上限	研修参加年度					併用可	併用可
	聖学院大学特待生奨学金	在学中	春学期	特待生・成績優秀者		各学科の各学年における成績優秀者を候補者として、選考をおこなう	免除・減免	年間授業料の50%	1年間					併用可	併用可
	特別生入試奨学金(学費全額免除奨学金)	学校出願時			特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	所定の入学試験の結果、卒業成績および人物ともに極めて優秀で他の学生の模範となる学生。	給付奨学金	最大4年間・互に、入学金を含む学費の全額を給付。	最大4年間					併用可	併用可
東京国際大学	特別生入試奨学金(初年度授業料全額免除奨学金)	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により極めて優秀な学部入学生。	給付奨学金	初年度授業料の全額を給付。						併用可	併用可	
	修学支援奨学金	在学中	2年生以上	学費支援	一定の成績・家計基準を満たす者。応募資格:1.卒業成績について:①在籍年次の前年までの修得単位数が講義標準修得単位数以上であること。2.2年生:33単位 3.3年生:46単位 4.4年生:49単位 ②適当GPAが2.70以上であること。 2.家計について:同一世帯の主たる家計支持者及び従たる家計支持者(原則:父母)の課税標準額の合計金額が400万円以下であること。 3.①~②に該当する者は応募できない。①:学部前年次生と過去1年に修得単位数を受けた者②:本学が定める修業年限を超えた者③:申請年において留年、休学中の首途外国人留学生(在留資格が「留学」の者)④:本学独自の奨学金を受給している者(学費減免含む) スポーツ分野において顕著した成果を収めたまたは応募可能期待できる。	給付奨学金	申請日の上乗するセメスター及び次セメスターのセメスターにつき、所属学部の授業料の50%を減額する。ただし、課外活動等奨学金支援制度により授業料が免除される学生は同制度により別途の授業料が本学の修学支援奨学金免除の対象となる。						併用可	併用可	
	スポーツ奨学金	その他	入学手続時(在学中/学年2・3・4年)	学費支援 奨励員 入学金・授業料減免		スポーツ等奨学金:①奨学金 入学金、当該年度に納入すべき学費全額及び学生生活費②特待奨学金 入学金及び当該年度に納入すべき学費全額。但し、2年生以上については入学金を除く。③奨学金 入学金及び当該年度に納入すべき学費のうち授業料。但し2年生以上については入学金を除く。④奨学金 入学金及び当該年度に納入すべき学費のうち授業料の半額。但し、2年生以上については入学金を除く。⑤奨学金 入学金その他:個別に決定した額。	給付奨学金	スポーツ推薦奨学金					併用可	併用可	
	国際交流奨学金(長期留学奨学金)	その他	長期留学申請時	学費支援 留学費用支援制度 入学金・授業料減免		在籍する者で所定の条件を満たし、長期留学試験で特に優秀と認められた者。	給付奨学金	留学先大学の授業料全額あるいは、留学期間中の本学学費の全学を免除。ダブルディグリープログラム参加者に対しては、留学先大学の授業料給付(留学期間中の授業料)により決定する。						併用可	併用可
	ASP(American Studies Program)奨学金①	その他	ASP留学申請時	学費支援 留学費用支援制度 入学金・授業料減免		■ASP奨学金①:ASP留学参加学生全員(ASP留学許可者)ただし、申請が必要。	給付奨学金	ASP奨学金①:1.年額参加:参加年度の本学学費全額免除(1,500,000〜1,310,000円) 半年参加:参加年度の本学学費半免除(735,000〜655,000円)						併用可	併用可
	ASP(American Studies Program)奨学金②	その他	ASP留学申請時	学費支援 留学費用支援制度 入学金・授業料減免		■ASP奨学金②:ASP留学参加時の成績上位者。応募者のTOEICスコア750以上かつGPAスコア3.5以上で所属学部長が推薦する学生。	給付奨学金	■ASP奨学金②(ASP留学参加費1年間の一部500,000円) 【ASP留学参加費(半年間)の一部250,000円】						併用可	併用可
	国際交流奨学金(セメスター留学奨学金)	その他	セメスター留学申請時	学費支援 留学費用支援制度 入学金・授業料減免		本学が必要とするプログラムでセメスター留学に参加する学生。	給付奨学金	留学参加期間の本学学費を半免除(287,500円〜387,500円)						併用可	併用可
	イングリッシュ・トラックプログラム奨学金	学校出願時			特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	入学試験における総合評価及び入学後の総合評価が優れた学生を対象とする。	給付奨学金	授業料減免制度:30%・50%・80%・100%免除						併用可	併用可
	特別生入試奨学金(授業料全額免除奨学金)	学校出願時			特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	所定の入学試験の結果、卒業成績および人物ともに極めて優秀で他の学生の模範となる学生。	給付奨学金	最大4年間・互に、授業料の全額を給付。	最大4年間					併用可	併用可
	特別生入試奨学金(ASP学費全額免除奨学金)	学校出願時			特待生・成績優秀者 学費支援 留学費用支援制度 入学金・授業料減免	所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により、極めて優秀な学部入学生。アメリカ留学(アメリカンスタディーズプログラム=ASP)選抜前①TOEIC L&R150以上取得を給付の条件とする。	給付奨学金	ASP学費(授業料、施設利用費等)の全額を給付。	ASP参加時					併用可	併用可
	特別生入試奨学金(ASP学費半額免除奨学金)	学校出願時			特待生・成績優秀者 学費支援 留学費用支援制度 入学金・授業料減免	所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により、極めて優秀な学部入学生。アメリカ留学(アメリカンスタディーズプログラム=ASP)選抜前①TOEIC L&R150以上取得を給付の条件とする。	給付奨学金	ASP学費(授業料、施設利用費等)の半額を給付。	ASP参加時					併用可	併用可
	特別生入試奨学金(ASP学費、食費全額免除奨学金)	学校出願時			特待生・成績優秀者 奨励員 留学費用支援制度 その他	所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により、極めて優秀な学部入学生。アメリカ留学(アメリカンスタディーズプログラム=ASP)選抜前①TOEIC L&R150以上取得を給付の条件とする。	給付奨学金	ASP学費、食費の全額を給付。	ASP参加時					併用可	併用可
	在学生・卒業生兄弟姉妹奨学金	学校出願時			入学金・授業料減免	本学学部・大学院の在学生又は卒業生の兄弟姉妹が入学する場合。出願時に申請のうえ、必要書類を提出。入学制度は問わない。前、兄弟姉妹の2人以上が同時に本学学部・大学院に入学する場合、2人目以降の入学者につき減額。	給付奨学金	入学金の半額を減免。	入学時					併用可	併用可
	スポーツ奨励員(吹奏団推薦入試奨学金)	学校出願時			入学金・授業料減免	吹奏楽団推薦入試により本学に入学する場合。	給付奨学金	入学金を免除。	入学時					併用可	併用可
特別生入試奨学金(入学金免除奨学金)	学校出願時			特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	所定の入学試験の結果、全学部共通の基準により極めて優秀な学部入学生。	給付奨学金	入学金の全額を給付。	入学時					併用可	併用可	
東邦音楽大学	東邦音楽大学奨学金	在学中	2年生〜4年生	学費支援		東邦音楽大学に在籍する学生で、経済的理由により修学が困難と認められ、人物及び卒業成績が優秀である者。2・3・4年生対象。対象者数若干名。 ※Konzertfach(演奏専攻)、バフォーマンス総合芸術文化専攻は申し込みできません。 ※特別社会人入学者(50歳以上)・外国人留学生・長期履修生制度による入学者は他の奨学金制度があるためお申し込みはできません。	給付奨学金	年間40万円。	給付期間1年間。				併用不可	併用可	
	東邦和声特別奨学金	入学後		学費支援		学費が留年する学校(東邦音楽大学)を除くに在籍する学生・生徒で、経済的理由により修学が困難と認められ、かつ卒業成績優秀である者。2・3・4年生対象。対象者数若干名。 ※Konzertfach(演奏専攻)、バフォーマンス総合芸術文化専攻は申し込みできません。 ※特別社会人入学者(50歳以上)・外国人留学生・長期履修生制度による入学者は他の奨学金制度があるためお申し込みはできません。	給付奨学金	年間24万円を給付。	給付期間1年間。				併用不可	併用可	
	東邦音楽大学Konzertfach(演奏専攻)奨学金	在学中	2年生〜4年生	学費支援		東邦音楽大学に在籍する学生で、経済的理由により修学が困難と認められ、人物及び卒業成績が優秀である者。2・3・4年生対象。対象者数若干名。国内著名なコンクール等において優秀な成績を収めた者。または同等以上優れた演奏技術がある者。	給付奨学金	年間50万円	給付期間1年間。					併用可	併用可
獨協大学	獨協大学→種別奨学金	その他	毎年度4月	学費支援		対象学年:問わない 学部:問わない 資格条件:成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位数・GPAにおいて一定の基準を超えていること。家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額60,000円または月額30,000円(選考により決定)	1年間				併用不可	条件有り併用可	
	獨協大学父母の会奨学金	その他	毎年4月	学費支援		対象学年:問わない 学部:問わない 資格条件:成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位数・GPAにおいて一定の基準を超えていること。家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額30,000円	1年間				併用不可	条件有り併用可	
	中村南尚・惠那奨学金	その他	毎年4月	学費支援		対象学年:問わない 学部:問わない 資格条件:成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位数・GPAにおいて一定の基準を超えていること。家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額20,000円	1年間				併用不可	条件有り併用可	
	獨協大学学生人生奨学金	その他	毎年度4月	学費支援		対象学年:問わない 学部:問わない 資格条件:特に入試で入学した者。成績については、1年生は高校時の成績、2年生以上は取得単位数・GPAにおいて一定の基準を超えていること。家計については、世帯人数により、父母または家計支持者の年収・所得の上限の目安を設定し、これを超えないこと。	給付奨学金	月額60,000円または月額30,000円(選考により決定)	1年間				併用不可	条件有り併用可	
	獨協大学国際奨学金(交換留学生奨学金)	その他	毎年度4月および9月	留学費用支援制度		対象学年:2年生以上 学部:問わない 資格条件:本学から海外協定校へ派遣する交換留学生であり、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者	給付奨学金	月額20,000円	交換留学としての期間(半年または1年間)					併用不可	条件有り併用可
	獨協大学国際奨学金(認定留学生奨学金)	その他	毎年度4月および9月	留学費用支援制度		対象学年:2年生以上 学部:問わない 資格条件:本学から海外の大学へ派遣する新規認定留学生で、留学先の授業料減免、本学が定めた経済および成績基準を満たし、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者(注)①:獨協大学国際奨学金(交換留学生)または日本学生支援機構の派遣留学生用奨学金を受給した者を除く	給付奨学金	月額20,000円	認定留学としての期間(半年または1年間)					併用不可	条件有り併用可
	獨協大学国際奨学金(外国人入学生奨学金)	その他	毎年度4月および9月	用途を定めない経済的支援		対象学年:問わない 学部:問わない 資格条件:海外の協定校から受け入れる外国人入学生のうち、所属する協定校から推薦を受け、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者(各協定校より1名のみ)	給付奨学金	月額20,000円	半年または1年間					併用不可	条件有り併用可
	獨協大学国際奨学金(外国人入学生支援奨学金)	その他	毎年度4月および9月	入学金・授業料減免		対象学年:問わない 学部:問わない 資格条件:日本国籍を有せず、特別な選考を経て本学に入学した者で、本学が定める経済および成績基準を満たし、大学推薦を必要とする他の奨学金を受給していない者	免除・減免	年間授業料の20%相当額を限度として減免	半年または1年間					併用不可	条件有り併用可







大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
文京学院大学	B's ライフ 島田依史子記念奨学金	入学後		学費支援		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 経済的理由により、学業の継続が困難な人。学業成績、人物、健康などが良好であること。 ※ 独立行政法人日本学生支援機構奨学金、また東京都教育委員会からの賞金を受けていないこと。	貸与奨学金	授業料の年額または半期額			地域の制限なし	学生支援グループ		
	B's エデュケーション 教育支援奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 経済的理由により、学業の継続が困難であり、本学が定める給付基準条件を満たしていること。 ・申請年度の前期までのGPAが2.50以上であること。 ・人物評価において優秀である者。	給付奨学金	年額340,000円			地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	併用可
	スカシップABC(学業支援特別給付・生活支援特別給付・進学支援特別給付)	学校出席時		特长生・成績優秀者		対象学年: 1~2年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 文京学院大学に入学を希望し、「全学統一入試」を受験した者。 ※ 条件: 入学試験合格者の中から特に成績優秀な者。	給付奨学金	学業支援特別給付 入学年度に定められた所属学部・学科の授業料の半額 (2年間) 生活支援特別給付 年額100,000円 (2年間) 進学支援特別給付 年額60,000円 (2年間)			地域の制限なし	学生支援グループ		
	B's アブロード 交換留学特別奨学金	入学後		特长生・成績優秀者		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: アメリカ合衆国 TOEFL(80) 41点以上 ・カナダ TOEFL(80) 41点以上 ・マレーシア TOEFL(80) 41点以上 ・中国 TOEFL(80) 41点以上 ・韓国 TOEFL(80) 41点以上 ・トルコ TOEIC 500点以上(本学でトルコ語を習得したものを優先) ・中国語検定3級以上 または TOEIC 500点以上 ・台湾 TOEIC 500点以上 ・ブルガリア TOEIC 500点以上	給付奨学金	・アメリカ合衆国 1セメ 300,000円 2セメ 500,000円 ・カナダ 1セメ 300,000円 2セメ 500,000円 ・マレーシア 1セメ 200,000円 2セメ 300,000円 ・中国 1セメ 200,000円 2セメ 300,000円 ・韓国 1セメ 200,000円 2セメ 300,000円 ・トルコ 1セメ 300,000円 ・台湾 1セメ 200,000円 ・ブルガリア 50,000円			地域の制限なし	GSEオフィス		
	B's アブロード 長期留学特別奨学金	入学後		入学金・授業料減免 その他	参加者(選考合格者)全員	対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: アメリカ合衆国 TOEIC420点以上(選考審査) ・オーストラリア TOEIC420点以上(選考審査) ・ニュージーランド TOEIC420点以上(選考審査)	給付奨学金	前額、または後期授業料の免除			地域の制限なし	GSEオフィス		
	B's アブロード 短期留学特別奨学金	入学後		特长生・成績優秀者		対象学年: 1~4年生 対象学部: 全学部学科 対象国: ・マレーシア ・アメリカ合衆国 ・オーストラリア ・ニュージーランド ・イギリス ・ベルギー 資格/条件: TOEIC450点または英検2級以上(経営学部、人間学部、保健医療技術学部) TOEIC500点または英検2級以上かつGPA2.0以上(外国語学部)	給付奨学金	奨励金 5万円~10万円(留学費用実績に基づき)			地域の制限なし	GSEオフィス		
	外国語学部-留学特待生プログラム(GASP A/B)	在学中	1年次の12月頃	特长生・成績優秀者		対象学部: 外国語学部 資格: 英語と日本語の運用能力が高く、留学に強い意志と明確な目的意識を持ち、適性が認められる学生 条件: GASP A 留学特待生プログラム入試に合格した者 英語に關しては以下のいずれかの基準を満たすこと ・英検準1級以上 ・TOEIC CB7タイプ 1140点以上取得 ・TOEICインターネット試験(CBT)570点以上、TOEIC 600点以上、TOEFL iBT GASP B 1年終了時に最終審査、選抜試験に合格した者 外国語学部1年次生であること 英語に關しては以下のいずれかの基準を満たすこと ・TOEFL(80)41点以上取得 ・TOEFL(80)41点以上取得	給付奨学金	GASP A 在学中4年間の本学の授業料半額免除 GASP B 2~4年までの3年間の授業料半額免除 上記の免除および、アメリカ、中国語学部の滞学費用全額、②留学先大学授業料全額、③滞在費支給(米:10万円/月 中:5万円)を支給する			地域の制限なし			
	B's フィールド(フィールドワーク奨学金)	入学後		留学費用支援制度		対象学年: 2年生以上 対象学部: 人間学部 資格/条件: 該当科目を履修し、事後学習を終えた者	給付奨学金	欧米 200,000円 アジア 50,000円			地域の制限なし			
	B's インターンシップ(海外インターンシップ奨励金)	入学後		研究支援制度		対象学年: 2~3年生 対象学部: 全学部学科 資格/条件: 本学単位認定対象の海外インターンシップに参加し、奨学金の給付の申請を行った者のうち、次の給付条件を満たした学生。 ・外国語学部 TOEIC450点以上、英検2級以上、中国語検定4級以上、 ハングル検定4級以上のいずれかの資格を取得した者 ・外国語学部以外 TOEIC400点以上、英検2級以上、中国語検定4級以上のいずれかの資格を取得した者	給付奨学金	・欧米以外の地域 70,000円 ・欧米地域 100,000円			地域の制限なし	キャリア・社会教育センター		
	B's サーチフィケーション(検定試験等奨学金)	入学後		資格取得支援制度		対象学年: 1~4年生 対象学部: 経営学部 資格: 経営学部の学生で所定の検定試験に合格し、申請手続きを行った者。 条件: 情報処理・簿記等の資格試験取得奨励を目的とし、申請件数は2件/人・年を限度とする	給付奨学金	受験料相当金額			地域の制限なし	本館キャンパス教育グループ(経営学部担当)		
	B's コラボレーション(外国語学部・経営学部フィールドワーク奨励金)	入学後		資格取得支援制度		対象学年: 2年生以上 対象学部: 外国語学部・経営学部 資格/条件: 海外フィールドワーク科目等を履修し、給付条件を満たした学生	給付奨学金	課外費の約2割(最高額 40,000円)			地域の制限なし	本館キャンパス教育グループ(外国語学部)		



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
明海大学	明海大学清安キャンパス(大学修奨励奨学金制度(入学時に所定の資格を有する者))	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部 ■資格: ＜入年度の授業料を全額免除＞ 外国語学部日本語学専攻 保健医療学部看護学専攻以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1280点以上、IELTS 5.5以上、日本語検定2級以上のいずれかを取得した者 外国語学部東洋言語学、ホスピタリティツーリズム学部ホスピタリティツーリズム学科、保健医療学部口腔保健学科 保健医療学部看護学専攻以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1280点以上、IELTS 5.5以上をいずれかを取得した者 外国語学部中国語学専攻 中国語専攻英語圏又は漢語水平考試(HSK)4級以上を取得した者 経済学部経済学専攻 経済学部経済学専攻専攻以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1280点以上、IELTS 5.5以上、日本語検定試験2級級、経済学検定試験(EREC)マクロB口試含む、JAL以上のいずれかを取得した者 不動産学部不動産学専攻 不動産学部不動産学専攻専攻以上、TOEIC L&R 720点以上、TOEFL iBT 78点以上、GTEC 1280点以上、IELTS 5.5以上、日本語検定試験2級級、宅地建物取引士資格(宅地建物取引士資格)のいずれかを取得した者 ＜入年度の授業料を半額免除＞ 外国語学部日本語学専攻 保健医療学部看護学専攻以上、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC 1000点以上、IELTS 4.0以上、日本語検定2級または準2級のいずれかを取得した者 外国語学部東洋言語学、ホスピタリティツーリズム学部ホスピタリティツーリズム学科、保健医療学部口腔保健学科 保健医療学部看護学専攻以上、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC 1000点以上、IELTS 4.0以上のいずれかを取得した者 外国語学部中国語学専攻 中国語専攻英語圏又は漢語水平考試(HSK)4級を取得した者 経済学部経済学専攻 経済学部経済学専攻専攻以上、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC 1000点以上、IELTS 4.0以上、日本語検定試験2級級、経済学検定試験(EREC)マクロB口試含む、JAL以上のいずれかを取得した者 不動産学部不動産学専攻 不動産学部不動産学専攻専攻以上、TOEIC L&R 550点以上、TOEFL iBT 57点以上、GTEC 1000点以上、IELTS 4.0以上、日本語検定試験2級級のいずれかを取得した者 ■条件:本学が指定する語学および漢語等の資格を入学前の3月までに取得した者	■全額免除:年額698,000円 ■半額免除:年額349,000円			地域の制限なし	清安キャンパス 入試事務室	併用可			
	明海大学清安キャンパス(大学修奨励奨学金制度(入学試験の成績優秀者))	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ＜入年度の授業料を全額免除＞ →入学試験で大学入試センター試験利用入学試験の各方式の成績が、当該学科の合格者の上位10%に該当し、かつ、取得点率が80%以上の者 ＜入年度の授業料を半額免除＞ →入学試験で大学入試センター試験利用入学試験の各方式の成績が、当該学科の合格者の上位15%に該当し、かつ、取得点率が70%以上の者	■全額免除:年額698,000円 ■半額免除:年額349,000円			地域の制限なし	清安キャンパス 入試事務室				
	明海大学清安キャンパス(大学修奨励奨学金制度(入学後の学業成績優秀者))	在学中	2年次～4年次	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部 ■条件: ＜各学年の授業料を全額免除＞ 前年度の学業成績が一定の条件を満たし、かつ、当該学科・年次の上位2%以内の者 ＜当該年度の授業料を半額免除＞ 前年度の学業成績が一定の条件を満たし、かつ、当該学科・年次の上位5%以内の者	■全額免除:年額698,000円 ■半額免除:年額349,000円			地域の制限なし	学生支援課				
	明海大学スポーツ奨励奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部(ホスピタリティツーリズムメジャー) ■条件:スポーツで顕著な実績を有し、かつ相当の学業成績がある者で、スポーツ文化活動特別入学試験で入学した者。 対象種目は野球として、男子・ソフト・空手道・女子硬式野球・陸上競技・女子バレーボールの種目。 ＜4年間の授業料を全額免除＞ 次のA～Eのすべてに該当する者とする。 A 全国高等学校体育大会男子バスケットボール大会等の団体戦若しくは個人戦に出場した者(全国大会に出場した者と同等の能力があると体育委員会が認めた者を含む。)で、体育会所属クラブごとに定める基準を満たした者 B イ 本学学生体育会所属クラブに在籍し、中心選手として活躍が期待される体育委員長から推薦された者 ウ 高等学校在学中、学業の面においても積極的に取り組んだと認められる者 エ 大学卒業後の進路について明確な目標をもっていること認められる者 ＜4年間の授業料を半額免除＞ 次のA～Eのすべてに該当する者とする。 A 県大会または地域大会等の団体戦若しくは個人戦に出場した者(県大会または地域大会等と同等の能力があると体育委員会が認めた者を含む。)で、体育会所属クラブごとに定める基準を満たした者 B イ 本学学生体育会所属クラブに在籍し、中心選手として活躍が期待される体育委員長から推薦された者 ウ 高等学校在学中、学業の面においても積極的に取り組んだと認められる者 エ 大学卒業後の進路について明確な目標をもっていること認められる者	授業料の全額または半額免除 ※原則、4年間継続給付			地域の制限なし					
	沖縄特別奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部 ■条件:外国語分野や観光分野で我が国の将来を担う意欲のある沖縄県の高校生で、沖縄特別奨学金入学試験で入学した者。	授業料の半額免除(年額349,000円) ※原則、4年間継続給付			沖縄県					
	社会人特別奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:経済学部、保健医療学部 ■条件:高校卒業後に社会人として働き、学習支援型社会人特別入学試験で入学した者。	授業料の半額免除(年額349,000円) ※原則、4年間継続給付			地域の制限なし					
	明海大学資格取得奨励奨学金	在学中		資格取得支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部 ■資格: ①日本語検定2級 ②実用英語技能検定1級・準1級・2級 ③中国語検定2級・4級 ④経済学検定試験(ERE、EREC)マクロB ⑤宅地建物取引士 ⑥TOEIC L&R 600～700・500・400 ⑦総合旅行業務取扱管理者 ⑧秘書技能検定2級 ■条件:在学中に本学オープンラベリングにおいて関連する講座のうち、本学が指定する資格試験対策講座を受講し、所定の資格を取得した者。	指定講座受講料相当額			地域の制限なし					
	理学部教育後援奨学金	在学中	修学2年目～	学費支援	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次、5年次、6年次 ■対象学部:理学部 ■条件:経済的理由により修学困難な者。	修学2年目から申請可能 申請費:年30,000円/月額 継続費:年1度と年目から可能 ①30,000円/月額 ②20,000円/月額 上記のいずれかを選択			地域の制限なし					
	明海大学学費借入支援奨学金	在学中		学費支援	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次、5年次、6年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部、歯学部 ■条件:学費負担者が、本学学生の学生給付金納付のために金融機関等から借入れを行った場合に、授業料、施設維持費および教育充実費相当額の支払利息額をその額を限度として奨学金を給付する。	授業料、施設維持費および教育充実費相当額の支払利息額を限度			地域の制限なし					
	海外留學奨学金	在学中		留費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部 ■条件:5か月～1年の海外留学の許可を得た学生の海外留学中の費用を、大学が一部負担する制度。	本学授業料、施設維持費および教育充実費の2分の1相当額の減額。さらに成績優秀者には、留学前より10万円～40万円の海外留學特別奨学金を支給する。			3年間10名程度 2人数制限なし	地域の制限なし				
海外研修奨学金	学校出願時		留費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部 ■条件:各学部学科が企画した海外研修に参加する学生に対し、奨学金を支給する。	選考の上、3万円～25万円			地域の制限なし						
教育後援留學研修費補助金	在学中		留費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部 ■条件:海外留學特別奨学金を受給していない者、および海外研修参加者は、清安キャンパス教育後援会から補助金が支給される。	■海外留學:10万円、または20万円 ■海外研修:3万円～5万円			地域の制限なし						
明海大学奨学海外研修派遣制度	在学中		留費用支援制度	■対象学年:1年次、2年次、3年次、4年次、5年次 ■対象学部:外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティツーリズム学部、保健医療学部、歯学部 ■条件:各学部学科が企画した海外研修に参加する学生に対し、奨学金を支給する。	海外研修に係る費用を大学が全額負担			地域の制限なし						
平成国際大学	学業成績優秀表彰	入学後	特待生・成績優秀者 学費支援	前年度・年度の成績を基に選考されるため、実施の規模では、1～3年生の成績上位者を対象としているが、翌年の6月に表彰式を行うため、奨励金や記念品を授けられるのは2年生～4年生となります。	奨励金1万円、特待生を授けられる場合は、成績上位者10名(金賞)10万円、2位(銀賞)8万円、3位(銅賞)5万円。 また、上記奨励金を除き、特待生を含めた全学生から、成績上位者3名を金賞～銅賞として表彰し、2名の記念品を授けらる。			地域の制限なし						
	学業特待生制度	入学手続時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜・大学共通テストで出願すれば選考対象となる。他の入試で合格した者も、一般選抜・大学共通テスト利用選抜を再受験し出願し、申請可能。 出願書類と学科試験などの結果を総合して判定。授業料全額または、半額が免除されます。	授業料全額で、624,000円。半額は、312,000円の免除。			地域の制限なし						
十文字学園女子大学	十文字奨学金	在学中	2～4年次対象 年1回	学費支援	本学(大学院を含む)に在学する学生のうち、学業及び人物が優れており、かつ、経済的理由により修学が困難である者	1人につき20万円 ただし、給付が決定した学期に納付すべき授業料及び教育充実費が20万円を下回る場合は、当該学期に納付すべき授業料に相当する額とする。		年1回、後期	年度により変動	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	併用不可	条件有りて併用可	
	入学時学業特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付特待生マシラシ入試及び一般選抜日程(特待生選抜)の受験者全員を対象とし、高次・得点率が以下の場合、特待生合格となります。 ①入学時学業特待生:学業成績上位3%以内かつ2科目(2科目目)又は、1科目(1科目目)の総得点率が60%以上の者 ②入学時学業一般特待生:学業成績上位3%以内かつ2科目(2科目目)又は、1科目(1科目目)の総得点率が70%以上80%未満の方 ③入学時学業科目特待生:全受験者の1科目(1科目目)又は、2科目(2科目目)は高得点の科目が対象。	3)入学時学業特待生:入学金及び授業料1年次前期分 全額免除 2)入学時学業一般特待生:入学金及び授業料1年次前期分 半額免除 3)入学時学業科目特待生:入学金免除		入学後	①入学時学業特待生:若干名 ②入学時学業一般特待生:若干名 ③入学時学業科目特待生:全受験者の高次上位20%以内	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	在学時学業特待生	在学中	2年次生～4年次生までに在籍する学生 既定の単位数およびGPAを上回り、かつ前年度のGPA順位が同学科・同学年に所属する学生のうち、上位3%以内の者。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	2年次生～4年次生までに在籍する学生 既定の単位数およびGPAを上回り、かつ前年度のGPA順位が同学科・同学年に所属する学生のうち、上位3%以内の者。	10万円 ※ただし、入学時学業特待生が各学年の審査において基準を満たす場合には、20万円を免除する。		後期授業料から減免	各学科・各学年 若干名	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	併用可	併用可	
	修学支援に係る授業料免除制度	在学中	年2回(前期・後期各1回)・1年生前期は原則として対象としない	入学金・授業料減免	修学に困難のある本学学生(大学院含む)で、経済的理由により授業料納入及び学生生活が困難な者(1年生前期は原則対象としない。)	当該学期に納付すべき学納金のうち、教育充実費を除く金額の全額又は半額		学期につき1回	年度により変動	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	併用不可	条件有りて併用可	







大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
江戸川大学	江戸川大学特待生制度(一般選抜特待生)	入学手続時		特待生・成績優秀者		一般選抜1期1科目を受験し、特に優れた成績を修めた合格者。判定は以下2科目の合計点。国語(国語総合 古文・漢文を除く)、英語(コミュニケーション英語1・英語Ⅱ及び英語表現Ⅰ)。 合格者のうち、志望学部学科問わず成績上位者13名。	免除・減免	A特待生(8名)初年度学費のうち110万円免除 B特待生(8名)初年度学費のうち55万円減免。		A特待生8名及びB特待生8名の計16名。	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	江戸川大学特待生制度(大学入学共通テスト利用選抜特待生)	入学手続時		特待生・成績優秀者		大学入学共通テスト利用選抜1期を受験し、特に優れた成績を修めた合格者。判定は国語(国語総合 古文・漢文を除く)、外国語(英語)、英語第1科目の合計点。	免除・減免	A特待生(5名)初年度学費のうち110万円免除 B特待生(8名)初年度学費のうち55万円減免。		A特待生5名及びB特待生8名の計13名。	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	総合型選抜・学校推薦型選抜特待生	入学手続時		特待生・成績優秀者		【選考対象者】総合型選抜(1期・2期)または学校推薦型選抜において合格し、2024年1月5日(金)までに入学手続を完了した者。【選考方法】2024年2月6日に実施する特待生選考試験を受験し、その結果とその時点で既に終了している総合型選抜あるいは学校推薦型選抜面接結果をあわせて総合判定。	免除・減免	A特待生(2名)初年度学費のうち110万円免除 B特待生(2名)初年度学費のうち55万円減免 C特待生(20名)初年度学費のうち50万円減免		A特待生2名、B特待生2名及びC特待生20名の計24名。	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	留学奨励資格特待生制度	入学手続時		留学費用支援制度 入学金・授業料減免		入学試験(編入試験)に合格し入学手続きを完了した上で、CEFR対照表における6B1以上の検定試験結果を提出した者は、初年度学費35万円及び1年次に参加できる夏海外研修の中からいずれかの費用全額が免除されます。 本制度による学費免除および海外研修費用免除を受けるには、本学から入学許可書とともに送付される申請書類等を提出し、入学後4月に実施する海外研修留学プログラム(グローバル・スタディ・プログラム)に説明会に必ず出席する必要があります。なお、申請書類の未提出や説明会への不参加は、学費及び海外研修費用の免除を申請したものの対象外となります。 申請方法は、入学手続後、2024年3月1日(金)～3月22日(金)の期間に申請書類と検定試験結果の証明書等を本学に提出してください。なお、江戸川大学(他)に在学する学費減免及び奨学金との併用はできません。また、本制度適用前は、資格取得支援制度の英語資格(英検、TOEIC)に関する奨学金の支給は対象外となります。 ※海外留学特別奨学金プログラム(グローバル・スタディ・プログラム)に関する詳細は、本学公式サイト(https://www.edgawa-u.ac.jp/study_abroad/)をご覧ください。	給付奨学金 免除・減免	初年度の学費35万円及び1年次に参加できる夏海外研修の中からいずれかの費用全額が免除		人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	江戸川大学奨学金	入学後		学費支援		経済的理由により学業の継続が困難な学生を援助するための奨学金制度(貸与型)。 ・他の奨学金、減免を受けていないこと ・進学以上の成績を修めていること ・貸付状況が基準内であること	貸与奨学金	毎月9月、貸与額60万円(無利息)、卒業後4年間の半年間	在学中2回まで	10名程度	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	江戸川大学経済支援制度	入学後		学費支援		学業優秀かつ移学意欲の高い学生が経済的理由により修学困難となった場合に、当該年度の未納学費全額を免除する制度。	給付奨学金	毎年9月。	修則、在学中1回。	10名程度	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	江戸川大学卒業生の子の入学者に係る入学金及び学費減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免		江戸川大学の修学の修業を修了することを目的として、卒業生の子の入学者に対し経済的支援を行う制度。 次のいずれかに該当する入学者 ①江戸川大学卒業した者の戸籍上の子で、本学の正規課程1年次に入学する者 ②江戸川短期大学又は江戸川女子短期大学を卒業した者の戸籍上の子で、本学の正規課程1年次に入学する者 ③入学前年に入学課まで成績・検定試験結果を提出し、奨学金の併用不可	免除・減免	入学手続時に入学金32万円を全額免除。年間学費110万円のうち半額55万円を入学後4年間減免。	入学後4年間	人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	江戸川大学在学生及び卒業生の兄弟姉妹の入学者に係る入学金及び学費減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免		江戸川大学が兄姉としての給付性を認め、在学生及び卒業生の兄弟姉妹の入学者に対し経済的支援を行う制度。 江戸川大学に在学している者の戸籍上の兄弟姉妹で、本学の正規課程1年次に入学する者 江戸川大学を卒業した者の戸籍上の兄弟姉妹で、本学の正規課程1年次に入学する者 入学前年に入学課まで成績・検定試験結果を提出し、奨学金の併用不可	免除・減免	入学手続時に入学金32万円を全額免除。年間学費110万円のうち55万円を入学後4年間減免。	入学後4年間	人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	併用不可	
	選抜奨励に指定された員書により被災された方へ(被災者支援資金債)	入学手続時		入学金・授業料減免		2023年度に被災災害に指定された災害により被災された方に対する、被害の程度に応じて入学検定料・入学金を減免する制度。 【入学検定料減免制度】 次の1及び2の項目を満たしている合格者 1 次のいずれかに該当する2024年度入学試験合格者 ①2023年度に被災災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者の家族の被災証明書を取得できる方 ②2023年度に被災災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者が死亡または行方不明となった方 2 次のいずれかの家族基準を満たしている合格者 ①主たる家族支持者が給与所得者の場合は、直近の源泉徴収票の支払金額が900万円以下 ②主たる家族支持者が給与所得者以外の場合は、直近の確定申告書等の所得金額が400万円以下 出願手続きを行う際に入学課まで成績の上、次の書類を出願書類とともに提出してください。 ①被災証明書もしくは被災災害発生証明書または行方不明を証明する書類 出願後の申請は、対応できません。 【入学金減免制度】 次の1及び2の項目を満たしている合格者 1 次のいずれかに該当する2024年度入学試験合格者 ①2023年度に被災災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者の家族の被災証明書(全壊・大規模半壊・半壊・一部壊壊・居住困難)を取得できる方 ②2023年度に被災災害に指定された災害により被災された方で、主たる家族支持者が死亡または行方不明となった方 2 次のいずれかの家族基準を満たしている合格者 ①主たる家族支持者が給与所得者の場合は、直近の源泉徴収票支払金額が900万円以下 ②主たる家族支持者が給与所得者以外の場合は、直近の確定申告書等の所得金額が400万円以下 入学手続時に書類に提出する必要があります。	免除・減免	【入学検定料減免制度】入学検定料全額 【入学金減免制度】下記を基準とし、個別に審査します。 ・110のうち「全額」又は「復旧費半額」半額または1/2に該当する方…入学金の全額32万円・110のうち「一部減額」に該当する方…入学金の半額16万円		人数制限なし	地域の制限なし	入学課	併用可	条件有りでの併用可	
	川科学園女子大学	成績優秀者特待生制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 その他	授業料減免	全学部・全学科対象 対象入試の成績によって、授業料1750,000円/年(全額4年間免除) 又は授業料の半額(750,000円/年)4年間免除 ※検定資格特待生制度との併用はできません。	免除・減免	上記(4)に記載	4年間 ※継続に関して成績の条件あり	全額免除・30名、半額免除・95名	地域の制限なし	事務部(入試広報)	併用可	併用可
検定資格特待生制度		その他	入学前の申請	特待生・成績優秀者 その他	授業料減免	全学部・全学科対象 入学前・入試後・TOEIC L&R・TOEFL iBT いづれかの検定の1～2年以内のスコア取得によって授業料750,000円/年(金額4年間免除、又は授業料の半額(750,000円/年)4～2年間免除) ※成績優秀者特待生制度との併用はできません。 ※編入学選抜は除く。	免除・減免	上記(4)に記載	4.2年間 ※継続に関して成績の条件あり	制限なし	地域の制限なし	事務部(入試広報)	併用可	併用可	
遠隔地居住者支援制度		在学中	1年次から4年次		学費支援	全学部・全学年 ①自宅から大学までおむね往復時間30分以上を要する方。 ②次の条件で、一人暮らししている方。 ・独居キヤンパス(入居、住居手内及び隣接するキヤンパス)・1階室内(浴室を除く)を専ら使用する。 ③家族支持者の収入又は所得の基準に基づきます。	給付奨学金	180,000円(前後両各90,000円)	上記(6)に記載	制限なし	地域の制限なし	学生生活支援室	併用可	併用可	
学校推薦型選抜 入学金免除制度		その他	入学時のみ	その他	入学金	全学部・全学科対象 学校推薦型選抜(指定校)の合格者で、本学が定める条件の方。	免除・減免	入学金250,000円	入学時	制限なし	地域の制限なし	事務部(入試広報)	併用可	併用可	
スポーツ特待生制度		学校出席時		特待生・成績優秀者 その他	授業料減免	①全学部・全学科対象 ②出願条件 ③高等学校もしくは中等教育学校の後期課程在学中における陸上競技での成績優秀者 (前年度前次年度連続出場)であること。 ④本学へ一定で入学し、本学の学費・学料の内容を精算し、本学で学ぶ意欲があること。 ⑤入学後、本学の陸上競技部に所属すること。 なお、成績優秀者特待生制度と検定資格特待生制度との併用はできません。	免除・減免	陸上競技トップ項目において、全国・地方・都道府県規模の大会において、準決勝以上で、各々授業料(750,000円/年)4・2・1年間免除	4.2年間 ※継続に関して所属競技体の活動継続及び担当教員の推薦等の条件あり	制限なし	地域の制限なし	事務部(入試広報)	併用可	併用可	
六事会奨学奨励金		その他	4年次	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	全学部・若千名 人物・成績共に優秀な学生	給付奨学金	80,000円	4年次	上記(4)に記載	地域の制限なし	学生生活支援室	併用可	併用可	
川科学園奨学助成金		その他	毎年度一定の時期		学費支援	次の3つの条件すべてを満たす方 ①就学上、経済的援助が必要と認められ、かつ、学生本人が学業継続の意思があると認められる。 ②成績、品行、出席状況等を考慮し、学費が滞滞する。 ③家庭経済の状況等により、学業継続が可能となる。 以下の全てに該当する者 ・4年次の学生であること(申請は3年次の3月から認める) ・学費滞滞の理由、成績などの事項に起因する経済状況の変化等により学業の継続が困難になった者 ・3年次終了時、卒業見込み証明書発行条件を満たす単位数を取得していること ・2024年度以上であること ・3年次までの学納金を完済していること	貸与奨学金	毎年度は、在学中学年年度の学費の額を限度とし、単独給付限度額上額4,000,000円までを精算子	選考決定後	制限なし	地域の制限なし	学生生活支援室	併用可	併用可	
神田外語大学		派風奨学金	在学中	3年生～4年生	その他	学納金を促進とする経済的支援	以下の全てに該当する者 ・4年次の学生であること(申請は3年次の3月から認める) ・学費滞滞の理由、成績などの事項に起因する経済状況の変化等により学業の継続が困難になった者 ・3年次終了時、卒業見込み証明書発行条件を満たす単位数を取得していること ・2024年度以上であること ・3年次までの学納金を完済していること	貸与奨学金	貸与金額の上限は、課食費を含めた1年間の学納金額			地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可
		留学生授業料減免制度	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		※外国人留学生特別入学試験での入学者を対象としています。 ①留学生減免 1～4年次の留学生全員(ただし、国際留学生に留年した学生を除く) ②優秀減免 2～4年次の成績優秀者(各年次最大で6名) 前年度履修した単位数、成績、教員推薦等の条件を満たすこと ③特待減免 2～4年次の成績優秀者(各年次で最大6名) 前年度履修した単位数、成績、教員推薦等の条件を満たすこと	給付奨学金	①留学生減免 授業料480,000円 施設設備費230,000円 ②優秀減免 授業料480,000円 施設設備費160,000円 ③特待減免 授業料480,000円 施設設備費60,000円	1年(1年後に再度申請可能)	上記に上記の通り	地域の制限なし	国際戦略部	併用不可	併用可
		TOEFL奨学金、TOEIC奨学金	在学中			資格取得支援制度	毎年度1回(1期)、規定のスコアを継続して満たした学生に奨学金を支える。(入学後の最高点が規定のスコアを満たした学生で、過去に該当スコアを達成したことに対して奨学金の提供を受けたことのない学生が対象)	給付奨学金	①TOEFL奨学金 500点達成者 30,000円 600点達成者 70,000円 ※70点以下の達成者の場合 100,000円 ②TOEIC奨学金 900点達成者 50,000円	TOEFL、TOEICで一定以上の得点を獲得した際に給付	特になし	地域の制限なし	教務部	併用可	併用可
	給付型海外留学奨学金制度	随時			留学費用支援制度	認定留学(休学による留学は含まない)を利用し、かつ以下の全てに該当する者 ・2年次から4年次までの学生であること ・留学の期間が1年以上1年以内であること (ただし、本学のダブルディグリー制度を利用した場合に限り、その上限は2年とする)	給付奨学金	交換留学(1学期:150,000円、2学期:300,000円) 推薦留学・私費留学(1学期間:250,000円、2学期間:500,000円)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	国際戦略部	併用可	併用可	
	グローバル・リベラルアーツ学部 入学試験成績優秀者特別奨学金	入学後			特待生・成績優秀者	一般選抜(一般入試・共通テストプラス入試、および共通テスト利用入試)を受験し合格となった上で、その成績が当該入学試験合格者の上位者であること。前2年次終了時点で60単位以上を取得していること	給付奨学金	最大210万円(3年次のSUWYへの留学費用相当額を給付)	一括給付	15名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可	
グローバル・リベラルアーツ学部 1～2年次成績優秀者特別奨学金	在学中		3年	特待生・成績優秀者	グローバル・リベラルアーツ学部2年終了時に60単位以上取得、かつ平均GPA3.0以上の上位6名※入学試験成績優秀者特別奨学金の支給者は対象外です。	給付奨学金	100万円	一括給付	6名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		
遠野活動記念奨学金	その他	大学4年次		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度	学業成績及び人物ともに優秀で、且つ次の各年のいずれかに該当する学生または団体 1)大学の国際化推進を目的として特別に推薦される海外研修、留学、インターンシップ、ボランティア活動等に参加する学生または団体 2)自己の学業や課外活動における努力やチャレンジ精神の発揮等により、在学期間中に他の学生の模範となる特に出た業績等をあげた学生または団体 3)その他の本奨学金の対象として適当であると認められた学生または団体	給付奨学金	支給額には別に定める	1回限り	人数(団体数)制限なし	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可		
敬愛大学	長戸路記念奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		課外の研究発表、社会貢献にできる学生であり、次の一に該当するものとする ①成績が優秀な者(自薦不可) ②課外活動等により、学業の発展および社会に貢献した者 (ボランティアや社会貢献活動を通じて社会で活躍していること)または、社会の発展に寄与し、他の他となる者)	給付奨学金	20万円以内	在学中1回を原則	複数名不定	地域の制限なし	学生支援室	併用可	併用可	
	特待生制度	学校出席時		特待生・成績優秀者		①入学試験成績の優秀な受験生(大学が指定する特待生選考を行う入試を受けた者) ②体育会からの推薦による優秀な受験生	免除・減免	入学金・金額減免 授業料:全額または半額減免		3,000名 222名以内	地域の制限なし	学生支援室	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
国際武道大学	国際武道大学社会実習奨学金	在学中		学費支援	1学年～4年生 体育専攻生対象 1.学業成績、生活態度及び人物ともに優良かつ勉学に意欲がありながら、次のいずれかの理由により、学業継続が困難と見込まれる学生 2.在学中に、自然災害等の火災、地震、洪水、交通、事件、事故等により、学業的に経済的困難が生じ、学費の納入が困難となった者 3.及びそのほかにより経済的困難が高まり学費の納入及び学生生活が困難となった者	1学年～4年生 体育専攻生対象	貸与奨学金	4年間における学費相当額以内					併用可	併用可	
	兄弟姉妹が継続在学する者に対する学費等減免	入学後		入学金・授業料減免	(1)2024年度以前に入学する入学生 1.1学年免除の条件 ①学部又は大学院に兄弟姉妹が在学する入学生 ②学部又は大学院に兄弟姉妹が同時に入学する入学生 ③学部又は大学院を既に卒業している兄弟姉妹が在学する入学生 2.原学料免除の条件 ①学部又は大学院に兄弟姉妹が在学している直前年度の入学生 ②学部又は大学院に兄弟姉妹が同時に入学する入学生 (2)2023年度以前に入学する入学生 1.入学免除の条件 ①学部又は大学院に兄弟姉妹が在学する入学生 ②学部又は大学院に兄弟姉妹が同時に入学する入学生 ③学部又は大学院を既に卒業している兄弟姉妹が在学する入学生 2.原学料免除の条件 ①学部又は大学院に兄弟姉妹が在学している直前年度の入学生 ②学部又は大学院に兄弟姉妹が同時に入学する入学生	入学金・授業料減免	免除・減免	(1)1.①②入学金120,000円 (1)③④定額減額 初年度300,000円、2～4年度200,000円 (2)1.①②入学金120,000円 (2)2.①②定額減額費 1～4年度371,000円	兄弟姉妹の在学が重なっている期間	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援センター事務室	併用可	併用不可	
	卒業生子女の入学における学費等減免	入学後		入学金・授業料減免		1学年～4年生 1.卒業生、人物ともに優れた者 2.卒業生、スポーツの普及と発展に寄与すると認められる者	入学金・授業料減免	免除・減免	入学金120,000円	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試・広報室	併用可	併用不可
	国際武道大学編入入学者奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免		次の条件全てを満たしていることとする。 ①3年度の入学試験に合格し、入学手続を行うこととする者 ②保護者が鳥取県・福井県・岐阜県・新潟県・長野県・山梨県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・徳島県・香川県・高松県・岡山県・広島県・山口県・福岡県に在住している者 ③卒業生・人物ともに優れた者	入学金・授業料減免	免除・減免	初年度 授業料470,000円	1回限り	30名	地域の制限なし	入試・広報室	併用可	併用不可
	災害救助法適用地域の在学・入学予定者に対する学費等減免	随時		学費支援 入学金・授業料減免		次のいずれかに該当するに該当する者 ①災害救助法適用地域の被災者の在学または入学予定者 ②学費等納付者(家族等)が災害救助法適用地域に1年以上在住または出張等で重慶の被災(死亡・行方不明・重傷)した場合は	学費支援 入学金・授業料減免	免除・減免	学費等の全額または半額分を免除する (被災の程度により、本学の判断を要する一定の免除をする)	最大1年	人数制限なし	地域の制限なし	在学生は学生支援センター・入学予定者及び受験生は入試・広報室	併用可	併用可
	国際武道大学入学時成績優秀者奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		1学年～4年生 A区分 入学試験「大学入学共通テスト利用選抜(前期日程又は後期日程)」において、2科目の合計得点率が90%以上の優秀な成績を収めた者 B区分 入学試験「大学入学共通テスト利用選抜(前期日程又は後期日程)」において、2科目の合計得点率が80%以上の優秀な成績を収めた者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	A区分 当該年度に納入する入学金及び授業料の合計額 B区分 当該年度に納入する入学金及び授業料のそれぞれの額に100分の33を乗じて得た額の合計額 なお、A区分、B区分とも、2年生以上の奨学金においては、入学金を発生算出した額とする。	4年間	各学年10名以内	地域の制限なし	入試・広報室、企画課	併用可	併用不可
	国際武道大学私費留学生奨学金	在学中	1年生～4年生		入学金・授業料減免	1年～4年生 1.卒業生、人物ともに優れた者 2.卒業生、スポーツの普及と発展に寄与すると認められる者	入学金・授業料減免	免除・減免	2024年度入学生 年間 370,000円 2023年度以前入学生 年間 357,500円	1年間(毎年度審査あり)	24人以内	地域の制限なし	国際室	併用可	併用不可
淑徳大学	淑徳大学特別給付奨学金	在学中	全学年	特待生・成績優秀者 学費支援	全学年を対象とし、経済事情により学業の継続が困難とされる者のうち、学業成績・人物ともに優秀で他の学生の模範となる学生	特待生・成績優秀者 学費支援	給付奨学金	授業料に相当する額	1回(次年度応募可)	若干名	地域の制限なし	東京事務部学生担当	併用可	併用可	
	淑徳大学一般給付奨学金	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援	全学年を対象とし、経済事情により学業の継続が困難とされる者のうち、学業成績・人物ともに優秀で他の学生の模範となる学生	特待生・成績優秀者 学費支援	給付奨学金	授業料の半額に相当する額	1回(1年度応募可)	若干名	地域の制限なし	東京事務部学生担当	併用可	併用可	
	淑徳大学 外国入留学生給付奨学金	在学中		特待生・成績優秀者 学費支援	本学に在籍する私費留学生のうち、以下の条件すべてを満たす学生。 (1)人物・学業成績・技能等が優秀かつ健康で学費納入が可能な学生 (2)在留資格が「留学」の学生	特待生・成績優秀者 学費支援	給付奨学金	成績等により決定(次年度応募可)	1回限り	若干名	地域の制限なし	東京事務部学生担当	併用不可	併用可	
	高校成績特待制度	その他	申請不要	入学金・授業料減免	奨励特、基準に達している者は入学金半額免除 詳細は以下のサイトを参照 <a href="https://o.uen.saitoku.ac.jp/exam-2023/scholarship.html">https://o.uen.saitoku.ac.jp/exam-2023/scholarship.html</a>	入学金・授業料減免	免除・減免	入学金半額免除			人数制限なし	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可
聖徳大学	資格特待制度	その他	申請不要	入学金・授業料減免	奨励特、基準に達している者は入学金半額免除 詳細は以下のサイトを参照 <a href="https://o.uen.saitoku.ac.jp/exam-2023/scholarship.html">https://o.uen.saitoku.ac.jp/exam-2023/scholarship.html</a>	入学金・授業料減免	免除・減免	入学金半額免除			人数制限なし	地域の制限なし	入学センター	併用可	併用可
	在学特別奨学生	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	2年～4年生の全学生対象 経済的に修学困難な学生を対象に在学中の学業成績が特に優れ、かつ人物優秀な学生 1種 年間授業料の半額を免除 2種 年間授業料の3分の1を免除 生計維持費の年間収入、本人の年間GPAによる出願条件あり。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	1種 年間授業料の半額を免除 2種 年間授業料の3分の1を免除	1年間	年間10名程度	地域の制限なし	教育支援課	併用可	併用可	
	後援会助成金	在学中	卒業年度	学費支援	経済上の理由により校舎の納付が困難となった場合、その学生に学費を継続させるための授業料を貸与	学費支援	貸与奨学金	年間授業料の範囲内	半期ごと	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
清和大学	清和大学特待生	入学後		特待生・成績優秀者	目的 学業、人物ともに優れた学生に奨学金を給付し、優秀な人材を育成する。 資格 1種…各年度の成績が特待人物がすぐれていること 2種…各年度の成績が優れて人物がすぐれていること	特待生・成績優秀者	給付奨学金	1種…清和大学授業料相当額 2種…清和大学授業料相当額の半額	1か年	各学年若干名	地域の制限なし	学務課(学生係)	併用可	併用可	
	清和大学スポーツ特待生	学校出陣時		特待生・成績優秀者	競技実績が優れ、スポーツ特待生としてふさわしいと評価できる者 対象部活:柔道・剣道・硬式野球・女子ソフトボール(地上競技)	特待生・成績優秀者	給付奨学金	非公表	4年間	各部による	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	清和大学学力特待生	学校出陣時		特待生・成績優秀者 学費支援	学力及び人物が優れている者	特待生・成績優秀者 学費支援	給付奨学金	A 特待生：入学科全額24年度の授業料全額に相当する奨学金を給付 B 特待生：入学科全額24年度の授業料半額に相当する奨学金を給付 C 特待生：入学科全額24年度の授業料1/4に相当する奨学金を給付	4年間	若干名	地域の制限なし	入試広報センター	併用可	併用可	
	千葉工業大学	千葉工業大学経済的支援奨学生	学校出陣時		学費支援	船主意欲があるにもかかわらず、経済的困難により修学の継続が難しくなること、同一年度に企業社会実習奨学生の給付もしくは授業料の減額措置を受けていないこと、過去に留年していないこと、学部3～4年次対象。	学費支援	給付奨学金 免除・減免	授業料相当額を限度とする。			地域の制限なし	併用可	併用可	
千葉商科大学	千葉工業大学社会実習奨学生	学校出陣時		学費支援	船主意欲があるにもかかわらず、直近1年以内または実質的支援者が死亡、生別、失業、長期療養等により経済的に困難な修学の継続が難しくなること、同一年度に経済的支援奨学金(成績優秀型)を受けていないこと、他に企業社会実習奨学生の給付を受けていないこと。	学費支援	給付奨学金 免除・減免	授業料相当額を限度とする。			地域の制限なし	併用可	併用可		
	千葉工業大学実習奨学生	学校出陣時		学費支援	船主意欲があるにもかかわらず、直近1年以内または実質的支援者が死亡、生別、失業、長期療養等により経済的に困難な修学の継続が難しくなること、同一年度に経済的支援奨学金(成績優秀型)を受けていないこと、他に企業社会実習奨学生の給付を受けていないこと。	学費支援	給付奨学金 免除・減免	20万円を限度とする。			地域の制限なし	併用可	併用可		
	千葉工業大学実習奨学生	学校出陣時		学費支援	船主意欲があるにもかかわらず、直近1年以内または実質的支援者が死亡、生別、失業、長期療養等により経済的に困難な修学の継続が難しくなること、同一年度に経済的支援奨学金(成績優秀型)を受けていないこと、他に企業社会実習奨学生の給付を受けていないこと。	学費支援	給付奨学金 免除・減免	1年間の授業料半額免除			地域の制限なし	併用可	併用可		
	千葉工業大学学生共済会学生給付金貸付	学校出陣時		学費支援	学費支援者が死亡、生別、失業あるいは病気や事故により長期休業があった場合学費を貸与する。	学費支援	給付奨学金 免除・減免	1年間の授業料半額免除			地域の制限なし	併用可	併用可		
	成績優秀表彰制度	入学後		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	2～4年生のうち、各年度の前年度終了時における年間GPAが5.0以上であり、また規定以上の単位を修得している者で、かつ当該学部・専攻において他の学生の模範となると認められる者。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	1. 1年間の授業料半額免除 2. 1年間の授業料全額免除			地域の制限なし	併用可	併用可		
	資格取得特待生授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免 資格取得支援制度	1. 日商簿記1級合格者または中小企業診断士1次試験全科目合格者 2. 公益設計士論文試験または税理士試験合格者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	1. 1年間の授業料半額免除 2. 1年間の授業料全額免除			地域の制限なし	併用可	併用可		
	文化・スポーツ特待生授業料減免制度	学校出陣時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	優秀な文化活動実績又はスポーツ活動実績を有し、本学の入学試験において文化・スポーツ特待生に選ばれた者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	初年度年間授業料の全額または半額免除。入学後の成績等により継続可能。			地域の制限なし	併用可	併用可		
	総務費授業料減免制度	学校出陣時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	前年度選抜対象入学試験において総務生に選ばれた者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	初年度年間授業料の半額免除。入学後の成績等により継続可能。			地域の制限なし	併用可	併用可		
	卒業生子女等奨学金減免制度	学校出陣時		入学金・授業料減免	千葉商科大学、千葉商科大学付属高等学校卒業生若しくは千葉商科大学院修了者(以下「卒業生等」とする)又は前記進学学校在学中の2級等以内の奨学生が24年度入学し、合格した者 2級等以内の在学中に、学業、生活態度、人物ともに優良かつ勉学に意欲があり、かつ人物優秀な学生と認められる者 3.卒業生等には、兄弟姉妹の配偶者も含むものとします なお、本学卒業生等には企業社会実習奨学金(成績優秀型)の併用が認められず、併用が認められない場合があります。	入学金・授業料減免	免除・減免	入学金から10万円減額			地域の制限なし	併用可	併用可		
	入試特待生授業料減免制度	入学手続時		入学金・授業料減免 資格取得支援制度	本学入試に合格する商経学部合格者のうち、日本商工会議所の簿記検定1級有資格者(外国入留学生は除く)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	初年度年間授業料の半額免除			地域の制限なし	併用可	併用可		
大規模自然災害等に係る学費減免	学校出陣時		入学金・授業料減免 被災者資金支援	本学が経済的支援を決定した災害により、学費負担者が所有する自宅等が全壊(失火あるいは大規模火災)した場合、※罹災証明書により被災収支を証明します。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	入学決定料の納入免除、入学金の納入免除			地域の制限なし	併用可	併用可			
一人暮らし支援制度	入学手続時		その他	一人暮らし支援制度	「大学入学内閣」一人暮らし補助の学部生対象。 前記から大学での通学時間が120分以上 ・本学指定の学生寮・学生マンションへの入居に際し、 ・留学生・編入生は対象外。	その他	入学初期費用15万円の補助および初年度1年間に限り毎月2万円の家賃補助			地域の制限なし	併用可	併用可			
資格検定試験等支援奨励金給付制度	在学中	1年生～4年生		資格取得支援制度	商経学部、サービスクラス学部、人間社会学部、国際経営学部学生のうち、学部が定めた資格検定試験を受験したまたは合格した者。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付奨学金	学部、資格検定試験による			地域の制限なし	併用可	併用可		
資格取得者等支援奨励金	在学中	1年生～4年生		資格取得支援制度	本学が定めた資格検定試験に合格し内定した者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付奨学金	資格検定による			地域の制限なし	併用可	併用可		
学生起業制度	在学中	1年生～4年生		課外活動支援制度	国際、地域、環境、文化、ボランティア、体育、教育等の課外活動で活躍した者	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付奨学金	5,000円相当額給付			地域の制限なし	併用可	併用可		
中央学院大学	特待生(新入生)	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	入学試験(推薦・受験)において、特に優れた成績をおさめたものおよび入学試験(総合選抜型)において、社会・文化・スポーツなどで顕著な功績をおさめたものと認定された者は、特待生の候補資格を有する。	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	給付奨学金 免除・減免	新入生第1種特待生 入学金および授業料の年額および施設設備費を納入免除(推薦受験を除く) 新入生第2種特待生 入学金および授業料の年額を納入免除 新入生第3種特待生 入学金および授業料の年額の2分の1を納入免除 新入生第4種特待生 入学金納入免除 新入生第5種特待生 授業料の年額の2分の1を納入免除	入学年度のみ	新入生第1種特待生 12名 新入生第2種特待生 11名 新入生第3種特待生 9名 新入生第4種特待生 30名	地域の制限なし	学事部学生課	併用可	併用可	
	特待生(在学中/社会・文化・スポーツなど)	在学中	2年～4年 該当者へは書類を郵送 書類に締め切りを明記(目安6月7月)	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1年以上4年以内の在学の者で、社会・文化・スポーツなどで顕著な功績をおさめた者は、特待生の候補資格を有する。	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	給付奨学金 免除・減免	在学生第1種特待生 授業料の年額および施設設備費を納入免除 在学生第2種特待生 授業料の年額を納入免除 在学生第3種特待生 授業料の年額の2分の1を納入免除 在学生第4種特待生 授業料の年額の2分の1を納入免除 在学生第5種特待生 授業料の年額の2分の1を納入免除 在学生第6種特待生 授業料の年額の10分の1を納入免除	該当年度1年間	在学生第1種特待生 21名 在学生第2種特待生 12名 在学生第3種奨学生 12名	地域の制限なし	学事部学生課	併用可	併用可	
	私費外国入留学生特待生・奨学生	在学中	1～4年	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	私費留学生、次の1及び3から5のすべてに該当する者は、特待生候補資格を有し、2から5のすべてに該当する者は、奨学生候補資格を有する。ただし、再入学者は対象としない。 1.入学試験の成績が優れている者 2.入学試験の成績が優れている者 3.3年次以上の成績から算出する奨学金の合計が月額7万円以下の者 4.日本語能力試験において2級以上を取得した者、又は、日本語試験の日本語科目において200点以上を稼いだ者 5.入学時において国民健康保険等の社会保険に加入している者 6.在学要件 ①前年度のGPAが概ね2.0以上の者 ②本学以外の機関から受給する奨学金の合計額が月額7万円以下の者 ③3ヵ月能力試験において2級以上を稼いだ者、又は、日本語試験の日本語科目において200点以上を稼いだ者 7.推薦資格取得者のうち、又は、推薦に必要となることに基づき満たしているものもあつて、学業及び人物共に優れた修業の継続が必要であると認められている者とする。 授業料を貸与する外国人留学生の経済的な困難は、当該年度の総収入見込額(両親からの送金、親戚等からの支援、アルバイト収入、奨学金(授業料減免を除く)を除く)を考慮し、その他の収入の合計額が500万円以下とする。次の各号に該当する留学生は授業料減免の対象としない。 ①定額給付金(貸付)に該当する者(貸付)に必要となることに基づき満たしている者(学費証明書の提出を要しない) ②代理徴収金、返還給付金、前期授業料を納入していない者(学費証明書の提出を要しない) ③3年次の修得単位数が前20年度未満の者(卒業見込がある者又は除く) 4.スポーツ特待生(推薦授業料減免者) 5.新入生特待生(年間授業料減免者) 6.推薦資格取得者のうち、又は、推薦に必要となることに基づき満たしている者(学費証明書の提出を要しない) 7.推薦資格取得していない者 8.休学、退学、編入者(学費を含む) 9.留学期間延長した者、留学期間中に学費未払いと認定される者 学生給付金減免の内容、返還基準、申請の受付開始時期、減免適用年度、期間等については、本学ホームページおよび院内掲示板、学生ポータルにて公示する。	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	給付奨学金	特待生入学金および授業料の年額に相当する金額の奨学金を支給する。奨学金はその相当額を納入から減免する。奨学生については、授業料の50%に相当する金額の奨学金を支給する。ただし、奨学金はその相当額を納入から減免することにより奨学金にかかるとはならない。	1年間	給付奨学金(25万円・20万円・15万円・10万円・5万円) 38名、学部生(2022年度)	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用可	
	私費外国入留学生の授業料減免	在学中	1～4年・大学院1～2年	学費支援 入学金・授業料減免	授業料を貸与する外国人留学生の経済的な困難は、当該年度の総収入見込額(両親からの送金、親戚等からの支援、アルバイト収入、奨学金(授業料減免を除く)を除く)を考慮し、その他の収入の合計額が500万円以下とする。次の各号に該当する留学生は授業料減免の対象としない。 ①定額給付金(貸付)に該当する者(貸付)に必要となることに基づき満たしている者(学費証明書の提出を要しない) ②代理徴収金、返還給付金、前期授業料を納入していない者(学費証明書の提出を要しない) ③3年次の修得単位数が前20年度未満の者(卒業見込がある者又は除く) 4.スポーツ特待生(推薦授業料減免者) 5.新入生特待生(年間授業料減免者) 6.推薦資格取得者のうち、又は、推薦に必要となることに基づき満たしている者(学費証明書の提出を要しない) 7.推薦資格取得していない者 8.休学、退学、編入者(学費を含む) 9.留学期間延長した者、留学期間中に学費未払いと認定される者 学生給付金減免の内容、返還基準、申請の受付開始時期、減免適用年度、期間等については、本学ホームページおよび院内掲示板、学生ポータルにて公示する。	学費支援 入学金・授業料減免	給付奨学金 免除・減免	授業料の30%(100円未満は切り捨て)とする。 当該年度の学費納入額に限り、授業料から減免相当額を控除。	1年間	100名(2022年度実績)	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用不可	
	大規模災害被災学生に対する学生給付金減免	在学中	1～4年	学費支援 入学金・授業料減免 被災者資金支援	本学が経済的支援を決定した災害により、学費負担者が所有する自宅等が全壊(失火あるいは大規模火災)した場合、※罹災証明書により被災収支を証明します。	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	免除・減免	学生給付金減免の内容、返還基準、申請の受付開始時期、減免適用年度、期間等については、本学ホームページおよび院内掲示板、学生ポータルにて公示する。			地域の制限なし	学事部 学生課	併用可	併用不可	
	留年生授業料減免	在学中	留年学生		入学金・授業料減免	在学期間4年を越えかつ4年生を2回以上留年する者	入学金・授業料減免	免除・減免	遺年を完結する科目に対して一科目8万円の授業料とする。 有償、無償は任意でメニューを指定する科目に対して一科目4万円の授業料とする。 ただし、各メニューで選定可能な科目は選定で完結する科目とみなす。 授業料科目別に前期授業料を発生算出した額と年間授業料を比較し、超過額を納入することが出来る。	該当年度	制限なし	地域の制限なし	学事部 学生課	併用可	併用可
	特待生・奨学生(在学中/学業成績)	在学中	2年～4年		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	1年以上4年以内の在学の者で、前年度の学業成績平均点90点以上の者で、かつ、標準単位数以上を各年次で修得した者は、特待生の候補資格を有する。 1年以上4年以内の在学の者で、前年度の学業成績(累計)平均点80点以上の者で、かつ、標準単位数以上を各年次で修得し、学費の交付が困難(累計支持者の納入額あり)に該当する者は、奨学生の候補資格を有する。	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	給付奨学金 免除・減免	特待生 授業料の年額を納入免除 2分の1(奨学生) 授業料の年額の2分の1を納入免除 3分の1(奨学生) 授業料の年額の3分の1を納入免除 4分の1(奨学生) 授業料の年額の4分の1を納入免除 10分の1(奨学生) 授業料の年額の10分の1を納入免除	該当年度1年間	特待生 8名 2分の1(奨学生) 8名 3分の1(奨学生) 9名 4分の1(奨学生) 8名 10分の1(奨学生) 37名	地域の制限なし	学事部学生課	併用可	併用可
	帝京平成大学特別奨学生制度	在学中	2年次以降		入学金・授業料減免	高い学業意欲がありながら、入学後実質的支援者の死亡、失業(定年退職を除く)、長期入院や療養及び災害等によって学業に、経済的に修学を継続することが困難となった者。	入学金・授業料減免	免除・減免	A. 授業料から30万円免除 B. 授業料から20万円免除 C. 授業料から10万円免除			地域の制限なし	地産キャンパス教務課学生支援係	併用可	条件有り併用可
	帝京平成大学永待生特待生制度	在学中	2年次以降		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学業成績が優れ、他の模範となるに相当しい認められる者。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付奨学金	第1種: 授業料から45万円免除 第2種: 授業料から35万円免除			地域の制限なし	地産キャンパス教務課学生支援係	併用可	条件有り併用可
	帝京平成大学短期留学生奨学金貸付制度	在学中	帝京大学システムキャンパス短期留学期間参加時		留費用貸付支援制度	帝京大学システムキャンパス短期留学期間参加者で、本奨学金の貸付を希望する者(春学期、秋期ともに10名まで)。	留費用貸付支援制度	貸与奨学金	30万円貸付(システムキャンパス入費)貸付に充当する。在学期間4年まで延長した場合は、奨学金の返還を全額免除する。応募時に返済計画が作成されている学生は40万円貸付。			地域の制限なし	春期・秋期 各10名	中野キャンパス教務課	併用可
帝京平成大学ホリデー留学期間奨学金	在学中	ホリデー留学期間参加時		留費用貸付支援制度	帝京平成大学のホリデー留学期間に参加する者。	留費用貸付支援制度	給付奨学金	本学ホリデー留学期間参加費合計額から、一定の割合を発生算出した額とする。			地域の制限なし	中野キャンパス教務課	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否			
帝京大学	帝京大学薬学部特待生制度	その他	受験時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	総合型選抜、一般選抜において本学が定める基準点以上の成績の者。		免除・減免	特待生S:授業料全額免除 特待生A:授業料半額免除 特待生B:授業料30%免除 ※卒業後進学成績により継続の審査を行います。	1年次～4年次までの6年間、ただし、2年次以降は卒業成績により翌年度の継続に際して審査を行う。		地域の制限なし	治産キャンパス入試課	併用可	併用可			
	帝京大学特待生制度	その他	受験時	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	総合型選抜1期において、3日以上出願し特待生制度の選考対象となり基準以上の成績を収めた場合、また、一般選抜において、人文社会学部、ヒューマンケア学部、健康メディカル学部、健康医療スポーツ学部を受験した者で本学が定める基準点以上の成績の者。		免除・減免	特待生A:授業料45万円免除 特待生B:授業料35万円免除	1年次～1年間(2年次以降は大学独自の奨学金制度を申請できる)。		地域の制限なし	治産キャンパス入試課	併用可	併用可			
	帝京平成大学ちほら台キャンパス学生奨励学生制度	その他	1年生においては入学手続時、2・3・4年生においては在学中に申請すること	奨励奨励 入学金・授業料減免 その他	学業成績が優れ、他の奨励と並びに相応しいと認められる帝京平成大学ちほら台キャンパス学生奨励メールちほら台からの入学者、入寮対象となるのは、健康医療スポーツ学部所属する男子学生。		免除・減免	1年次出願金が518,000円(月額18,000円)を免除する。 2年次以降は授業料から16,000円(月額1,800円)を免除する。	継続して一学期、ただし、出願資格を満たしていれば、次年度以降も出願可能。		地域の制限なし	ちほら台キャンパス学務担当	併用可	併用可			
	特定災害の罹災者への支援制度 その他	その他	都度	入学金・授業料減免 その他	本学の学生で、地震・風水害等特定災害の罹災者。		免除・減免	都度、状況に応じ、 約160万円			地域の制限なし	治産キャンパス教養課学生支援係	併用可	条件有りで併用可			
	帝京大学グローバルキャンパス短期留学期特待生制度	在学中	グローバル短期留学参加時(1学期コースのみ)	留学期間支援制度	1～3年次のグローバル短期留学参加条件を満たすことで、応募枠LLTS Academic55以上の英語力保持者、書類審査及び面接を行い、選定する。		給付奨学金	約160万円			若干名	地域の制限なし	中野キャンパス教養課	併用可	条件有り併用可		
	帝京平成大学私費外国人留学生授業料減免制度	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学に在籍する外国人留學生で、学部の正規課程に在籍し、在籍資格「留学」を有する私費外国人留學生		免除・減免	授業料の50%、40%、30%、20%、10%の免除				地域の制限なし	中野キャンパス教養課学生支援係	併用可	条件有り併用可		
	帝京大学ちほら台総合医療センター看護学生奨学金制度	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	ヒューマンケア学部看護学科、健康医療スポーツ学部看護学科の全学年 「卒業後、帝京大学ちほら台総合医療センターにおいて、看護師・助産師として勤務するもの。また、奨学金の交付を受けた期間に相当する期間に帝京大学ちほら総合医療センターに看護部・助産科として勤務した場合は減免免除が受けられます。ただし、この制度は奨学金が保証されるものではありません。就職採用試験に不合格となった場合、奨学金の返還が必須となります。		貸付奨学金	月額30,000円	1年次から4年次までの4年間			地域の制限なし	帝京大学ちほら総合医療センター(総務課)	併用可	併用可		
	東京歯科大学	特別奨学金	在学中	全学年	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特別奨学金とはこの中で最も優遇な、東京歯科大学歯学部にて在学し、卒業後「就職」が優秀かつ就職先が、他の学生の模範となる者とする。各学年の成績上位層から5名程度とする。		免除・減免	特別奨学金額は、毎年度、委員会を開催し次年度の給付額を決定している	1年間	各学年3名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	東京情報大学	特待生制度	その他	公募ではなく、大学より毎年選出。	特待生・成績優秀者	新入生の場合 1.総合型選抜(卒業前選抜型)、総合型選抜(課題研究型)の合格者 2.一般選抜、共通テスト利用選抜の合格者のうち成績上位者 3.特待生チャレンジ制度の申込者のうち成績上位者 2年次以降の場合 成績優秀者の中から選抜		免除・減免		1年間		地域の制限なし					
	東洋学園大学	東洋学園奨学金	在学中	2年次以上	学費支援	経済的理由により学業の継続が困難で、成績が優秀な学生		給付奨学金	上限45万円/年	1年間	若干名	地域の制限なし	入試室	併用可	併用可		
東洋学園大学	東洋学園大学特待生制度	その他	入試結果による。 ①一般選抜入試合格者の上位成績優秀者 ②学校推薦型公募制スポーツ推薦方式の上位成績優秀者	特待生・成績優秀者	①一般選抜入試合格者の上位成績優秀者 特待生S:300万円/4年 特待生A:80万円/年 特待生B:40万円/年 特待生C:入学費5万円/年 ※特待生Sは1～4年次の授業料 最大減免額360万円 ただし2年次以降の継続については卒業成績により選考 ※特待生A～Cは1年次のみ ②学校推薦型公募制スポーツ推薦方式の上位成績者 特待生D:入学費30万円/年 ※1年次のみ		免除・減免			1年次から4年次までの4年間	1年次から4年次までの4年間	地域の制限なし	入試室	併用可	併用可		
	被災者救済奨励制度	在学中	1～4年次	被災者賞金支援	天災・人災などにより家庭半壊以上の被害を受けた学生		免除・減免	上限45万円/年	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	入試室	併用可	併用可			
	学費月払い制度	在学中	1～4年次	その他	学費月払い制度の適用を希望する者(秋学期入学生を除く)		免除・減免	4月～翌2月の1回払い(毎月10万円、無利息)	在学中	人数制限なし	地域の制限なし	入試室	併用可	併用可			
	入学免除制度	学校出願時		入学金・授業料減免	①洋学生在学の子、兄弟姉妹及び本学(東洋女子歯科高等専門学校、東洋女子短期大学、東洋学園大学)卒業生の子、孫、配偶者または兄弟姉妹などの二親等以内の親族が入学する場合 ②兄弟姉妹、養子、祖父と孫、夫婦などの二親等以内の親族が同時に入学する場合 ※定年以内で該当する場合は、本人からの入学を奨励します。		免除・減免	入学金 30万円	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試室	併用可	併用可			
	留学支援制度	在学中	1～4年次	留学期間支援制度 入学金・授業料減免 その他	海外経験体験サポート制度	①短期留学(海外文化体験、国際情報取組(一語))に認められた学生 ②長期留学(A国際交流センター特別留学、B協定校留学、C認定留学)が認められた学生 ③国際キャリアプログラム(ICP)所属の学生 ④留学奨励金(国際交流センターの定める基準を満たした学生)		給付奨学金 免除・減免	①A 助成金 5万円 ①B 助成金 7万円 ②共通 本学の授業料 80%減免(留学期間分) ②A 留学費、年間約2万円 ②B 助成金 半年間15万円、年間30万円 ③ 留学奨励金 本学負担 ④ 奨励金 半年間10万円、年間20万円	①プログラムごと ②留学期間分(半年間・1年間) ③1年間の6程度 2年間10名程度 ④1年間 ⑤留学奨励金期間分(半年間・1年間)	1年間の6程度 2年間10名程度 ④1年間 ⑤留学奨励金期間分(半年間・1年間)	地域の制限なし	入試室	併用可	併用可		
	東洋学園大学同窓会奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	全学年を対象で、経済的困難度が高く、成長の足見がある者		給付奨学金	20万円/年	1年間	6名		地域の制限なし	入試室	併用可	条件有り併用可		
	秀明大学	秀明大学給付型奨学金制度	その他	申請不要(入試試験合格者は自動決定)	特待生・成績優秀者	①学校教養学部・看護学部 対象:入学試験合格者 資格:入試の結果による ②総合経営学部・英語情報マネジメント学部・観光ビジネス学部 対象:入学試験合格者 資格:入試の結果による		給付奨学金	①学校教養学部・看護学部 区分A奨学金＝奨学金 金額:400万円、300万円、200万円、120万円、100万円、30万円 区分B奨学金＝奨学金 金額:200万円、120万円、80万円、40万円、20万円	①期間:4年間(奨学金は初年度のみ) ②期間:4年間(D-E奨学金は初年度のみ)	①2年次人数制限なし	地域の制限なし	入試室	併用可	併用可		
	和洋女子大学	特待生制度(S型)	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般選抜A日程(1日目)と大学入学共通テスト利用選抜1期における成績上位者(例として、授業料・施設費を最大4年間免除する(2年次以降の継続条件あり)、全学対象。 ①選抜A日程(1日目)は、入試の成績において、2教科・科目の平均得点が80点以上の上位者から各教科ごとに選考、看護学科は、3教科・科目の平均得点が80点以上の上位者から選考。 大学入学共通テスト利用選抜1期は、入試の成績において、2教科・科目の平均得点が70点以上の上位者から各教科ごと選考。		免除・減免	授業料および施設費(金額は学科により異なる)	最大4年間(2年次以降継続条件あり)	1年次定員(750名)の5%以内(※S型特待生を含む)	地域の制限なし	入試・広報センター	併用可	条件有り併用可		
	和洋女子大学	輝かむら作奨学金	在学中	1～4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	成績優秀な学生を対象に家計の状況を考慮し給付する。全学年、全学科対象。		給付奨学金	30万円	一時金	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
		フレンドシップ奨学金	在学中	1～4年生	学費支援 入学金・授業料減免	経済的理由により修学が困難になったボランティア活動に熱意のある学生へ給付する。全学年・全学科対象。		給付奨学金	10万円	一時金(学費充当)	年間100名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
育英奨学金		在学中	2～4年生	学費支援 入学金・授業料減免	家計急変により修学が困難になった学生に貸与する。採用は1回のみ、2年生以上、全学部・学科対象。		貸付奨学金	学費の半額分を上限とする希望額。	一時金(学費充当)	年間6名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可			
卒業生等寄附奨学金		在学中	学科により異なる	その他	学科により異なる		給付奨学金	学科により異なる。	一時金	学科により異なる。	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可			
海外留学期奨学金		在学中	2年生以上	留学期間支援制度	認定留学をする学生へ給付する。		給付奨学金	10万円	一時金	前後各1名		地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可		
海外学習支援奨学金		在学中	原則2年生以上	留学期間支援制度	国際学部所属し、海外で学習する原則2年生以上の学生を対象に、成績、語学力により選考する。		給付奨学金	留学期間より10～100万円。	一時金			地域の制限なし	国際学部 国際オフィス	併用可	併用可		
和洋学園後援会奨学金		随時		学費支援 入学金・授業料減免	全学部全学年対象(特待生等奨学金の支払いを免除したものは除く)、学業成績・人物ともに優れ、修学意欲が高い者が、家計急変や災害等により学費の支弁に困難を来し、修学継続が難しいと認められたもの、再選考の対象ない。		貸付奨学金	貸与額は、後援会の予算に基づき、年度ごとに定める。 授業料納入金の月の分を上限とする。(授業料等に充当)	一時金	貸与人数は、後援会の予算に基づき、年度ごとに定める。		地域の制限なし	総務課	併用可	併用可		
特待生制度(N型)		その他		専願制入試(総合型選抜/学校推薦型選抜)の入学者予定者、特待生(N型)を希望する者は、特待生選考試験への出願・受験が必要。	特待生・成績優秀者	特待生(N型)を希望する者は、総合型選抜および学校推薦型選抜の入学者予定者に対し、特待生(N型)選考試験として面接と書類の試験を実施。選考試験の結果に基づいて、2教科・科目の平均得点が80点以上の上位者から各教科ごとに選考。特待生(N型)対象者は、授業料の半額を最大4年間免除する(2年次以降の継続条件あり)、全学科対象。		免除・減免	授業料の半額(留学期間分により異なる)	最大4年間(2年次以降継続条件あり)	1年次定員(750名)の5%以内(※S型特待生を含む)	地域の制限なし	入試・広報センター	併用可	条件有り併用可		
愛国学園大学		三浦亮一奨学金	在学中	1～4年生	入学金・授業料減免 用途を定めない経済的支援	1～4年生対象 成績等が優秀な学生や家計急変により学業継続が困難と認められた者		給付奨学金	特に定めていない	前期・後期毎	前期・後期毎に各学年1名程度	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可		
開智国際大学		新・教育特待プログラム	学校出願時		特待生・成績優秀者	2024年度より、新たな特待制度として以下の3つのプログラムを設けられた。 新・教育特待プログラムを希望する場合は、入試特待制度の総合型選抜、または一般選抜の各入試を併せて出願・受験してください(何回受験しても受験料は1回のみ)。 ①教育深化プロジェクト【教育学部 初等教育専攻】 特待生・学業成績として活躍できる優秀な学生をこのプログラムに、小学校教員免許取得を目指す者が対象。 ②ビジネス英語マスタープログラム【教育学部・国際経営学部】 英検2級以上の英語資格を有し、英語力を確固的に高め、将来ビジネスシーンで活用したいと強く願って入学する全学生が対象。 ③英語グローバル人材育成プログラム(アドベンス)【教育学部・国際経営学部】 英語力を基礎から着実に伸ばしたい全学生対象。 ④データサイエンス/AI人材育成プログラム【国際経営学部】 文理関係の区別なく、データサイエンスの実践方法を基本から学ぶ意欲のある学生対象。		免除・減免		S特待生:原則4年間 A特待生:入学時のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度、オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可		
開智国際大学	入試特待制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	本学の入試特待制度に申請し、受験すること。 ①学校推薦型選抜【指定校推薦型】 高等学校の評定平均値により決定 ②総合型選抜【AO型(自己推薦)】 実績、意欲などにより決定【国際・グローバル型】 国際・グローバルの分野により決定【特待チャレンジ型】 入試の結果により決定 ③一般選抜【共通テスト利用型】 共通テストの得点により決定【特待型】 入試の結果により決定		免除・減免		S特待:4年間で270,000円～150,000円学費免除(特待区分による)。特選抜方法により異なるので、詳細は学生募集要項をご確認ください。			S特待生:原則4年間 A特待生:入学のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度、オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可
	語学資格特待制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	所定の資格を保有し、本学の入学試験に合格した者。 ①英語資格(英検※) 2級:A1特待、準1級以上:S3特待 ②日本語能力検定(漢検) 2級以上:A1特待 ※英検以外の各試験団体のデータの特待選考に使用できます。 詳細は本学募集要項をご確認ください。		免除・減免	S3特待:4年間で270,000円入学費・学費免除。 A1特待:入学費全額免除。		S3特待:原則4年間 A1特待:入学時のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度、オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可		
	卒業生子女・専修奨励制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	父母が本学の卒業生、または入学時に兄弟が本学に在籍している者が対象となる場合。		免除・減免	入学費全額免除	初年度のみ	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度、オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可			
	私費外国人留學生奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	本学の外国人留學生入試の出願資格を有し、下記のいずれかの条件を満たす者。 A:授業料を除く年間生活経費が月平均1万円以下 B:在日している扶養者の年収が900万円未満の場合		免除・減免	4年間で1,110,000円学費免除。		原則4年間	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度、オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可		
	留學生N1特待制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	本学の外国人留學生入試の出願資格を有し、本学が指定する最遅日までに日本語能力試験JLPTのN1を取得した者。		免除・減免	4年間で270,000円学費免除。		原則4年間	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター(入試制度、オープンキャンパス)・総務会計課(学費)	併用可	併用可		
	各種語学検定試験助成制度	入学後		資格取得支援制度	①TOEIC(IP(日本人学生のみ)) ②日本語能力試験 JLPT(留學生のみ) ③日本語検定(教育学部)・2年生のみ)		免除・減免	受験料全額		S4階受験可(国際経営学部日本人TOEIC×4回、国際経営学部留學生:出PT×4回、教育学部:日本語検定×2回、TOEIC×2回)	人数制限なし	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可		
	公務員試験チャレンジ支援	入学後		就職支援	本学と協働関係にある専門学校もしくは資格スクールに通って公務員試験に合格した場合。		給付奨学金	「入学費」+「入学費を除く経費の最大半額(最大20万円まで)」を支給。	①1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	キャリアセンター	併用可	併用可			



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
千葉科学大学	兄弟姉妹学納金減免制度	入学後		入学金・授業料減免	兄弟姉妹と在学期間が重複し、以下を満たす学生 1)戸籍上、兄弟姉妹であること 2)申請時、兄弟が休学あるいは休学申請を行っていないこと。 3)申請時、兄弟が学費を滞りなく納入していること。 4)兄弟が留年していないこと。 5)兄弟が他校転校を断っていないこと。  姉妹が入学した初年度のみ下記の通り減免する 上級年度：授業料半額免除 下級年度：入学金10万円免除  なお、減免対象学生が同一年度に在籍する場合、兄弟に該当する減免対象学生の授業料を入学した初年度のみ半額免除し、一番下の姉妹に該当する減免対象学生の入学金を10万円免除とする。	免除・減免	上級年度：授業料半額免除 下級年度：入学金10万円免除			姉妹が入学した初年度のみ適用	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部 学生課	併用可	併用可
	自然災害による修学困難学生に対する授業料等減免措置に関する制度	随時		入学金・授業料減免	自然災害により実直事情が発生し、進学を継続する意思があるにもかかわらず経済的に修学困難となる以下の各号のいずれかに該当する者 1)学費支弁者の居住する家族が震災・流出、又は浸水等の被害を受けている場合 2)市町村による避難勧告又は学費支弁者の居住する家族の立入禁止区域指定が1か月以上の場合 3)学費支弁者が死亡、行方不明、長期療養中若しくは重度な障害を負っている場合 4)その他、実直の状況に応じて理事長の必要と認められた場合  当該災害発生年度に地震の対象となった者に対する措置は、被災程度に応じ下記のとおりとする。ただし、特待生入試制度に基づく特待生の期間は除く。 【自然災害発生年度】 1)学費支弁者の家族世帯 1 居住する家族半額以上、又は流出 2 市町村による避難勧告又は居住する家族の立入禁止区域指定が1ヶ月以上 3 死亡、行方不明、長期療養中若しくは重度障害 4 居住する家族の床上浸水  入学以前に被災した者及び当該災害発生年度に申請をしない者の措置は、下記のとおりとする。 【入学金全額免除・年間授業料半額免除】 1)学費支弁者の家族世帯 1 居住する家族半額以上、又は流出 2 市町村による避難勧告又は居住する家族の立入禁止区域指定が1ヶ月以上 3 死亡、行方不明、長期療養中若しくは重度障害 4 居住する家族の床上浸水  【入学金全額免除】 1)学費支弁者の家族世帯 1 居住する家族の一部損壊 2 居住する家族の床上浸水  なお、高等教育修学支援制度に係る授業料等減免制度の適用となった場合、授業料等減免制度を適用し、その残額に上記減免措置を行う。  入試制度等に応じて、成績上位者に対して4年間(学部6年間)の授業料の免除を行う。 対象入試：特待生推薦入試、一般前期A方式、B方式、共通テスト利用入試(前期)、共通テスト利用入試(マイクロコース) 【特待生推薦入試】 全学部……最大10名、入学金および学友会費を除く(1年間全学費免除) 【一般前期A方式、B方式、共通テスト利用入試(前期)、共通テスト利用入試】 薬学部……特待生B(前期)の授業料部分を100%免除4名、特待生C(4年間の授業料部分を50%免除)7名、特待生D(4年間の授業料部分を30%免除)11名 ※入試得点率：E(満点とした受験生の成績順に該当人数を特待生合格者とします。従って「入試得点率」を満たしていても成績順位によっては下位の特待生種別となることが、もしくは特待生とされない場合があります) 【特待生B】 薬学部……特待生B(前期)の授業料部分を100%免除4名、特待生C(4年間の授業料部分を50%免除)6名、特待生D(4年間の授業料部分を30%免除)8名 ※入試得点率：E(満点とした受験生の成績順に該当人数を特待生合格者とします。従って「入試得点率」を満たしていても成績順位によっては下位の特待生種別となる場合、もしくは特待生とされない場合があります)  【注意事項】 継続には一定の条件があります。 2023年度の入試特待生については、2023年度千葉科学大学入試試験要項を確認ください。	免除・減免			1年を超えない期間	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部 学生課	条件有り併用可	併用可	
	入試特待生制度	学校出願時		入学金・授業料減免	【特待生推薦入試】 全学部……最大10名、入学金および学友会費を除く(1年間全学費免除) 【一般前期A方式、B方式、共通テスト利用入試(前期)、共通テスト利用入試】 薬学部……特待生B(前期)の授業料部分を100%免除4名、特待生C(4年間の授業料部分を50%免除)7名、特待生D(4年間の授業料部分を30%免除)11名 ※入試得点率：E(満点とした受験生の成績順に該当人数を特待生合格者とします。従って「入試得点率」を満たしていても成績順位によっては下位の特待生種別となることが、もしくは特待生とされない場合があります) 【特待生B】 薬学部……特待生B(前期)の授業料部分を100%免除4名、特待生C(4年間の授業料部分を50%免除)6名、特待生D(4年間の授業料部分を30%免除)8名 ※入試得点率：E(満点とした受験生の成績順に該当人数を特待生合格者とします。従って「入試得点率」を満たしていても成績順位によっては下位の特待生種別となる場合、もしくは特待生とされない場合があります)  【注意事項】 継続には一定の条件があります。 2023年度の入試特待生については、2023年度千葉科学大学入試試験要項を確認ください。	免除・減免						地域の制限なし	入試広報部	併用可	併用不可
	特待生制度	在学中	学部2年次以上	特待生・成績優秀者	学部2年次以上であり、学業優秀で健康かつ良識のある学生を対象 1)特待生は、授業料から下記金額が免除される。 薬学部 20万円 危機管理学部 14万円 看護学部 14万円 なお、高等教育修学支援制度に係る授業料等減免制度の適用となった場合、授業料等減免制度を適用し、その残額に上記金額を免除する。 2)学年のある学生を除いた各学部の在学数に応じて選出者数を決定し、上位成績優秀者を特待生とする。なお、他の学内授業料等減免制度と重複する場合、減免金額の大きい減免制度を適用する。 3)期間は1年とする。	免除・減免	薬学部 20万円 危機管理学部 14万円 看護学部 14万円	1年間	各学部の在学数に応じて選出	地域の制限なし	教学支援部 学生課	併用可	併用不可		
	私費外国人留学生学納金減免制度	在学中	1年次より		入学金・授業料減免	在留資格「留学」に在留する留学生を対象とする。 ただし、当該年度に次のいずれかに該当する者は除く。 1)公費外国人留学生 2)在学中の者 3)留年した者(ただし、病気等やむを得ない事由により留年した者を除く) 4)出費が常でない者 5)申請年度の年収(収入・月給+平均月給)が(1月当たりの生活費)297,000円を超える者 6)経費支弁者の年収が900万円を超える者 7)在留の賃料月額が65,000円を超える者  減免額 1)授業料の30%免除 2)本学と教育交流協定を締結している大学等又は学費が業務委託契約を行っている日本語学校等から入学する留学生は、入学金を免除。 ただし、当該大学及び日本語学校等における授業の課程を修了した卒業生(特待生)に限る。 授業料減免の期間は原則として1年間とする。 ただし、修業修業生期間(入学から卒業までの期間)の期間中は継続できるものとす。 原則 新入生の女子生徒のみ対象  入学期間 4月1日から翌2月末日までの11ヶ月 なお、学生から希望があり本学委員会が認められた場合、12月に限り入寮継続ができる。  学生支援費 入学金 40,000円(入費納のみ) 学 費 781,000円/年額  内訳 資料費 45,000円/月額 管理費 28,000円/月額(共有部分・居室の光熱水費及びインターネット使用料を含む) 学 費 71,000円/月額  食 費・雑費(朝食250円、夕食420円・材料費の高騰等で変動の可能性有)  寮費の納入 入寮時までに寮費(寮料費・管理費)を年額一括(11ヶ月)で納入 なお、寮費は春・秋の分割納入が可能 額 430,500円(入寮費含む) 税 390,500円	免除・減免	授業料の30%免除 入学金の免除(本学と教育交流協定を締結している大学等又は学費が業務委託契約を行っている日本語学校等から入学する留学生を対象)		減免期間は1年間(修業年限期間中の継続審査あり)	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援部 グローバルセンター	併用可	併用不可
SBC東京医療大学	特待生制度(初年度)	学校出願時		特待生・成績優秀者 その他	授業料免除	一般スクラップ選抜における合格者の中から、学別試験の合計得点が前位上を満たしている者から成績上位者を選出。 最大、理学療法学科10名、看護医療・トレーナー学科5名、看護学科10名。	免除・減免	授業料 年額70万円	初年度1年間	理学療法学科10名、看護医療・トレーナー学科5名、看護学科10名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	高等教育の修学支援新制度に係る授業料減免制度及び給付型奨学金	在学中		全学年	入学金・授業料減免 その他	給付奨学金	文部科学省の高等教育修学支援新制度の利用対象校である。 学業及び要件を審査の上対象となつた方は、支援区分に応じた授業料の減免及び給付奨学金の受給。1年生は入学金の減免が受けられる。	給付奨学金 免除・減免	原則、修業年限まで。		地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
	特待生制度(2年次以降)	在学中		2年生～4年生	特待生・成績優秀者 その他	授業料免除	毎年、各学部の成績上位2名ずつを特待生候補とし、人物や学内生活を考慮したうえで特待生とする。 2年次以降の特待生の納入免除期間は1年間の授業料。	免除・減免	1年間の授業料	1年間	各学部各学年2名を上限とする	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可
	SBCメディカルグループ 看護師育成修学員金制度	その他			学費支援 用途を定めない経済的支援 資格取得支援制度	対応資格 (1)現在大学看護学部又は看護学科(大学院を除く)、短期大学看護学科、看護専門学校など、卒業後の看護師免許の取得を目的とする教育機関に在学中、又は2024年4月に当該教育機関に入学する者 (2)看護師免許取得後、SBCグループの医療機関に勤務すること (3)心身ともに健康であること  1)大学入学者選考試験利用入試入試目標の受験者 2)総合選抜入試・学校推薦型選抜(公募制・指定校制)入試・植草学園大学附属高等学校特別選抜試験で合格し、手続を完了した上で、①の試験を再度受験することによってスクラップ制度を利用する者(本学の奨学金とは別) ※入学者の修業成績によっては、選抜外となる場合があります。また、在学スクラップ制度及び本学独自の奨学金制度との重複はできません。	貸付奨学金 免除・減免	貸付開始から正規の修学期間が終了するまでの期間、毎月5万円 最大4年間(48か月)で、合計貸付金額240万円  貸付開始から正規の修学期間が終了するまでの期間、毎月1万円 最大4年間(48か月)		若干名	地域の制限なし	学務課	併用不可	併用不可	
植草学園大学	新入生対象スカラシップ制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	免除・減免	*合格者の成績上位10%以内 入学金全額免除、授業料1～4年次全額免除  *合格者の成績上位20%以内 入学金全額免除、授業料1～4年次半額免除 ※施設費・教育充実費等は、免除の対象外 15万円(年度別)	免除・減免		原則4年間。ただし、入学後の学業成績等によっては、選外外となる場合があります。	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可		
	学校法人植草学園こころ特別教育員金	在学中		大学2年次・4年次の5月	学費支援	2年次・4年次在籍者 経済的困窮による修学困難な者から、次のいずれかに該当するものとします。 ①特に成績優秀な者で、大学の長より推薦されたもの ②課外活動等において、特に功績があった者で、大学の長より推薦されたもの  1)1年次～3年次における成績が学部毎に上位5%以内であること。 2)学生生活態度を通じて学業に貢献していること。 3)新入学生スカラシップ制度対象者でないこと。	給付奨学金	200,000円	1回	3名～4名	地域の制限なし	学務課(学生係)	併用不可	条件有り併用可	
	在学生対象スカラシップ制度	その他			1年次～3年次における成績が学部毎に上位5%以内の者を学校が選ぶ 特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	給付奨学金	200,000円	1回限り		地域の制限なし	学務課(学生係)	併用可	併用可	







大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
桜美林大学	グローバル人材育成奨学金	学校出願時		留学費用支援制度 その他	各学部の語学力向上支援費給付と前学時の履修費支援	リベラルアーツ学群、グローバルコミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群 対象  グローバル社会において貢献できる人材を育成することを目的とした奨学金制度 入学後に、本学が指定する語学プログラムや2年次秋に出席する1学期間の長期留学に参加し、卒業時にTOEFL&R800点以上の取得を目指す。 各学期末に継続審査を実施(成績基準や語学力のスコア判定あり)	給付奨学金	①語学力向上支援金 各学期10万円 ②留学時旅費支援金 75万円(複数回1回限り)	①正規修業年限内(最大4年間) ②1回限り	1学年30人以内	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	条件有り併用可		
	国際学生奨学金	学校出願時		入学金・授業料減免		①留学・人物ともに優秀で経済困難にある国際学生の学修支援	免除・減免	①各学期授業料 10～100%減免	①正規修業年限内(最大4年間)	①10～100人	地域の制限なし	学務部 学生課	併用不可	条件有り併用可		
	学問人事奨学金	在学中	1年生の専学期(空席がある場合のみ2年生以上も募集)	入学金・授業料減免		①2022年4月以降に入学した者(航空・マネジメント学群フライング・オペレーションコースは対象外) ②日本国籍を有する者、または外国籍の場合は「留学」以外の在留資格を有する者 ③1年生の場合、高等学校等の授業書における全体の評定平均値が4.3以上の者 (高等学校卒業程度認定試験合格者等は評定平均値を問わない) ④2年生以上の場合、選考GPAが3.5以上である者 ※空席がある場合のみ、2年生以上も募集します ⑤学費が1人分以下の基準を満たすこと ・給付(年度)所得者:80万円未満(課税/非課税証明書における給付収入額) ・給付所得者以外:440万円未満(必要経費等差し引き後の金額) ⑥高等教育修学支援新制度の対象者ではないこと ⑦他の学内奨学金を受給していないこと(学群奨学金及び災害等による緊急の奨学金は除く)	免除・減免	授業料を40%減免	採用された次学期以降、正規修業年限内	1学年 6人以内	地域の制限なし	学務部 学生課	併用不可	条件有り併用可		
	学業優秀者奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		前年度の学業成績が特に優秀で他の学生の模範となる学生対象 ①2・3・4年生に在籍する者 ②選考GPAが3.5以上の者 ③前年度の必修単位数について次のいずれにも該当する者 ・本学で2セメスタ以上履修していること ・必修単位数(単位認定等を含む)が20単位以上であり、そのうち成績評価A～Dの合計が16単位以上であること ④他の学内奨学金を受給していないこと(学群奨学金及び災害等による緊急の奨学金は除く)	給付奨学金	20万円(一括給付)	単年度1回限り給付	1学年21人 全体で63人	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	条件有り併用可		
	学群奨学金	在学中	2年生～4年生	その他	顕著な活躍をさせた学生に対する模範型奨学金(後述の指定なし)	2～4年生で各学群1名 学内内外問わず桜美林大学生として顕著な活躍をさせた学生 学群からの推薦により採用	給付奨学金	10万円(一括給付)	単年度1回限り給付	各学群で毎年1人	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可		
	外国人留学生学修奨励奨学金	在学中	2セメスタから7セメスタ目	用途未定の経済的支援		学業成績が優秀な外国人留学生 ①申請時における通算履修セメスタ数(休学期間を除く)が2～7セメスタに該当する者 ②在留資格が「留学」である ③前学期までの総取得単位数が、「履修セメスタ数×16」単位以上の者 ④他の学内奨学金を受給していないこと(学群奨学金及び災害等による緊急の奨学金は除く) ⑤他から給付を受けている奨学金等の月額が10万円未満であること	給付奨学金	毎月3万円	1年間	1学年6人 全体で18人	地域の制限なし	学務部 学生課	併用不可	条件有り併用可		
	保健士養成奨学金	在学中	1年次秋学期	その他	飛行訓練開始前に納入する第1回訓練費から減免	航空・マネジメント学群フライング・オペレーションコースに在籍する学生で専攻基準の履修に該当する奨励希望者を対象 ①主たる専攻支持者の前年の年収が以下のAまたはBの基準に該当すること。 A 給与所得者 841万円以下(税引前の金額) B 給与所得者以外 355万円以下(必要経費等差し引き後の金額) なお、扶養する子供の数が2人以上の場合、2人目以降につき100万円ずつ基準を増額する。 ②家庭環境の急変(専攻支持者の失業、離婚、事故、病気、死亡等)により専攻収入が著しく減少し、修学の継続が困難となった学生対象 ③他の学内奨学金を受給していないこと(学群奨学金及び災害等による緊急の奨学金は除く) ④学費を支払っている住居が、災害救助法の適用地域となっている者 ⑤地方満たす学生が対象	免除・減免	300万円	1回限り	設定なし	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	条件有り併用可		
	家計急変家庭学修支援奨学金	随時		入学金・授業料減免		家庭環境の急変(専攻支持者の失業、離婚、事故、病気、死亡等)により専攻収入が著しく減少し、修学の継続が困難となった学生対象 ①以下のいずれにも該当する者 ・大妻女子大学の学生のうち、学費・人物ともに優れた者 ・2次学入学期(家計急変支持者が死亡もしくは長期離職により、学費の支弁が困難になった者 ※採用人数が募集人数を下回った場合に行方随時募集では、奨励資格から(2)を除く。 ※今年度のみ高等教育の修学支援制度との併用を認める。 ②学費の支弁が困難で、勉学意欲の高い者 ③今年度のみ高等教育の修学支援制度との併用を認める。	免除・減免	公表しない	公表しない	地域の制限なし	学務部 学生課	併用不可	条件有り併用可			
	災害発生時の経済的支援	随時		入学金・授業料減免		学費を支払っている住居が、災害救助法の適用地域となっている者 ①被災した学生が対象	免除・減免	被災の程度により随時	被災の程度により調整	設定なし	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可		
大妻女子大学	大妻女子大学育英奨学金	在学中	学部1～4年	学費支援		以下のいずれにも該当する者、また、学校法人大妻学院特別育英奨学金との併用は認めない。 ①大妻女子大学の学生のうち、学費・人物ともに優れた者 ②学費入学期(家計急変支持者が死亡もしくは長期離職により、学費の支弁が困難になった者 ※採用人数が募集人数を下回った場合に行方随時募集では、奨励資格から(2)を除く。 ※今年度のみ高等教育の修学支援制度との併用を認める。 ③学費の支弁が困難で、勉学意欲の高い者 ④今年度のみ高等教育の修学支援制度との併用を認める。	給付奨学金	月額20,000円	1年間	177名(大学院・短大を含む) ※別途「上層等」による専攻への影響を鑑み募集人数を調整。	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	条件有り併用可		
	学校法人大妻学院特別育英奨学金	在学中	学部1～4年	学費支援		以下のいずれにも該当する者、また、大妻女子大学育英奨学金との併用は認めない。 ①大妻女子大学の学生のうち、学費・人物ともに優れた者 ②学費の支弁が困難で、勉学意欲の高い者 ③今年度のみ高等教育の修学支援制度との併用を認める。	給付奨学金	月額20,000円	1年間	56名(大学院・短大を含む)	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	条件有り併用可		
	一般財団法人大妻コア内記念会育英奨学金	在学中	学部1～4年	学費支援		原則として他の奨学金の受給を受けていない者で、以下のいずれにも該当する者。 ①大妻女子大学に在籍中の学生 ②学費の支弁が困難で、勉学意欲の高い者 ③学費・人物共に優れた者	給付奨学金	月額20,000円	1年間	10名(大学院・短大含む)	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可		
	災害被災等による学修給付金の減免	在学中	学部1～4年	入学金・授業料減免		履修基準年限内に在籍する者で原則として日本学生支援機構の奨学金を申請し、他の授業料減免または給付型の奨学金を受けていない者で、以下のいずれかに該当する者。 (1)天災その他の災害で経済上支障が生じた者(困難になった者) (2)天災その他の災害により支持者(学費負担者)が死亡した者 (3)その他前各号に準ずる事情が生じた者	免除・減免	年間授業料の30%を限度として減免	採用された当該年度	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可		
	学校法人大妻学院石間奨学金	在学中	学部4年	学費支援		以下のいずれにも該当する者。 (1)大妻女子大学の学生のうち、学費・人物ともに優れた者、経済的に困難している者 (2)卒業見込資格を有し、上層奨学金の者 (3)履修基準年限を超過していない者	給付奨学金	年額400,000円	1年間	1名(短大を含む)	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可		
	学習院大学新入学生特別給付奨学金	入学後		入学金・授業料減免		学部の新1年生で学費支弁が困難な者うち、家計基準・学力基準(高校全体での学習成績の状況(評定平均値)3.8以上)を満たす者。	給付奨学金	入学金相当額	入学年度限り	45名程度	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可		
	学習院大学学費支援給付奨学金	在学中	学部1年～4年生	学費支援		学部生で、原則として履修基準年限で卒業が見込める者で、学力基準および家計基準を満たす者。	給付奨学金	在籍学季の学費の2割分授業料相当額	1年間	80名程度	高知県	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可		
学習院大学学業優秀者給付奨学金	在学中	学部生は2年生以上、大学院生は指定なし	特待生・成績優秀者		本学学生の学業成績優秀者を表彰することを目的としており、学部2年生以上、大学院生(博士前期課程)で各学部長、各研究科委員長からの推薦あり。	給付奨学金	学部生・年額10万円、大学院生・年額30万円	1年間	学部生は2年生以上の各学季・各学科より既定人数 大学院生は若干名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	併用可			
安部純成記念教育基金奨学金	在学中	学年の指定なし	特待生・成績優秀者		学部生・大学院生(若年)で、各学部長、各研究科委員長からの推薦あり。	給付奨学金	年額4万円	1年間	学部生・大学院生から若干名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	併用可			
学習院大学教育ローン金利助成奨学金	在学中	学年の指定なし	その他	教育ローン金利助成制度	①学部生・大学院生(法務研究科生のみ)、本学への学費給付を目的として借入れた教育ローンの金利を当該年度に支払っている者。 ②奨励対象年度(休学期間を除く)に卒業見込者が対象となる。	給付奨学金	当該年度に支払った金額のうち、学費を上回った借入金額に借入金金利を差し引いた金額、残額を上限とし、借入年度に学費を上限とした借入金額(借入金金利を差し引いた、その合計金額(1年間の給付上限は年額5万円))。	1年間	借入人数の枠なし	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可			
学習院校友会心もと給付奨学金	学校出願時		学費支援		本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)出願時期に合わせて申請を受け付け、採用候補者を決定し、本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)を受験・合格し、本学に入学後、所定の手続きを行うことで正式に採用されます。 <申請資格(2024年度 本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)対応)> ※以下①～⑥のすべての条件を満たすこと。 ① 本学新1年次に入学者を優先する者で、令和6(2024)年度本学一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)に出願予定の者。 ② 一般財団法人学習院校友会が指定する2次選抜の高等中学校の後期課程(通信制課程を除く)を、令和5(2024)年3月に卒業見込みであること。 ③ 高校(東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県)を卒業見込みの者。 ④ 学習院大学入学前予約型給付奨学金「自らの社奨学金」申請者でないこと。 ⑤ 本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)出願時期に合わせて申請を受け付け、採用候補者を決定し、本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)を受験・合格し、本学に入学後、所定の手続きを行うことで正式に採用されます。 <申請資格(2024年度 本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)対応)> ※以下①～⑥のすべての条件を満たすこと。 ① 本学新1年次に入学者を優先する者で、令和6(2024)年度本学一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)に出願予定の者。 ② 日本国籍を有する者、永住者、または日本人(永住者)の配偶者もしくは子である者。 ③ 高等学校等において、卒業した者の場合は第1年次から第3年次まで、卒業見込みの者の場合は第1学期又は前期までの全体の学習成績の状況(従来の「評定平均値」)が3.5以上であること。 ④ 日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県)の高等学校等(中等教育学校の後期課程を含む、通信制課程を除く)を、卒業した者、及び受験年度に卒業見込みの者。 ⑤ 父の2023年度所得証明書(令和4年分の収入・所得証明)に記載の収入・所得金額の合計が、給与・年金収入額(課税前)800万円未満、その他・事業所得金額300万円未満の者。 ⑥ 学費給付決定後と給付奨学金)申請者でないこと。	給付奨学金	年額50万円×4年間(継続給付審査あり)									
学習院大学入学前予約型給付奨学金「自らの社奨学金」	学校出願時		学費支援		本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)出願時期に合わせて申請を受け付け、採用候補者を決定し、本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)を受験・合格し、本学に入学後、所定の手続きを行うことで正式に採用されます。 <申請資格(2024年度 本学学部一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)対応)> ※以下①～⑥のすべての条件を満たすこと。 ① 本学新1年次に入学者を優先する者で、令和6(2024)年度本学一般選抜(共通テスト・コア試験・プラス試験)に出願予定の者。 ② 日本国籍を有する者、永住者、または日本人(永住者)の配偶者もしくは子である者。 ③ 高等学校等において、卒業した者の場合は第1年次から第3年次まで、卒業見込みの者の場合は第1学期又は前期までの全体の学習成績の状況(従来の「評定平均値」)が3.5以上であること。 ④ 日本国内(東京都・神奈川県・埼玉県)の高等学校等(中等教育学校の後期課程を含む、通信制課程を除く)を、卒業した者、及び受験年度に卒業見込みの者。 ⑤ 父の2023年度所得証明書(令和4年分の収入・所得証明)に記載の収入・所得金額の合計が、給与・年金収入額(課税前)800万円未満、その他・事業所得金額300万円未満の者。 ⑥ 学費給付決定後と給付奨学金)申請者でないこと。	給付奨学金	年額100万円									
学習院父母奨学金	在学中		入学金・授業料減免		在学生のうち、在学中学費負担者である父母保証人の死亡等によって、家計が激変したことにより、学費の支弁が困難と認められる者。 ※原則として1家庭1名を上限とする。 ※学習院在学中1年度に限り給付する。	給付奨学金 免除・減免	翌年度の授業料・施設設備費相当額	1年間(学納金より減免)	若干名	地域の制限なし	学生センター学生課	併用可	条件有り併用可			



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
北里大学	北里大学学生表彰による奨学金(北島賞)	在学中	原則として各学年(2年次以上)	特待生・成績優秀者		学祖北里築三郎博士の高弟、北島第一の偉業にもなみ制定されたもので、前年度の学業成績並びに人物が優秀な者(原則として各学年、各学科2名程度)	給付奨学金	10万円	1回	各学年各学科2名程度	地域の制限なし	各学部	併用可	併用可	
	北里大学給付奨学金	在学中	2年次生以上	学費支援		対象:2年次生以上 人数:2名程度 出願資格: ①志望学科維持者の喪失、死亡、災害等による経済状況の急変、またはその他経済的理由により学費支弁等に支障を生じた者 ②志望学科を履修せし、人物優秀で成果の見込みのある者 ③原則として学業成績が各学科及び専攻専攻の上位9割(1)以内の者(家計急変申請者は上位4割(3)以内) ④当該年度の北里大学他給付奨学生(北里大学学生表彰規定に定めるものを除く)、学費全額免除の特別特待奨学生(特待生)は出願不可 募集期間:原則として年1回(6月頃) 給付期間:原則として採用年度1ヵ年以内※次年度以降も申請可	給付奨学金	原則学費年額の1/2相当額	1回	2名程度	地域の制限なし	教学センター・学生課	併用可	併用可	
	北里大学貸与奨学金制度	在学中	A種:原則として2年次生以上、B種:高専学年	学費支援		A種 対象:原則として2年次生以上 人数:年間35名程度 B種 対象:高専学年 人数:年間若干名 出願資格: ①志望学科維持者の喪失、死亡、災害等による経済状況の急変、またはその他経済的理由により学費の支弁等に支障を生じた者 ②志望学科を履修せし、人物優秀で成果の見込みのある者 ③原則として学業成績が各学科及び専攻専攻の上位9割(1)以内の者(家計急変申請者は上位4割(3)以内) ④当該年度の北里大学の他給付奨学生(北里大学学生表彰規定に定めるものを除く)、学費全額免除の特別特待奨学生(特待生)は出願不可 募集期間:原則として年2回(4月、11月頃) 貸与期間:採用年度1ヵ年以内 ※次年度以降も申請可 返還方法:卒業半年後から月戻または年額により最長15年以内に返還(無利息)	貸与奨学金	A種:学費1/2相当額 B種:学費相当額	1回(募集は年12回)	A種:35名程度 B種:若干名	地域の制限なし	教学センター・学生課	併用可	併用可	
	北里大学PPA給付奨学金制度	在学中	2年次生以上	学費支援		対象:2年次生以上 人数:6名程度 給付金額:原則学費年額の1/2相当額 出願資格: ①PPA会員の子弟 ②学費の支弁が困難と認められる者 ③学業の成績が優秀で、人物が優秀で将来成果の見込みのある者 ④原則として北里大学卒業後の就職先が学費年額の1/2以内の者(家計急変申請者は上位4割(3)以内) ⑤原則として日本学生支援機構奨学金や他の貸付奨学金を受けている者 ⑥当該年度の北里大学の他給付奨学生(北里大学学生表彰規定に定めるものを除く)、学費全額免除の特別特待奨学生(特待生)は出願不可 募集期間:原則として年1回(6月) 給付期間:原則として採用年度1ヵ年以内 ※次年度以降も申請可	給付奨学金	原則学費年額の1/2相当額(医学部生は学費年額の1/3相当額)	1回	6名程度	地域の制限なし	教学センター・学生課	併用可	併用可	
	北里大学PPA貸与奨学金制度	在学中	学年を問わない	学費支援 用途を定めない経済的支援		対象:学年を問いません。 人数:年間名以内 出願資格: ①PPA会員の子弟 ②学費の支弁が困難と認められる者 ③学業の成績が優秀で、人物が優秀で将来成果の見込みのある者 ④原則として北里大学卒業後の就職先が学費年額の1/2以内の者(家計急変申請者は上位4割(3)以内) ⑤原則として日本学生支援機構奨学金や他の貸付奨学金を受けている者 ⑥当該年度の北里大学の他給付奨学生(北里大学学生表彰規定に定めるものを除く)、学費全額免除の特別特待奨学生(特待生)は出願不可 募集期間:原則として年2回(6・10月) 貸与期間:採用年度1ヵ年以内 返還方法:卒業半年後から月戻または年額により最長15年以内に返還(無利息)	貸与奨学金	年額60万円	1回(募集は年12回)	8名以内	地域の制限なし	教学センター・学生課	併用可	併用可	
相模原市地域医療連携推進学費貸付制度(医学部一般入試(相模原市修学資金特)	学校出願時			学費支援		対象:医学部1年次生(一般入試受験者)・出願時に選択 人数:未定 出願資格:在学期間中、貸付制度を継続して活用し、将来、相模原市の総合診療医として医師の業務に従事しようとする意思があり、また同種修学資金や奨学金等の貸付を受けていない者 募集期間:一般入試の出願時(相模原市修学資金特)を選択する(別途、相模原市への出願書類の提出が必要) 貸与期間:6年(留年・休学した場合は貸与休止、進学した場合には貸与額に利息を付付て返還) 返還免除条件: 次の条件を全て満たせば、返還が免除されます ①大学卒業年度に実施される医師国家試験に合格すること(不合格の場合は大学卒業後2年以内に医師国家試験に合格すること) ②医師国家試験合格後、直ちに相模原市長が指定する医療機関にて臨床研修を開始すること ③臨床研修終了後、1年以上、相模原市で勤務し、相模原市長が指定する医療機関にて7年間(臨床研修の2年間を合わせ計9年間)従事すること	貸与奨学金	入学金、授業料、施設設備費、教育充実費(1年次～6年次の合計:3,890万円)	1年次～6年次	未定(昨年度実績2名)	地域の制限なし	医学部学生課	併用可	条件有り併用可	
	北里大学医療衛生学部3年次、4年次生	在学中	医療衛生学部3年次、4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		対象:医療衛生学部3年次、4年次生 人数:年間4名以内 給付方法:採用決定の翌月1～一括振込 出願資格:家計状況の急変または経済的理由などにより学費の支弁が困難と認められ、勉学に強い意欲を持ち、人物が優秀で将来成果の見込みのある者、医療衛生学部3年次生、または第4学年に在籍する者 募集期間:年1回 給付期間:採用年度1ヵ年以内	給付奨学金	年額60万円	1回	年間4名以内	地域の制限なし	医療衛生学部学生課	併用可	併用可	
	北里大学看護学給付奨学金	在学中	薬学部2年次生以上	学費支援 用途を定めない経済的支援		対象:薬学部2年次生以上 人数:原則10名以内 給付金額:年額10万円以内 給付方法:採用後1～一括振込 出願資格:家計状況の急変または経済的理由などにより学費の支弁が困難と認められ、勉学に強い意欲を持ち、人物が優秀で将来成果の見込みのある者、各学科成績上位4分の3以内であり、日本学生支援機構奨学金又は他機関奨学金の貸付を受けている者。 募集期間:年1回 給付期間:採用年度1ヵ年以内	給付奨学金	年額10万円	1回	原則10名以内	地域の制限なし	白金キャンパス(薬学部学生課)	併用可	併用可	
	特別特待奨学生制度(特待生制度)	その他	本人からの申請不可、対象者に通知する。	特待生・成績優秀者		合格発表と同時に本人宛に通知します。 *特待生が学生生活に不安定な状況にあるとき、または成績が不良となる翌年度から特選を取消される場合があります。 ①医学部特待生 医学部では一般入試合格者の中から成績上位者(物理学1科目、化学科2名、生物科学科2名)を特待生として選考し、学費の全額を免除します。 ②薬学部特待生 薬学部では、センター利用入試、一般入試合格者の中からそれぞれ成績上位者を特待生として選考し、学費の全額または半額を免除します。 ③医学部特待生 (入学者特待生) 医学部では一般入試合格者の中から次の2区分による特待生を選考し、学費の一部または全額を免除します	免除・減免	①医学部:学費の全額免除 ②薬学部:学費の全額免除または半額免除 ③医学部: 【入学者特待生】 第一種:学費全額免除 第二種:6年間で1,9450,000円の免除	1年次～4年次、又は1年次～6年次(最終修業年)	地域の制限なし	各学部	併用可	条件有り併用可		
	共立女子大学	共立女子大学・共立女子短期大学学費特待奨学金	在学中	1年～3年次	研修支援制度 用途を定めない経済的支援		本学事務局内の業務体験を奨励奨学金。全学生対象(卒業期学生除く)。	給付奨学金	年額30万円を毎月3万円ずつ給付。	1年間(10月～翌年度9月)	約20名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
横川シブ給付奨学金		在学中	1年～4年次	その他	課外活動奨励	学内外における優れた課外活動(研究・実習・国際交流等)で成果を挙げた学生対象(在学中1回限り)。	給付奨学金	活動内額に反応し10万、5万、3万のいずれかを給付。			地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
栗山ヒロ給付奨学金		在学中	2年～4年次	特待生・成績優秀者 その他	国際学部在籍を支援	国際学部在籍する2年次以上の学生であること、学業成績係数(GPA)が3.2以上の学生(在学中1回限り)。	給付奨学金	10万円を給付。		1名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
共立女子大学・共立女子短期大学独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学金利用者選定給付奨学金		在学中	1年～4年次	用途を定めない経済的支援 その他	修学のための資金	大学1年～4年次に在籍する日本学生支援機構の貸与奨学金を利用し、高等教育の修学支援制度を利用していない学生。当年度前期の平均出席率が80%以上、所定の単位を修得していること、当該年度前期までの選考GPAが学業・学部学科別の上位1/2以上であること。	給付奨学金	10万円		50名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
クワ・ハラカシ給付奨学金		在学中	3年次以上	特待生・成績優秀者 その他	文芸学部文芸学系英語英米文学コースの学生を支援	文芸学部文芸学系英語英米文学コースの3年次以上に在籍する学業成績係数(GPA)が2.2以上の学生。(在学中1回限り)。	給付奨学金	年1回10万円を給付。		1名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用不可	
宇都宮信子給付奨学金		在学中	4年次	特待生・成績優秀者 その他	家政学部の卒業期学生を支援	家政学部の卒業期学生のうち、学業成績優秀で他の学生の模範となる者の支援を目的とし、各学科2名に給付。	給付奨学金	25万円を給付。		8名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
共立女子大学・共立女子短期大学国際交流奨学金		在学中				①交換留学奨学金:交換留学事業要項に基づき申請していること。過去に本奨学金を受給していないこと。②履修奨学金:留学期間中に入学許可を得ている、又は申請中としていること。前学期までの本学学業成績が国際交流委員会の定める一定の成績で、一定の学力を有すること。過去に本奨学金を受給していないこと。③海外研修奨学金:海外研修中であること。本学において1学期以上を研修中としていること。過去に本奨学金を受給していないこと。	給付奨学金	①留学期間中の当該学部学科・年度の授業料の半額。②留学期間中の当該学部学科・年度の授業料の半額。③各研修1名5万円。			①2名以内 ②研修応募人数による	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
共立女子大学ビジネス学部編入生支援給付奨学金		在学中	3年次	特待生・成績優秀者 その他	修学のための資金	共立女子短期大学から共立女子大学ビジネス学部へ編入し、3年次に在籍する学業成績係数(GPA)が3.0以上の学生。	給付奨学金	75万円		2名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
種由美給付奨学金		在学中	在学中 2年～4年次	研修支援制度 用途を定めない経済的支援		家政学部視覚学科2年次以上に在籍する学業成績係数(GPA)が2.5以上の学生。課題の提出あり。(在学中1回限り)	給付奨学金	30万円		2名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
共立女子大学・共立女子短期大学福友会奨学支援奨学金		在学中	1～2年次	学費支援 用途を定めない経済的支援		大学1～2年次で、状況を越えて、状況を越えての経済的理由から就学に支障をきたしている学生。新型コロナウイルスの影響により経済的に困難に陥った学生。	給付奨学金	20万円		25名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
共立女子大学・共立女子短期大学福友会経済生活支援奨学金		在学中	3～4年次	用途を定めない経済的支援 奨励支援		大学3～4年次で、状況を越えての経済的理由から収入減少のため支障をきたしている学生。新型コロナウイルスの影響により経済的に困難に陥った学生。出席率、成績、家庭収入に一定基準あり。	給付奨学金	20万円		25名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
共立女子大学・共立女子短期大学福友会緊急奨学金		在学中	4年次	学費支援		卒業期学生で、人物が優れた学業成績があり、卒業が可能であるにもかかわらず家計困難により学費支弁が困難に陥った学生。新型コロナウイルスの影響により経済的に困難に陥った学生。出席率、成績が一定基準以上であること。	給付奨学金	後期学費相当分		2～3名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
国際交流TOEIC奨励奨学金		その他	前年度に留学をした学生	資格取得支援制度 用途を定めない経済的支援		本学に在籍し「留学履歴」による留学をした、留学後TOEIC Listening & Reading Testのスコアが730点以上の学生(在学中1回限り)	給付奨学金	50万円			若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)の対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
国立音楽大学	国立音楽大学奨学金	在学中	7月～9月	学費支援	学部の全学年対象。学業、人物に優れかつ経済的理由により奨学金圏な者。	貸与奨学金	50万円以内(推薦履修費等振替)	卒業時の成績が特に優秀な者または一部を免除する「特別選抜免除制度」あり	毎年度	各学年で80名以内	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可		
	国立音楽大学応急奨学金	随時		学費支援	学部の全学年対象。家計急変による経済困難者のための緊急支援として、授業履修費の1/2を貸与。	貸与奨学金	授業履修費の1/2(授業履修費振替)	卒業時の成績が特に優秀な者または一部を免除する「特別選抜免除制度」あり	毎年度(在学中2回まで)		地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可		
	国立音楽大学特別奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	学部の全学年対象。経済的理由により経済困難な者。	貸与奨学金	状況に応じた貸与	卒業時の成績が特に優秀な者または一部を免除する「特別選抜免除制度」あり	毎年度(在学中1回まで)		地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可		
	国立音楽大学美術部特別給付奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特別給付奨学金として入学金に合算した、極めて優れた推薦者(地方出身者、演奏・制作科(音楽、鍵盤楽器(ピアノ)、弦打楽器等専修)全学年対象。	給付奨学金	入学金を除く全額。半額、4分の1のいずれかを給付		原則4年間、ただし3年次連続時以降継続審査あり	各学年全額免除:2名以内、半額免除:4名以内、4分の1免除:4名以内	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可		
	国立音楽大学国内外研修奨学金	在学中	2～4年生(2年生は特別給付奨学金のみ) 12月～1月	特待生・成績優秀者 研修支援制度	研修実施年度(支給時)は年2(ただし、国立音楽大学音楽学部特別給付奨学金に限り、3.4年次に在籍する、研究意欲に富み、成績優秀な者。	給付奨学金	国外～50万円以内 国内～20万円以内		毎年度	10名程度(特別給付奨学金学生除く)		地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	国立音楽大学国内外研修奨学金(特別研修給付)	入学後		特待生・成績優秀者 研修支援制度 課外活動支援制度	学部全学年対象。学外のコンクール等で高い評価を得た者。	給付奨学金	国外一人:25万円、団体:50万円 国内一人:15万円、団体:25万円		毎年度			地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	岡田九郎記念奨学金	その他		学内推薦のため、申請不可。	ピアノを専攻する3.4年次に在籍し、前年度の専攻成績が特に優秀な者。	給付奨学金	45万円(授業履修費振替)		毎年度	各学年1名		地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
	中野義隆奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	学部4年生で卒業見込みがあり、経済的な理由で修学を継続することが困難な者。	貸与奨学金	学費相当額。卒業時の成績が特に優秀な者または一部を免除する「特別選抜免除制度」あり		毎年度			地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	(名称非公称)	在学中		4年生、6月～7月	学費支援 入学金・授業料減免	卒業見込みがある学部4年生に在籍する学生のうち、人物、学業成績共に優秀、健康であり経済的支援を必要とする者。	給付奨学金	50万円(授業履修費振替)		毎年度		地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	被災学生への学費支援制度	その他			学費支援 入学金・授業料減免	震災災害に指定された災害で被災した学生に対する学費支援。支援については、被災証明書添付した申請書に基づき判断する。	免除・減免	震災状況に応じて学費を減免				地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	国立音楽大学緑香寮	学校出願時			寮制度	自宅からの通学が困難な女子学生のための学生寮がキャンパス内にある。入寮申請は入学試験出願時のみ。2023年3月末閉寮予定。	その他	寮費(2024年度) 1室次～77万8千円(年間) 2室次以降～47万9千円(年間) 【内訳:入寮費:10万円(入寮時のみ) 寮費:2万5千円/月(年間) 寮費:32万円(年間)			地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可		
	緑活動助成	その他			課外活動支援制度	本学公認団体(サークル団体)以外の団体が行う緑活動について、その団体に所属する学生(学務生)が負担する費用の一部を申請に基づき助成する。 【対象となる団体の条件】 当年度中に学生の費用負担がある次の団体を指す団体 ・本学教員が指導して行うゼミ・専修・専攻・運営会・学芸部等の専攻会及び研究発表会 ・コアの専攻会及び研究発表会 等	その他					地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	公認団体助成	その他		4月	課外活動支援制度	サークル活動の団体で、本学公認団体または単公認団体に認められている団体を対象に、希望する団体へ申請に基づき助成金を支給する。 【公認団体の条件】 ・本学部会の役員が10名以上 ・本学専任教員が顧問 ・団体の名称、目的、設立趣旨、学生代表者(役員)、団体規則を定め、所定形式により提出する ・団休としての活動が9月以降よりあることとなり、活動が1年以上で単公認団体以上の申請可能、単公認団体となり年以上活動を継続すれば公認団体としての申請が可能	その他					地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	同窓会奨学金	その他			学内推薦のため、申請不可。	学部3.4年生で、成績優秀で経済的理由により修学困難な学生。	給付奨学金	20万円		毎年度	各学年2名以内	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	慶応義塾大学	学問のすめ奨学金	その他		入学試験(一般選抜)を受験する前年11月頃。一般選抜試験前に在学生候補者採用結果を発表する(入試前予約)。	学費支援	慶応義塾大学の学部1学年に入学を志す(希望)者(神奈川県・千葉県・埼玉県以外の高等学校出身者。人物及び学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により入学への入学に困難を来している者。	給付奨学金	年額60万円(ただし、奨学金額は50万円、奨学金額は30万円) ・入学初年度は、上述金額に入学金相当額(20万円)を加算 ・入学2年目以降は、成績優秀者の奨学金額を以下のとおり縮減 医学部 年額100万円、薬学部 年額120万円、理工・総合政策・環境情報・看護医療学部 年額90万円、その他学部 年額60万円 ※奨学金は「経済的に困窮した学生が、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象となっていない場合」は、以下のWEBサイトを参照ください。 https://www.students.koj.ac.jp/other/prospective-students/scholarship_gakumon.html	在学中(1年生～4年生(医学部・看護医療学部は医学部5年生※毎年継続審査あり))	500名以上(予定)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可	
慶応義塾大学給費奨学金		在学中	2年生以上	学費支援	経済的に修学困難である認められ、勉学の意欲をもち、成績・人物ともに優秀な者。	給付奨学金	年額50万円(給・工賃・看護医療・薬学部は60万円)		1年間(再申請可)	250名程度(2023年度予定)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
慶応義塾大学修学支援奨学金		在学中	全学年	学費支援	勉学の意欲をもちながらも、急激な家計状況の変化あるいは継続的な困難のため経済的に修学が困難な者。申請者も申請可。	給付奨学金	学費の範囲内(年額10万円～40万円程度)		1年間(再申請可)	100名程度(2023年度予定)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
慶応義塾創立150年記念奨学金(海外学習支援)		在学中	全学年	留学費用支援制度	勉学の意欲をもちながらも、経済的理由によりグローバルな学習活動に参加することが困難な者。対象となるプログラムは、海外短期留学、私費留学、語学研修、海外インターンシップ、海外フェルローシップ、国際学会発表等。	給付奨学金	参加プログラム・活動額に応じて年額10万円～40万円		1年(在学中1回支給、再申請可)	10名程度(2023年度予定)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
慶応義塾特待生奨学金		在学中	全学年	学費支援	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学に専念することが困難な者。出身高校の所在地が東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外の道府県の者を優先的に支援する。	給付奨学金	年額50万円(給・工賃・看護医療・薬学部は60万円)		1年間(再申請可)	35名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
東日本大震災被災学生復旧支援奨学金		在学中	全学年	被災者資金支援	家計支持者もしくは学費負担者である学生(ただし、2011年3月1日に発生した東日本大震災に関する各種災害に被災し、経済的に学業の継続が困難になった者)。	給付奨学金	学費の範囲内(被災状況により異なる)		1年間(再申請可)			地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可	
地域三田会奨学金		在学中	各奨学金により異なる	各奨学金により異なる	人物・学業成績ともに優秀な者。その他の応募条件は各奨学金により異なる(「出身地域を限定するものも有」)。	給付奨学金	年額10万円～20万円		1年間(再申請可)	各奨学金により異なる		地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可	
不動産三田会奨学金		在学中	全学年	学費支援	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	給付奨学金	年額10万円		1年間(再申請可)	15名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
「2000年記念教育基金」教育奨励一時金		在学中	全学年	その他	家計支持者の死亡・欠損等により家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になった者。	給付奨学金	授業料の範囲内		1年間(再申請可)	25名程度	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
ボードマン・ワックス・スカーズ・フナド		在学中	全学年	学費支援	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	給付奨学金	年額50万円		1年間(再申請可)	10名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
110年三田会記念大学奨学金		在学中	3年生以上(医学部・薬学部奨学金は5年生以上)	その他	家計支持者の死亡・欠損等により家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になった者。	給付奨学金	年額50万円		1年間(再申請可)	3名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
111年三田会記念大学奨学金		在学中	2年生以上	その他	学生と勉める活動を行っている者。	給付奨学金	年額50万円		1年間(再申請可)	5名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
118年三田会記念大学奨学金(経済支援)		在学中	2年生以上	その他	家計支持者の死亡・欠損等により家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になった者。	給付奨学金	年額50万円		1年間(再申請可)	5名(118年三田会記念大学奨学金(海外学習支援)と合わせた2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
118年三田会記念大学奨学金(海外学習支援)		在学中	全学年	留学費用支援制度	「留学」の認定を受けており、留學先大学から入学許可を得ている者。	給付奨学金	年額10万円		1年間(再申請可)	5名(118年三田会記念大学奨学金(経済支援)と合わせた2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
121年三田会記念大学奨学金		在学中	2年生以上	その他	家計支持者の死亡・欠損等により家計状況が急変し、経済的に学業の継続が困難になった者。	給付奨学金	年額30万円		1年間(再申請可)	2名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
1998年三田会記念大学奨学金		在学中	2年生以上	学費支援	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	給付奨学金	年額50万円		1年間(再申請可)	37名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
木下雄三奨学金		在学中	全学年	学費支援	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	給付奨学金	年額50万円		1年間(再申請可)	3名(2023年度実績)	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
1999年三田会記念大学奨学金		在学中	2年生以上	学費支援	人物・学業成績ともに優秀で、かつ経済的理由により修学が困難な者。	給付奨学金	年額50万円		1年間(再申請可)	詳細未定	地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可		
ボードマン・ワックス博士課程進学支援奨学金		在学中	最終学年	学費支援	人物・学業成績ともに優秀で、高度な研究を継続する意志が強いこと認められず、社会的制約によって博士課程への進学が困難であったり、進学することへ不安があり、断念せざるを得ない状況にある者。	学費相当額	給付奨学金	在学中期間中かつ修業年限未満まで	5名(2023年度実績)			地域の制限なし	学生部福利厚生支援担当	併用可	併用可	
工学院大学		入学試験成績優秀者奨学金(5日程)	入学手続時		特待生・成績優秀者	1年生の全学年生	給付奨学金	年間学費相当額		1年次のみ	合格者のうち上位10%以内の成績の者	学事部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可		
		入学試験成績優秀者奨学金(8日程)	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	1年次から継続 対象は全学部	免除・減免	年間学費の半額相当額		1年次から複数年度 最大4年度		地域の制限なし	学事部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
		入学試験成績優秀者奨学金(大学入学共通テスト利用前期日程)	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	1年次から継続 対象は全学部	免除・減免	年間学費の半額相当額		1年次から複数年度 最大4年度		地域の制限なし	学事部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
		入学試験成績優秀者奨学金(探究成果活用型選抜)	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	1年次から継続 対象は全学部	免除・減免	年間授業料の半額相当額		1年次から複数年度 最大4年度		地域の制限なし	学事部 学生支援課	併用可	条件有りで併用可	
		学園百年記念奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	全学部生	貸与奨学金 免除・減免	年間学費相当額		1回限り	若干名		地域の制限なし	学事部 学生支援課	条件有りで併用可	併用可
		学園奨学金	在学中	4年生	学費支援	最高学年にあつては学費不足のため、修学を継続することが困難になった学生	貸与奨学金	年間学費相当額を回復		1回限り	若干名		地域の制限なし	学事部 学生支援課	条件有りで併用可	条件有りで併用可
	工学院大学後援会給付奨学金	随時		学費支援 入学金・授業料減免	大学後援会委員の子弟で、またる家計支持者の死亡により修学困難な者で、この奨学金により卒業または修了までの修学を継続することが可能な者	貸与奨学金 免除・減免	年間学費相当額		1回限り	若干名		地域の制限なし	学事部 学生支援課	併用可	併用可	
	奨学金	在学中			学費支援	学部学生2年生以上(前年度の学業成績に基づいた)、前年度履修単位数が1年次28単位、2年次34単位、3年次30単位未満のものも対象外。	給付奨学金	学費もしくは学費に上記に成績が上位の者から順に採用上限人数まで採用とし、以下の条件により修学を継続決定して支援する。 前年度成績GPA3.80以上の者(授業料相当額) 前年度成績GPA3.79以下1.50以上の者:30万円 前年度成績GPA3.49以下の者:15万円	1年1回	若干名		地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	奨学金	在学中			学費支援	フレックスAコースの神道文化学部生1～4年生であり、共通・夜間授業時間(月～金9～17時、土1～7時)の科目のみを履修する者	給付奨学金	40万円		1年1回	人数制なし	地域の制限なし	学生生活課	併用不可	併用可	
	奨学金	在学中			学費支援 用途を定めない経済的支援 資格取得支援制度	神道・宗教特別選考制度入学者、2年以上は、転入生受給者の各学年上位20名・1回	給付奨学金	1)転入生のうち自宅通学者:年額20万円 2)転入生のうち自宅外通学者:年額40万円 3)2年次以上:年額10万円	①1年間 ②1回限り	1)神道・宗教特別選考制度入学者:22年以上は、転入生特選考制度の各学年上位20名以上	地域の制限なし	神道研修事務局	併用可	併用可		
奨学金	入学手続時			学費支援 入学金・授業料減免 資格取得支援制度	セカンドキャリア特別選考制度入学者であり、かつ中卒、高等学校の保健体育科、小学校教諭の免許状を有し、健康とスポーツ分野でのリーダーを目指す者。	免除・減免	入学金及び年間学費相当額(原則1年間対象)		年1回(原則1年間対象)	人数制なし	地域の制限なし	たまプラーザ事務局	併用不可	併用可		
奨学金	随時			被災者資金支援	大規模災害により被災し、修学が困難になった学部学生1～4年生で、日本学生支援機構奨学金の受給者もしくは採用予定者	免除・減免	1)前入生入学金全額 2)学費等の全額・7割・半割・1割・1割減免	随時	人数制なし	地域の制限なし	学生生活課/たまプラーザ事務局	併用可	併用可			
奨学金	在学中			学費支援 随時支援	工学院大学北海道短期大学部在学中に、「工学院大学北海道短期大学部から地域創生人材養成奨学金」を受給した者、かつ卒業後、道庁の公共団体と地元企業界、職業団体等に就職を希望し、地域貢献に専心する者。	給付奨学金	授業料の半額(原則2年間対象)		原則1年間対象	人数制なし	北海道	学生生活課/たまプラーザ事務局	併用可	併用可		
奨学金	在学中			学費支援 用途を定めない経済的支援	学部学生(1年～4年)で両心があり、経済的理由により奨学金圏な者	給付奨学金	年額30万円		1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活課/たまプラーザ事務局	併用可	併用可		
奨学金	在学中			学費支援 用途を定めない経済的支援	家計が困難している地方出身者(1割5分を除く)であり、自宅外通学者、かつ学業成績良好な者。令和4年度は、令和2年度以降入学者のみ対象。	給付奨学金	年額20万円		年1回	人数制なし	地域の制限なし	学生生活課/たまプラーザ事務局	併用可	併用可		
奨学金	在学中			学費支援 用途を定めない経済的支援	学部学生2年生後期に実施する選考試験に合格し、本学指定の外部セミナー等を指定した期間を通して受講できる者	給付奨学金	本学指定の外部セミナー等の受講料及びセミナー教材費		①1年間 ②1回限り	上限10名	地域の制限なし	キャリアサポート課	併用可	併用可		
奨学金	在学中			学費支援 資格取得支援制度	教職課程履修者の学部学生3年生以上(子ども支援学課程は2年生以上)で成績上位の者。本学の指定する講座等を受講し、教員採用試験を受験すること。	給付奨学金	本学指定の外部セミナー等の受講料及びセミナー教材費		1回限り	70名程度	地域の制限なし	教職センター/たまプラーザ事務局	併用可	併用可		
奨学金	在学中			学費支援	日高簿記検定2級に合格した者で、学部学生1年生後期に実施する選考試験に合格し、本学指定の外部セミナー等を指定した期間を通して受講できる者。	給付奨学金	本学指定の外部セミナー等の受講料及びセミナー教材費		1.5年間	上限10名	地域の制限なし	キャリアサポート課	併用可	併用可		
奨学金	在学中			学費支援	本学入学の期及び在学中に、教育ローンを利用した学部学生1～4年生	給付奨学金	5万円程度		1年間	上限10名	地域の制限なし	学生生活課/たまプラーザ事務局	併用可	併用可		
奨学金	在学中			学費支援 用途を定めない経済的支援	学部学生1～4年生で日本国の委託資格(留学)を有している者うち、学業成績の進歩が高く、学習に対する意欲を必要とする者であることを前提とし、1年次生にあっては入学試験の総合評価と前期成績を、2年次、3年次、4年次生にあっては前年度の成績を参考とする。	給付奨学金	20万円程度		1年間	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用不可	併用可		
奨学金	随時			用途を定めない経済的支援	入学後、家計が急変した学部学生1～4年生	給付奨学金	5万円程度		1回限り	人数制なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可		
奨学金	随時			留学費用支援制度	本学が実施する協定留学に参加する者 ※留学前年度におけるJASSOの定める成績評価係数が2.30以上であることを前提	給付奨学金	月額3～8万円(留学期間中/コースにより給付額が異なる)		1回限り	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可		
奨学金	随時			留学費用支援制度	本学が実施する2学期間の協定留学に参加する学部学生のうち、特に優秀と認められた者	給付奨学金	20万円		1回限り	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可		
奨学金	随時			留学費用支援制度	本学が実施する認定留学に参加する者(業績GPAの要件等あり)	給付奨学金	1学期間につき20万円。		1回限り	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可		
奨学金	随時			留学費用支援制度	本学が実施する学期間の認定留学に参加する学部学生のうち特に優秀と認められた者(JASSOの定める要件等あり)	給付奨学金	40万円		1回限り	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可		
奨学金	随時			留学費用支援制度	本学が実施するセメスター留学に参加する者。 ※留學先大学での学費が免除される者は、給付なし。	給付奨学金	年間授業料の半額相当額		1回限り	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可		
奨学金	随時			留学費用支援制度	本学が実施するセメスター留学により優れた学修成果を収めた者。	給付奨学金	10万円。		1回限り	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可		
奨学金	随時			留学費用支援制度	本学が実施する短期留学に参加する学部学生のうち、優れた学修成果を収めた者。	給付奨学金	10万円		1回限り	若干名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可		







大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
昭和女子大学	人員記念奨学金(給付)	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		成績優秀者奨学生で、学部単位・生活態度が優れている。本学の委員会活動、他学対する貢献など、その影響力が大きい者。成績優秀者奨学生のうち、各学科各学年1名。学科からの推薦により決定する。	給付奨学金	年額20万円(後期奨学金に充当)		年5回(1回限り、複数年度で対象となった場合は最大3回まで支給される。)	各学科各学年1名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	人員記念奨学金(貸付)	その他	前期学納金利用:3月中旬、後期学納金利用:9月中旬	学費支援		経済的事項のため学生の本人である給与と人間形成の修養が困難な者、真面目で意志強固な者。(保証人の審査あり)	貸付奨学金	学納金		1回限り、※上限500万円以内で複数回利用可能。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	昭和学園奨学金	その他	ポストン校への留学プログラム費納入時期	留学費用支援制度		経済的事項のため学生の本人である給与と人間形成の修養が困難な者、真面目で意志強固な者。(保証人の審査あり)	貸付奨学金	ポストン留学学納金		1回限り、※上限500万円として複数回利用可能。	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	成績優秀者奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		2年次以上の学生で、前年度の成績がGPA2.5以上で各学科各学年上位3%の順位まで、学科からの推薦で決定する。	給付奨学金	年額20万円(後期奨学金に充当)		年5回(1回限り、複数年度で対象となった場合は最大3回まで支給される。)	年間130名程度	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	経済的支援奨学金	在学中	2年生・3年生・4年生	学費支援		次のすべての条件を備えている者を対象とする。 ①(A)～(C)のいずれかに該当する者。 ②(A)年以内または(2)年以内の専攻支持者が卒業・修業困難など家計が急変した者 ③(2)の経済的理由で学費の納入が困難な者 ④卒業を予定する5年次学生で、2年～4年次で、志望持者が日本国内発行の各種証明書を出している者とする。 ⑤高等教育の修学支援新制度の家計基準に該当しない者で日本学生支援機構の第一種奨学金の家計基準を満たす者 ⑥日本学生支援機構奨学金の申請(2)年以内の有期奨学金以上の場合は最大400万円以内) ⑦日本学生支援機構奨学金の家計基準を参考に認定付けを行い、困難度を待機とし、上位40名程度とし、かつ総給付額400万円以内を対象とする。 ⑧前年度の成績が、GPA2.5以上で標準単位数以上修得済の者。	給付奨学金	年額20万円(後期学納金に充当)		年5回(1回限り、複数年度で対象となった場合は最大3回まで支給される。)	40名程度	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用不可	併用可
	3人以上者奨学金	入学後		学費支援 その他		本学に3人以上の兄弟姉妹が同時に在籍している者が対象。3歳目以降の入学に給付。	給付奨学金	授業料の半額		在籍している間	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	認定留学生奨学金	在学中		学費支援		私費認定留学生のうち留学期間が1年以上の者を対象とする。	給付奨学金	所属学科の授業料相当額		1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用不可
	組織奨励金	在学中		その他		学業以外のクラブ・サークル等の課外活動や学生個人の自主活動で優れた業績をあげた学生、または団体。	給付奨学金	活動の業績による(5万円・10万円目安)		年5回(1回限り、複数年度申請中で、対象となった場合は複数回支給される。)	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	水上奨励金	在学中		その他		日本語日本文学科に在籍する学生で、日本語・日本文学・書道・芸能など広く日本文化と関わりのある領域において優れた活動あるいは業績をあげた学生、または団体に支給される。	給付奨学金	活動の業績による(3万円・5万円・10万円目安)		年5回(1回限り、複数年度申請中で、対象となった場合は複数回支給される。)	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	光栄奨学金	在学中	2年生～4年生	その他		北海道、四国、九州、沖縄地方の出身の学部2年次、3年次、4年次の学生で、勉学と人柄形成に勤めていると認められた者(入学当初年度は対象外) 授業料が20万円以上。	給付奨学金	5万円		年間20名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可	
	光栄同窓会会長(親子三代賞)	入学後		その他		本学の教育方針に賛同する家族を称えることを目的とする。	給付奨学金	5万円		1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	小島海外留学支援基金	在学中		留学費用支援制度		ビジネスデザイン学科または現代教養学科の学生。 入学時(2)年度まで、ひとり親または親がいない学生でメジャー以上の長期プログラムに参加する者。 親等の収入が本人の収入を2割以下とし、かつ、 日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準を満たしていること。	給付奨学金	50万円もしくは20万円留学期間先着免除の場合)		1回限り	年間2名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
	石間奨学金	在学中	4年生	学費支援		経済的理由により卒業が困難な者。 1)卒業前まで卒業申請で、認定金は大学給付金が決定しており、卒業に要する単位を110単位以上修得している者。 2)卒業前まで卒業申請で、認定金は大学給付金が決定しており、卒業に要する単位を110単位以上修得している者。 3)卒業前まで卒業申請で、認定金は大学給付金が決定しており、卒業に要する単位を110単位以上修得している者。 4)卒業前まで卒業申請で、認定金は大学給付金が決定しており、卒業に要する単位を110単位以上修得している者。	給付奨学金	年額30万円(後期奨学金に充当)		1回限り	年間2名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用可
MAKOTO奨学金	在学中	1年生(継続条件を満たしている場合は4年間給付される)	学費支援		学部1年生、経済的理由により、修学が困難な者。家計支持者の年収(含家族)が400万円以下の者。1年次前期の成績が所属学科・学年の上位1/2以内の順位である者。	給付奨学金	4年間の学費相当額(留学期間は別途ポストン留学学納金(メジャー分))		4年間(※卒業の際、成績などの審査あり。)	1名	地域の制限なし	教学支援センター学生支援課	併用可	併用不可	
昭和薬科大学	柴田奨学金	入学後	学費支援 用途を定めない経済的支援		1種 奨 第一種(無利息) 対 象 品行方正、卒業までの学業成績が平均水準以上で、5年次後以降に家計急変により修学が困難となった者 2種 奨 第二種 対 象 品行方正、卒業までの学業成績が平均水準以上で、5年次後以降に家計急変により修学が困難となった者 3種 奨 第三種 対 象 品行方正、前年度の学業成績が上位20%以内で、4年次以降に家計急変により修学が困難となった者	貸付奨学金	3年新 月額35,000円 3月28日を過ぎる10回返済。 大学院 月額7,000円 3月28日を過ぎる10回返済。 2)学費年額10万円以内(第一種奨学金)と併用可能。2回まで貸与。 3)学部1回分の給付金額を上限とし、1年1回限り、学生納付金に充当。3回まで貸与。			①最低修学期間 2)5年次後以降に3回以上返済 3)3年以内返済	①人数制限なし ②10名程度 ③3～4名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可
	特待生制度	在学中		特待生・成績優秀者		新入生(1年次)～5年次 ①新入生(1年次) 入学試験上位者 ②2年次から5年次:成績上位者	免除・減免	①1年間授業料全額免除 ②1年間授業料半額免除		①1年間 ②1年間	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	女子美術大学	女子美術奨学金	入学後	用途を定めない経済的支援		経済困難、学業・品行良好(全年生・留学期間)	給付奨学金	年額40万円、単年度		1年間	80名(併設短期大学部含む)	地域の制限なし			
白百合女子大学	女子美術奨学金	入学後	用途を定めない経済的支援		経済困難、学業・品行良好(全年生・留学期間)	給付奨学金	年額 10万円、単年度		1年間	10名(併設短期大学部含む)	地域の制限なし				
	女子美術総合奨学金	在学中	2年次以降	特待生・成績優秀者		2年次以上または専攻科生、学業優良	給付奨学金	年額 18万円、単年度		1年間	10名(併設短期大学部含む)	地域の制限なし			
	創立者精神・佳節記念特別奨学金	在学中	2年次以上または専攻科生から研究発表員に基づき選考。	特待生・成績優秀者		2年次以上または専攻科生、成績優秀	給付奨学金	年額 50万円、単年度		1年間	8名	地域の制限なし			
	学校法人女子美術大学教職員による学生・生徒支援奨学金	在学中	卒業年次生	学費支援		卒業学年、家計急変による学費納入困難	免除・減免	年額 60万円以内、実納学費に充当。		1年間	大学院・大学・短大合わせて20名以内	地域の制限なし			
	女子美術留学期間奨学金	入学後		留学費用支援制度		協定海外留学期間または協定海外留学期間として留学期間	給付奨学金	金額は期間・地域により異なる				地域の制限なし			
	大規模自然災害被災者支援奨学金	その他		被災者資金支援		全年生、大規模自然災害による被災学生、入学希望者、入学検定料、授業料等の減免支援。	免除・減免	災害額に定める。				地域の制限なし			
	二つの星女子奨学奨学金	その他	高校在学中(11月上旬)	学費支援		女子美術大学又は女子美術大学短期大学部に入学を希望する学業成績が優秀で経済的支援が必要な者	給付奨学金	年額40万円		1年間	40名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	
	白百合女子大学奨学金	在学中	2～4年	学費支援		学業品位ともに優秀で、経済的に学業の継続が困難と認められる学生(正規課程)の支援を目的とする前年度の給付奨学金。学部生は2年次から申込み可能で、最終修業年までが対象。	給付奨学金	250,000円		1回	40名程度	地域の制限なし	学生生活課	条件有り併用可	条件有り併用可
	白百合女子大学同窓会奨学金	在学中	全年生	学費支援		学業・品行ともに優秀で、家計支持者の死亡・障害・倒産・失業及び災害などによる家計の急変が原因で、経済的に学業の継続が困難となった学生(正規生)の援助を目的とする給付奨学金。在学中における奨学金給付は、1回を原則とする。	給付奨学金	350,000円		1回	7名程度	地域の制限なし	学生生活課	条件有り併用可	条件有り併用可
	白百合女子大学外国留学課程内規に基づき奨学金	在学中	2～4年	学費支援 留学費用支援制度		本学が協定先と認定した学位取得を目指す外国の大学、またはこれに相当する高等教育機関へ留学し、所定の単位を修得した学生に奨学金を給付するもの。奨学金は(期間)1年間(1)～(3)月、(2)～(3)月、(3)～(4)月、(4)～(5)月、(5)～(6)月のいずれか1回(1)～(3)回を原則とし、連続して6ヶ月以上1年未満の期間に支給される。奨学金の1/4相当額を給付する。	給付奨学金	※留学期間により異なる 留学期間が1年間の場合 : 350,000円 留学期間が6ヶ月以上1年未満の場合 : 175,000円		1回	制限なし	地域の制限なし	学生生活課	条件有り併用可	条件有り併用可
被災者支援特別措置	在学中	全年生	被災者資金支援		大規模自然災害により被災した学生に対する制度。以下のすべてにあてはまる者を対象とする。 (1)本学の正規課程の在籍生(2年次入学生を含む)であること (2)被災者支援奨学金(被災者支援奨学金)に併用可能と認められたこと (3)災害状況(家計支持者が所有する自宅等被災への震災等)を証明できること	免除・減免	550,000円～1,450,000円		1回	制限なし	地域の制限なし	学生生活課	条件有り併用可	条件有り併用可	
白百合女子大学同窓会特別奨学金	在学中	2～4年	特待生・成績優秀者		本学に在学する2年生以上の学部学生であり、学業成績、人物ともに優秀であること。	給付奨学金	150,000円		1回	20名程度	地域の制限なし	学生生活課	条件有り併用可	条件有り併用可	
杉野服飾大学	杉野学園入学生奨学金	学校出陣時	入学費・授業料免除		入学費・授業料免除	入学費・授業料免除	入学費(300,000円)免除			①入学時1回限り	若干名	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	同窓生特別免除制度	学校出陣時	その他	選考料免除		本学に入学する者の内、経済的に困難で人物成長にも優れた者、即定平均40以上、心身に健康な者。経済的に困難な者(日本学生支援機構の収入保証に該当する者)。	免除・減免					地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	全国ファッションデザインコンテスト奨励金	学校出陣時	入学費・授業料免除		本学主催の全国ファッションデザインコンテスト高校生部門において優秀な成績を収めた者(入選者)で来学し入学を希望する者。	免除・減免	入学費300,000円			出陣時1回のみ	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	杉野学奨学金	在学中	毎年11月頃(1年生から4年生まで)	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		学業を継続する意思がなければ経済的に困難で人物成長にも優れた学生に給付。	給付奨学金	200,000円		①1年間(1回限り)	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	杉野学園奨励金	随時		用途を定めない経済的支援		突然の災害や、やむを得ない突発事由により経済的に困難で人物・成長ともに優れた学生に給付。	給付奨学金	200,000円		1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	成蹊大学	成蹊大学地方出身学生手続型奨学金(成蹊大学吉祥寺プリリアント奨学金)	その他	出願前(第1回:6月～7月、第2回:11月～12月)	学費支援 用途を定めない経済的支援		-全学部1年次生～4年次生対象(※2年次生以降は継続審査あり) -AO入試入学者試験、一般選抜の入試試験を受験する者 -学業成績・人物ともに優秀である者、学費の援助を必要とする者	給付奨学金	*年額40万円		4年間(※3年次生以降は継続審査あり)	300名(採用候補者数)	地域の制限なし	学生部	併用不可
成蹊大学給付奨学金		在学中	1年次生～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		-全学部1年次生～4年次生対象 -学業成績・人物ともに優秀である者、学費の援助を必要とする者	給付奨学金	*年額30万円		1年間	1年次生:50名 2年次生以上:100名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有り併用可
国際奨学金		在学中	2年次生～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		-全学部2年次生以上対象 -学業成績、人物ともに優秀である者、学費の援助を必要とする者	給付奨学金	*年額5万円		1年間	10名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有り併用可
国際奨学金		在学中	2年次生～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		-主として電気、電子工学関係等を専攻する理工学部2年次生～4年次生対象 -学業成績、人物ともに優秀で学費の援助を必要とする者	給付奨学金	*年額12万円		1年間	若干名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有り併用可
清水建設奨学金		その他	学部推薦のため、申請不要	特待生・成績優秀者		-全学部3年次生、4年次生対象 -前年度の学業成績、人物ともに極めて優秀であり、奨学金を給付することにより、学業の進展を期待することができる者。学部推薦による。	給付奨学金	*20万円		1年間	28名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
成蹊大学入試特別奨学金		その他		学費支援 用途を定めない経済的支援		---一般選抜の入試試験(5方式)合格者全員が対象	給付奨学金	-授業料の2分の1の額		1年間	120名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
成蹊大学学業成績優秀者奨励奨学金		その他	学部推薦のため、申請不要	特待生・成績優秀者		-全学部2年次生～4年次生の学業成績上位者が対象	給付奨学金	*年額10万円		1年間	5方式合格者全員	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
成蹊大学社会人入学生奨学金		その他	2年次生～4年次生(該当者は大学から通知予定)	学費支援 用途を定めない経済的支援		-AO入試入試社会人特別奨励に合格した全学部2年次生～4年次生対象 -前年度の学業成績・人物ともに優秀である者、学費の援助を必要とする者	給付奨学金	*年額50万円		1年間	15名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有り併用可
成蹊教育奨励金(貸付)		在学中	2年次生～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		-全学部2年次生～4年次生対象 -学業成績、人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金 貸付奨学金	*月額5万円(地方出身者に対して月額3万円を給付する生活支援制度あり)		3年間	15名	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
成蹊教育奨励金(給付)		在学中	2年次生～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援		-全学部2年次生～4年次生対象 -学業成績、人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金	*月額4万円		最大3年間	10名	地域の制限なし	学生部	併用不可	条件有り併用可
大規模自然災害被災者における給付金減免		在学中	1年次生～4年次生	入学費・授業料免除 被災者資金支援		-本学在学期間中に発生した災害により、保証人の居住地区が災害救助法の適用を受け、当該被災により経済的に困難になった本学学部生のうち、次のいずれかの要件に該当している者 ①次のいずれかの基準を満たす者 -被災証明書に記述されている被災者の居住する地域が、大規模地震、大規模台風または大雪に被災している場合 -被災証明書に記述されている被災者の居住する地域が、大規模地震、大規模台風または大雪に被災している場合 -被災証明書に記述されている被災者の居住する地域が、大規模地震、大規模台風または大雪に被災している場合 ②被災証明書に記述されている被災者の居住する地域が、大規模地震、大規模台風または大雪に被災している場合	免除・減免	①給付金全額減免 ②給付金2分の1の額を減免		①当該修学期間、ただし、保証人のその他の経路及び扶養を求めない場合、半年間限り ②人数制限なし ③人数制限なし	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
成城大学	成城大学応急奨学生	在学中	学部1～4年生	学費支援 入学金・授業料減免	<対象学年・学部> 1～4年生の学部生対象 <条件> 震災の被害により学業の継続が困難となった者 但し、修学支援新制度受給者は、奨給額との差額となる	<対象学年・学部> 1～4年生の学部生対象	免除・減免	授業料の半額相当(当該年度)	当該年度	制度と併せて40名	地域の制限なし	学生部学生課奨学金担当	条件有りで併用可	併用可	
	成城大学奨学生	在学中	学部2～4年生	学費支援 入学金・授業料減免	<対象学年・学部> 2～4年生の学部生対象 但し、<制度1>で応募した「成城大学応急奨学生」に採用されていない者 <条件> 経済的理由により修学に困難がある者 但し、修学支援新制度受給者は、申請不可	<対象学年・学部> 2～4年生の学部生対象	免除・減免	授業料の半額相当(当該年度)	当該年度	制度1)併せて40名	地域の制限なし	学生部学生課奨学金担当	併用不可	併用可	
	成城大学提携教育ローン補助奨学金	入学後		学費支援	<対象学年・学部> 大学・大学院の学生。対象学年は特に定めていない。 ただし、当該学生の修業年限に相当する年数を上限とする。 <条件> 経済的理由により、提携金融機関の教育ローンを利用して、授業料その他の奨給金を納付した者。	<対象学年・学部> 大学・大学院の学生。対象学年は特に定めていない。 ただし、当該学生の修業年限に相当する年数を上限とする。	給付奨学金	在学中に支払った利息(年利第5のA上限)	給付対象年度の年度末30日末日	定数なし	地域の制限なし	学生部学生課奨学金担当	併用可	併用可	
	大規模災害等被災者への特別措置	入学後		入学金・授業料減免 学費支援	<対象学年・学部・大学院> 新入生(入志願者および入学試験合格者)及び在学1年以上 <条件> 日本国内の大規模な天災及びその他の災害等により、その授業料等負担者が被災し、経済的に入学又は学業の継続が困難となった者	<対象学年・学部> 新入生(入志願者および入学試験合格者)及び在学1年以上	免除・減免	学校法人成城学園が決定した特別措置の内容による	当該年度	定数なし	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
	成城大学奨励奨学金(1年次)	その他	入学時		特待生・成績優秀者	<対象学年・学部> 1年生 <資格・条件> 入試成績上位合格者	<対象学年・学部> 1年生	給付奨学金	3)に共通して特に優秀な者に、授業料全額相当優秀な者、授業料半額相当優秀な者、授業料半額相当優秀な者、修学支援新制度受給者は、奨給額との差額となる	当該年度	4学部併せて108名	地域の制限なし	入学センター	条件有りで併用可	併用可
	成城大学奨励奨学金(2年次以降)	その他	申請ではなく、学部からの推薦による		特待生・成績優秀者	<対象学年・学部> 2年以上 <資格・条件> 2年次以上に在籍する中で、人物・学業ともに優秀な者	<対象学年・学部> 2年以上	給付奨学金	1)年間の留学・授業料全額相当 後期期間の留学・授業料半額相当	当該年度	4学部併せて72名	地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで併用可	併用可
	成城大学認定留学生の授業料免除	入学後		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	(所管学年・学部) 大学・大学院の学生。対象学年は定めていない。 (資格・条件) 本学の認定留学制度を利用し、1年間または後期期間の留学を行う者	入学金・授業料減免	1)年間の留学・授業料全額相当 後期期間の留学・授業料半額相当	留学期間と同じ	定数なし	地域の制限なし	国際センター	条件有りで併用可	併用可	
	川上宏史奨学金	在学中	5月下旬～6月下旬	その他	その他	<対象学年・学部> 成城大学文学部マスコミュニケーション学科及び成城大学大学院文学研究科コミュニケーション学専攻博士課程(前期・後期)に在籍する学生(全学年)	<対象学年・学部> 成城大学文学部マスコミュニケーション学科及び成城大学大学院文学研究科コミュニケーション学専攻博士課程(前期・後期)に在籍する学生(全学年)	給付奨学金	川上宏史奨学金の運用要項(令和2年度版)20万円	1回限り	選考委員会が年度決定(令和2年度は5名)	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
長崎外国人留学生授業料等免除	その他	新入生・入学手続き時、在学中。前年度1月頃	入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	大学・大学院の学生。対象学年は定めていない。 経済的理由により授業料等の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。	大学・大学院の学生。対象学年は定めていない。 経済的理由により授業料等の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。	免除・減免	授業料の5割 入学金、施設費、学習図書整備費、その他の納入すべき費用金額	1年間(継続を希望する場合は年度毎に申請が必要)	定数なし	地域の制限なし	国際センター	併用不可	併用可	
成城大学社会イノベーション学部外国留学者等奨学金	その他	秋開始留学: 留学する年の3月15日まで 春開始留学: 10月15日まで	学費支援	学費支援	<対象学年・学部> 社会イノベーション学部(学年指定なし) <資格・条件> 以下のすべてに該当する者 ①社会イノベーション学部留学生を履修し、単位を修得した者 ②満額の単位を修得したのに、別に定める外国留学者等によって単位修得を行う者	<対象学年・学部> 社会イノベーション学部(学年指定なし)	給付奨学金	一人30万円	在学期間において1回を限度	最大10名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
聖心女子大学	聖心女子大学奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	入学又は大学院に在学し、家計の都合その他の理由により、授業料の納入が困難と認められる者。	入学又は大学院に在学し、家計の都合その他の理由により、授業料の納入が困難と認められる者。	貸与奨学金	授業料等額の金額もしくはその一部とする。但し、特段の事由が認められる場合は、予算の範囲内で授業料等の借付を限度として貸与	1年間	学部の学生は40人以内、大学院の学生は15人以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用可	
	聖心女子大学奨励基金修学支援奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学部1～4年次(外国人留学生を除く)に在学し、経済的支援が必要と判断される者。	学部1～4年次(外国人留学生を除く)に在学し、経済的支援が必要と判断される者。	給付奨学金	授業料の一部	1年間	6名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用不可	
	聖心女子大学奨励基金奨学金	在学中	2年生	特待生・成績優秀者	学部2年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	学部2年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	給付奨学金	授業料の一部	1年間	3名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	条件有りで併用可	
	聖心女子大学特別奨学金	在学中	3年生	特待生・成績優秀者	学部3年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	学部3年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	給付奨学金	授業料の一部	1年間	3名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	条件有りで併用可	
	大規模自然災害及び感染症等の影響に關する学費減免	在学中	1年生～4年生	学費支援 入学金・授業料減免 被災者資金支援	本学の学部又は大学院に在学し、大規模自然災害や感染症等の影響で家計が急変した者のうち、大学に認められた者。	本学の学部又は大学院に在学し、大規模自然災害や感染症等の影響で家計が急変した者のうち、大学に認められた者。	免除・減免	当該年度の学費相当額以内の額	1年間	人数制限なし	地域の制限なし	学生部 学生生活課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	一般入試(3教科方式)成績優秀者奨学金	入学手続き時		特待生・成績優秀者	一般選抜(3教科方式)の入試試験の成績が特に優秀な者。	一般選抜(3教科方式)の入試試験の成績が特に優秀な者。	給付奨学金	授業料の一部または全部	4年間 ※1年毎に成績などの審査あり	50名以内	50名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課 / 学部 人試課	条件有りで併用可	併用不可
	エリザベス・ブリット基金奨学金(同窓会給付)	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	学部2～4年次(新編入生・外国人留学生を除く)に在学し、成績優秀で、経済的支援が必要と判断される者。	学部2～4年次(新編入生・外国人留学生を除く)に在学し、成績優秀で、経済的支援が必要と判断される者。	給付奨学金	授業料全額	1年間	2名以内	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用不可	
	近代学特別奨学金(同窓会給付)	在学中	4年生	特待生・成績優秀者	学部4年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	学部4年次に在学し、学業成績が優秀と認められる者。	給付奨学金	50万円	1年間	3名	地域の制限なし	学生部 学生生活課	併用不可	併用不可	
	聖心女子大学奨励基金修学支援奨学金	在学中	2年生～4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学部2～4年次に在学し、本学規定による特定の留学の許可を得た者。	学部2～4年次に在学し、本学規定による特定の留学の許可を得た者。	給付奨学金	当該留学に関する履修料(往返)及び滞在費の一部	1年間	3名程度	地域の制限なし	学生部 国際連携課	併用不可	併用可	
	清原女子大学奨学金	入学後		学費支援	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。	貸与奨学金	授業料の全額又は半額。	1年間	6名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
清泉女子大学	清泉女子大学奨学金	入学後		学費支援	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。	貸与奨学金	授業料の全額。	年度ごと	7名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	発展協力会奨学金	入学後		学費支援	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 4年生: 経済的にその必要ありと認められ、その卒業が奨励されるもの。	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 4年生: 経済的にその必要ありと認められ、その卒業が奨励されるもの。	貸与奨学金	授業料の全額。	年度ごと	専攻20名・専攻7名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	泉会奨学金	入学後		学費支援	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 4年生: 経済的にその必要ありと認められ、その卒業が奨励されるもの。	1～4年生: 経済的にその必要ありと認められ、向学心をもつ者に対しての貸与。 4年生: 経済的にその必要ありと認められ、その卒業が奨励されるもの。	貸与奨学金	当該年度の授業料未納額の範囲内	4年次	4名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	清泉奨学金	在学中	4年	学費支援	人物・向学心にすぐれ、経済的にその必要ありと認められる者に対して給付。	人物・向学心にすぐれ、経済的にその必要ありと認められる者に対して給付。	給付奨学金	授業料の範囲内(30000円)	年度ごと	5名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	エルネスタティラマヨ記念奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	教職課程を履修している学生で、強く教職につくことを希望し、学業品行ともに優れたもので、経済的に必要ありと認められる者に対して給付。	教職課程を履修している学生で、強く教職につくことを希望し、学業品行ともに優れたもので、経済的に必要ありと認められる者に対して給付。	給付奨学金	教職課程履修費	3年次	3名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	中島太郎教授記念奨学金	在学中	3年次	資格取得支援制度	国際留学期間に基づき外国大学に留学する学生で、学業成績が優秀であり、将来国際社会に寄与すると認められる者に対して給付	国際留学期間に基づき外国大学に留学する学生で、学業成績が優秀であり、将来国際社会に寄与すると認められる者に対して給付	給付奨学金	当該年度の学費相当額の一部	留学期間	5名	地域の制限なし	国際交流センター	併用可	併用可	
	国際交流基金留学者奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	入試特別奨学生・入試奨学生として、認められた者。年に1回継続の成績を要する。	入試特別奨学生・入試奨学生として、認められた者。年に1回継続の成績を要する。	免除・減免	授業料・施設費の金額又は半額	年度ごと	20名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	入試特別奨学生・入試奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者	2年次迄の成績優秀者	2年次迄の成績優秀者	給付奨学金	10万円	3年次	各学科2名合計10名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	発展協力会成績優秀者表彰	在学中		特待生・成績優秀者	2年次迄の成績優秀者	2年次迄の成績優秀者	給付奨学金	10万円	3年次	各学科2名合計10名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	聖路加国際大学	聖路加同窓会奨学金	在学中	学部1～4年 募集開始時(6月頃)	用途を定めない経済的支援	対象学年: 全学年 資格: 前年度卒業まで大切に履修を遂げて社会に貢献したいと学業に励む志を持つ学生	対象学年: 全学年 資格: 前年度卒業まで大切に履修を遂げて社会に貢献したいと学業に励む志を持つ学生	給付奨学金	年額20万円	1年間、在学中1回限り	4名	地域の制限なし	大学事務課学生生活	併用可	併用可
聖路加国際大学	小澤道子記念奨学金	在学中	学部3・4年生 募集開始時(6月頃)	用途を定めない経済的支援	学業成績優秀かつ経済的に修業の継続が困難な学部3・4年生対象 在学中1回限り	学業成績優秀かつ経済的に修業の継続が困難な学部3・4年生対象 在学中1回限り	給付奨学金	年額20万円	1年間 在学中1回限り	5名	地域の制限なし	大学事務課学生生活	併用可	併用可	
聖路加国際大学	聖路加同窓会奨学金	在学中	学部1～4年 募集開始時(7月頃)	用途を定めない経済的支援	全学年対象 学業成績優秀かつ健康で、修学上経済的に困難な者。 障がい・難病等年度単位で支障。	全学年対象 学業成績優秀かつ健康で、修学上経済的に困難な者。 障がい・難病等年度単位で支障。	貸与奨学金	月額3万円	最終修業期間	若干名	地域の制限なし	大学事務課学生生活	併用可	併用可	
聖路加国際大学	聖路加同窓会奨学金	在学中	学部1～4年 募集開始時(7月頃)	用途を定めない経済的支援	出願時の住所が東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県以外の者 -学業上経済的に困難な者 -学業成績が優秀な者 -聖路加国際大学特待生奨学金との併用不可	出願時の住所が東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県以外の者 -学業上経済的に困難な者 -学業成績が優秀な者 -聖路加国際大学特待生奨学金との併用不可	給付奨学金	年額100万円	最終修業期間	3名	地域の制限なし	大学事務課学生生活	併用可	条件有りで併用可	
聖路加国際大学	聖路加同窓会奨学金	在学中	学部1～4年 募集開始時(7月頃)	用途を定めない経済的支援	学部に入学者許可された学生で、学業上経済的に困難で成績が優秀な者 聖路加国際大学グローバル奨学金との併用不可	学部に入学者許可された学生で、学業上経済的に困難で成績が優秀な者 聖路加国際大学グローバル奨学金との併用不可	給付奨学金	年額150万円	最終修業期間	2名	地域の制限なし	大学事務課学生生活	併用可	条件有りで併用可	
聖路加国際大学	聖路加同窓会奨学金	在学中	全学年対象	被災者資金支援	災害救助法が適用された地域で被災した学生に対する経済的支援 保証人が被災の場合も適用	災害救助法が適用された地域で被災した学生に対する経済的支援 保証人が被災の場合も適用	給付奨学金	被災状況により 1. 150万円(授業料の1年分相当) 2. 70万円(授業料の半額相当) 3. 10万円(給付金)	1回	制数なし	地域の制限なし	大学事務課学生生活	併用可	併用可	
専修大学	スカラシップ入試奨学生	学校出願時		特待生・成績優秀者 その他	1) 専攻生が対象。人物に優れた入試試験の成績が特に優秀な者にとし、本学への入学を強く希望する者で、スカラシップ入試試験制度により入学を認められたもの。(1年次100名)	1) 専攻生が対象。人物に優れた入試試験の成績が特に優秀な者にとし、本学への入学を強く希望する者で、スカラシップ入試試験制度により入学を認められたもの。(1年次100名)	免除・減免	授業料相当額および施設費相当額。	原則4年間継続して支給。	100名	地域の制限なし	入学課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	新入生特別奨学生	入学手続き時		特待生・成績優秀者 その他	1) 専攻生が対象。帰国生入試試験、外国人留学生入試試験、公費新編入生入試試験、英語資格取得者入試試験、AD入試の成績が特に優秀な者。	1) 専攻生が対象。帰国生入試試験、外国人留学生入試試験、公費新編入生入試試験、英語資格取得者入試試験、AD入試の成績が特に優秀な者。	給付奨学金	1) 2) 3) 年間の継続で授業料の半額相当額を支給する。	3年間		地域の制限なし	入学課	併用可	併用可	
	新入生学術奨学生	入学後		特待生・成績優秀者 その他	1) 専攻生が対象。入学後、各学部において実施する奨学生入試試験の成績が特に優秀な者。	1) 専攻生が対象。入学後、各学部において実施する奨学生入試試験の成績が特に優秀な者。	給付奨学金	1) 専攻生が対象。入学後、各学部において実施する奨学生入試試験の成績が特に優秀な者。	1年間	未定	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
	学術奨学生	在学中	2,3,4年次	特待生・成績優秀者 その他	2,3,4年次が対象。前年度の学業成績が特に優秀な者。	2,3,4年次が対象。前年度の学業成績が特に優秀な者。	給付奨学金	30万円	2,3,4年次の当該年度1年間	未定	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可	
	自己啓発奨学生	随時		課外活動支援制度 その他	在学中で、学術、文芸、スポーツ、自治・社会活動などに明確な目的をもち、その分野で優れた業績を達成し、さらに高い目標に挑戦する個人またはその団体。	在学中で、学術、文芸、スポーツ、自治・社会活動などに明確な目的をもち、その分野で優れた業績を達成し、さらに高い目標に挑戦する個人またはその団体。	給付奨学金	個人20万円、団体50万円を限度額として活動状況に応じて支給額を定める。採用時に一括支給する。	1年間	制数なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可	
	指定奨励奨学生	在学中	毎年11月・12月頃募集	資格取得支援制度 その他	在学中で、公認会計士の短答式試験、または当該試験の論文式試験に合格した者。	在学中で、公認会計士の短答式試験、または当該試験の論文式試験に合格した者。	給付奨学金	短答式試験合格者につき10万円、論文式試験合格者につき30万円を一括支給する。	1年間	制数なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	利子補給奨学生	在学中	毎年6月・12月頃募集	学費支援	在学中で、奨学金があるにもかかわらず、経済的理由により入学または修学の継続が困難なために金融機関などの教育ローンを利用している者。	在学中で、奨学金があるにもかかわらず、経済的理由により入学または修学の継続が困難なために金融機関などの教育ローンを利用している者。	給付奨学金	金融機関の教育ローン利用者に対して、授業料など学費金借り入れに対する当該年度の料子分の一部を一括支給する。	1年間	制数なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可	
	家計急変奨学生	その他		学費支援	在学中で、親学費があるにもかかわらず、在学中に主たる家計支持者の死亡、失業(解雇・倒産)、長期療養(6か月以上療養)などに基づく経済的理由により、修学の継続が難しく困難になった者。	在学中で、親学費があるにもかかわらず、在学中に主たる家計支持者の死亡、失業(解雇・倒産)、長期療養(6か月以上療養)などに基づく経済的理由により、修学の継続が難しく困難になった者。	給付奨学金	授業料の40%相当額を一括支給する。ただし、在学中一度のみ申請可能。	1年間	制数なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可	
	災害見舞奨学生	その他		学費支援 被災者資金支援	在学中で、当該学生が居住している家屋または主たる家計支持者が生活の本拠として居住している家屋その他の建築物などが火災、風水害、地震などにより被災し、損害を受けたことにより経済的理由が生じた者。	在学中で、当該学生が居住している家屋または主たる家計支持者が生活の本拠として居住している家屋その他の建築物などが火災、風水害、地震などにより被災し、損害を受けたことにより経済的理由が生じた者。	給付奨学金	20万円を限度額として一括支給する。	1年間	制数なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可	
	買収奨学生	その他		学費支援	在学中で、学費の支拂について努力を行ったにもかかわらず学業の納入が困難となり、継続して在学を強く希望する者。	在学中で、学費の支拂について努力を行ったにもかかわらず学業の納入が困難となり、継続して在学を強く希望する者。	給付奨学金	分納による前回の学費1割分相当する額を一括支給する。ただし、在学中一度のみ申請可	1年間	制数なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可	
	専修大学進学サポート奨学生	学校出願時		学費支援	以下の1～7の全ての条件を満たしている者。 1. 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県以外にあり国内の高等学校および中等教育学校の出身者(通信制除く)。かつ家計支持者(父母、父母がいない場合代わって家計を支えている人)が上記1)から3)に該当し、専攻生となる者。入学後は本学に自宅外から通学する者。 2. 日本国籍を有する者。または、永住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者。子。 3. 令和6年3月卒業見込み者または令和5年3月以降に卒業した者。 4. 課業書の発行が受けられる者で、全体の学習成績の状況が1.35以上の者 -中等教育学校の場合は後期課程におけるすべての履修科目の学習成績の状況 -卒業見込み者は、最終学年1学期または2学期までの履修科目の学習成績の状況(卒業見込みの場合は、最終学年2学期または後期までの履修科目の学習成績の状況) -卒業見込み者は、最終学年2学期または後期までの履修科目の学習成績の状況 5. 令和6年度大学入学共通テスト利用入試試験(前期・後期)、一般選抜(全国・前期・後期入試試験)のいずれかで本学を受験する者。 6. 父母の「最新(令和4年中)の所得証明書(記載の収入・所得金額を合算した金額が以下の者。 -給与・年金収入金額(課税前)100万円未満 -その他、専業主業所得金額50万円未満 ※複数種類の収入・所得がある場合、合算して総合的に判断。 7. 本制度申請時点で、国の高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構の給付奨学金)の採用候補者になっていない者。 ※(注)申請期間 令和5年11月6日(月)24日(金) ※(注)申請期間 令和5年12月4日(月)令和6年1月10日(木) ※(注)入学日(入学時)	以下の1～7の全ての条件を満たしている者。 1. 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県以外にあり国内の高等学校および中等教育学校の出身者(通信制除く)。かつ家計支持者(父母、父母がいない場合代わって家計を支えている人)が上記1)から3)に該当し、専攻生となる者。入学後は本学に自宅外から通学する者。 2. 日本国籍を有する者。または、永住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者。子。 3. 令和6年3月卒業見込み者または令和5年3月以降に卒業した者。 4. 課業書の発行が受けられる者で、全体の学習成績の状況が1.35以上の者 -中等教育学校の場合は後期課程におけるすべての履修科目の学習成績の状況 -卒業見込み者は、最終学年1学期または2学期までの履修科目の学習成績の状況(卒業見込みの場合は、最終学年2学期または後期までの履修科目の学習成績の状況) -卒業見込み者は、最終学年2学期または後期までの履修科目の学習成績の状況 5. 令和6年度大学入学共通テスト利用入試試験(前期・後期)、一般選抜(全国・前期・後期入試試験)のいずれかで本学を受験する者。 6. 父母の「最新(令和4年中)の所得証明書(記載の収入・所得金額を合算した金額が以下の者。 -給与・年金収入金額(課税前)100万円未満 -その他、専業主業所得金額50万円未満 ※複数種類の収入・所得がある場合、合算して総合的に判断。 7. 本制度申請時点で、国の高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構の給付奨学金)の採用候補者になっていない者。 ※(注)申請期間 令和5年11月6日(月)24日(金) ※(注)申請期間 令和5年12月4日(月)令和6年1月10日(木) ※(注)入学日(入学時)	給付奨学金	授業料の半額相当額を4年間に限り継続支給。(毎年度、学業成績状況等により継続の可否の審査を行い、給付を取り消すことも可能)	原則4年間継続支給	200名	地域の制限なし	学生生活課	併用不可	条件有りで併用可	
	校友奨励奨学生	随時		学費支援	在学中で、経済的支援を必要とし、継続して在学を強く希望する者。	在学中で、経済的支援を必要とし、継続して在学を強く希望する者。	給付奨学金	20万円を上限額とし、採用時に一括支給。	1年間	制数なし	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有りで併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
創価大学	創価大学給付奨学金	在学中	1~4年次	学費支援	対象：学部在生(外国人留学生・特別奨学生・法曹養成学生を除く)で成績基準、収入基準の両方を満たしている者。 成績基準： 初回採用者の場合：通算GPA2.0以上で学年別の単位数を満たしている者。 2回目以降採用者の場合：通算GPA2.7以上で学年別の単位数を満たしている者。 収入基準： 主たる家族支持者の年収が、総合・年所得の場合は収入金額(課税額)が600万円未満、専業主婦の場合は所得金額が240万円未満である者。	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を秋学期に一括給付	給付奨学金	1年間	80名以内	地域の制限なし	学生部学生課奨学金係	併用不可	条件有りで使用可		
	創価大学口立記念教育基金学生会生奨学金	在学中	1~4年次	学費支援	対象：学部在生(外国人留学生・特別奨学生・法曹養成学生を除く)で成績基準、収入基準の両方を満たしている者。 成績基準： 初回採用者の場合：通算GPA2.0以上で学年別の単位数を満たしている者。 2回目以降採用者の場合：通算GPA2.7以上で学年別の単位数を満たしている者。 収入基準： 主たる家族支持者の年収が、総合・年所得の場合は収入金額(課税額)が600万円未満、専業主婦の場合は所得金額が250万円未満である者。	200,000円を秋学期に一括給付	給付奨学金	1年間	110名以内	地域の制限なし	学生部学生課奨学金係	併用不可	条件有りで使用可		
	創価大学親友会奨学金	在学中	1~4年次	学費支援	対象：学部在生(外国人留学生・特別奨学生・法曹養成学生を除く)で成績基準、収入基準の両方を満たしている者。 成績基準： 初回採用者の場合：通算GPA2.0以上で学年別の単位数を満たしている者。 2回目以降採用者の場合：通算GPA2.7以上で学年別の単位数を満たしている者。 収入基準： 主たる家族支持者の年収が、総合・年所得の場合は収入金額(課税額)が600万円未満、専業主婦の場合は所得金額が250万円未満である者。	200,000円を秋学期に一括給付	給付奨学金	1年間	75名以内	地域の制限なし	学生部学生課奨学金係	併用不可	条件有りで使用可		
	創価大学特別奨学生	その他	該当入試受験者から選抜	特待生・成績優秀者	公募推薦入試、一般入試、大学入学共通テスト利用入試(前期3科目・4科目計)、一般入試(ハイブリッド型入試、一般入試)、大学独自推薦入試(3科目)の入試成績優秀者を採用。 特別な推薦の要請は必要なし。	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を4年間給付(継続審査あり)	給付奨学金	4年間(継続審査あり)	130名程度	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	条件有りで使用可		
	Learning Agreement(LA)奨学生	学校出願時	学校出願時	特待生・成績優秀者	一般入試A(大学入学共通テスト利用入試(前期3科目・4科目計))において、高い成績率での合格を条件に、奨学金の給付を先行締約する。 また、グローバル・イノベーション・プログラム(GIP)もしくは法学部グローバル・ロイヤーズ・プログラム(OLP)、経済学部HOPE希望者には、入学後に実施するゼミプログラムの参加が義務付けられ、奨学金に併せて奨学金を先行締約する。	文系学部40万円、理工・看護学部50万円を4年間給付(継続審査あり1・入学前に70万円給付(親友会ふるさと給付奨学金))	給付奨学金	4年間(継続審査あり)	若干名	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	条件有りで使用可		
	創価大学特待生奨学金	在学中	1~4年生の在生から選抜	特待生・成績優秀者	各学部の成績優秀者、各セクター一帯に審査。 特別な申請手続き等は必要なし。	150,000円を採用時に一括給付。	給付奨学金	1セメスター	100名(年間200名)	地域の制限なし	学生部学生課奨学金係	併用可	併用可		
	創価大学法曹会奨学金	入学手続き時	入学手続き時	特待生・成績優秀者	法学部GPA2.0以上で成績優秀者として5名以内。 特別な申請手続き等は必要なし。	授業料、教育実習費の半額分を給付	給付奨学金	1年間	5名以内	地域の制限なし	法曹部事務局	併用可	条件有りで使用可		
	創価大学国際奨学金	その他	留学時	留学費用支援制度	国際留学、認定留学の合格者。	50,000円~700,000円(地域によって異なる)	給付奨学金	留学時1回	100名程度	地域の制限なし	国際部国際課	併用可	併用可		
	創価大学国際奨学金(海外短期研修)	その他	海外短期研修参加時	留学費用支援制度	海外短期研修参加者。	10,000円~50,000円(地域によって異なる)	給付奨学金	留学時1回	300名程度	地域の制限なし	国際部国際課	併用可	併用可		
	兄弟姉妹が在籍者への給付奨学金	その他	入学時のみ	学費支援	兄弟姉妹が創価大学・創価女子短期大学に在籍している新入生 ※兄弟姉妹が大学院または通達教育部に在学している場合、および編入学、転入学、再入学した時の学生は除く	兄弟姉妹の同時在籍が2人目の場合、新入生に対し入学費(入学金半額相当額)を給付 兄弟姉妹の同時在籍が3人以上の場合、新入生に対し入学費(入学金全額相当額)を給付	給付奨学金	入学時1回	対象者全員	地域の制限なし	学生部学生課奨学金係	併用不可	併用可		
	親友会ふるさと給付奨学金	その他	入学前のみ	特待生・成績優秀者	親友会員の子弟、または地域の受験生で、創価大学を志望し受験する者。 ただし、大学入学共通テスト利用入試(前期3科目/4科目方式)での出願、受験が条件、各県の親友会会長と親友会のある者。	70万円(入学前に一括給付)	給付奨学金	入学前1回	各県5名(加えて方面採用者若干名)	地域の制限なし	親友会事務局	併用可	併用可		
	大正大学	人材育成奨学金	在学中	1~4年生	特待生・成績優秀者 その他	対象学年：1~4年生 学部：全学部 資格：卒業成績及び人物ともに優秀なことで修学意欲があり、将来に期待できる者 条件：1年生：前年度の卒業成績(GPA)3.0以上、2~4年生：前年度の卒業成績(GPA)3.0以上	20万円	給付奨学金	採用時	最大85名	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可	
		ガモール奨学金(実務体験奨学金)	在学中	1~4年生	その他	大正大学実務力化プロジェクトにコア学生として参加する学生に対する奨学金。	月額上限2万円	給付奨学金	プロジェクト実施中	対象者に準拠	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可	
チャレンジ支援奨学金		在学中	1~4年生	その他	①自ら新しいことにチャレンジする意思を持ち、自己の企画の実現を通して社会に新しい価値の創造を志す学生に対する奨学金。 ②卒業後の進路・将来の職業と関連付け、社会や地域の活動への参加を通じて自己の成長を促進し、夢の実現を志す学生に対する奨学金。	上限10万円	給付奨学金	採用時	若干名	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可		
海外特別留学期奨学金		在学中	1年生~4年生	留学費用支援制度	1~4年生の全学部生対象 「大正大学学生留学期」に専断して海外留学期を認定された者 ※海外留学期中の本学における学費等については、当該納付授業料を免除するが、諸費は金額を納入するものとする。	免除・減免	免除・減免	採用時	若干名	地域の制限なし	教務部	条件有りで使用可	条件有りで使用可		
海外語学研修奨学金		在学中	1年生~4年生	留学費用支援制度	1~4年生の全学部生対象 ・海外語学研修選考試験に合格し(研修)に参加する者	2万円/1名	給付奨学金	採用時	若干名	地域の制限なし	教務部	条件有りで使用可	条件有りで使用可		
大正大学授業料特別減免制度		在学中	学部全学年	学費支援	対象学年：1~4年生 学部：全学部 資格：(1)保証人(学費支給責任者)が、自然災害又は火災等の非常災害により、基本的給費を受けられず経済状況が急変し学生の修学継続が困難になった場合。 (2)保証人の死亡等により、著しい経済的負担が生じ学生の修学継続が困難になった場合。 条件：・給付対象者の場合、年間収入金額が4万円以下 ・給付対象者以外の場合は、希望所得額が2万円以下	年間授業料の10~100%以内	免除・減免	採用時	審査により決定	地域の制限なし	学生支援部学生課	条件有りで使用可	条件有りで使用可		
学術文化奨励制度(アカデミックコンテスト)		在学中	学部全学年	その他	学内アカデミックコンテスト受賞者に対する奨励金	給付奨学金	審査により決定	採用時	審査により決定	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可		
古本奨学金制度		在学中	学部4年生	研究費支援	対象：学部4年生で卒業論文、卒業研究、卒業制作を執筆・制作する者 (特に卒業論文・卒業研究・卒業制作の執筆・制作を終了した者は除く) (令和5年9月卒業予定者は除く)	上限2万円	給付奨学金	採用時	若干名	地域の制限なし	学生支援部学生課	併用可	条件有りで使用可		
チャレンジ型入試奨学金		学校出願時	学校出願時	特待生・成績優秀者 学費支援 入学費・授業料減免	1)学年100名 チャレンジ型一帯選抜の成績優秀者	免除・減免	試験結果により授業料を全額免除、半額免除、30%免除とする。	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり 30%免除あり	全額免除10名 半額免除10名 30%免除80名	地域の制限なし	学生支援部学生課	条件有りで使用可	条件有りで使用可		
地域職域人材育成入試奨学金		学校出願時	学校出願時	入学費・授業料減免	地域職域人材育成入試の合格者	50万円	給付奨学金	採用時	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり
地域人材育成・紹介型入試奨学金		学校出願時	学校出願時	学費支援	地域人材育成・紹介型入試の合格者	50万円	給付奨学金	採用時	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	1)1年次~4年次まで ただし、継続にはGPA基準あり	
大東文化大学		入学前特別奨励型奨学金(欄外の賞)	学校出願時	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	【条件】 ・選考対象となる入試試験に出願した者 ・対象の入試試験において優秀な成績を収めた者	免除・減免	原則1年間 成績優秀者(奨励型)に専断して海外留学期を認定された者 ※海外留学期中の本学における学費等については、当該納付授業料を免除するが、諸費は金額を納入するものとする。	100名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可			
		遠征知新奨学金	その他	学部推薦	【条件】 ・学業成績が特に優秀と認められる者 ・短期留学期間内である者 ・休学期中の者は対象外とする。	20万円	給付奨学金	単年度	各学部各学年の2年生以上の各学部2~3年生	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
	教育ローン利子補給金	入学後	学費支援 その他	教育ローン利子補給金	【条件】 ・本学で奨学金を金融機関の教育ローンを利用し、学費を納入した学生(科目等履修生・委員研修生・研究生・交流学生は除く)を対象に、在学中の利息分を給付する。 ・給付対象者(大学院)、スポーツ奨学金のいずれかを給付されている者、休学期中の者および給付申請の翌年度に1年以上の海外留学期が決定し、予定されている者は対象外とする。	5万円以内	給付奨学金	単年度	80名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可		
	特別学費支援金	随時	学費支援 その他	累計急変による経済的支援	【条件】 ・主たる家族が死亡し、学費を支弁者が死亡・離別・障害・高齢・退職(自己都合不可)するが、または着払い収入の減少が認められる者 ・給付対象者(大学院)、スポーツ奨学金のいずれかを給付されている者は対象外とする。	50万円	給付奨学金	単年度	専断生および大学院生合わせて30名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可		
	学生災害見舞金	随時	学費支援 入学費・授業料減免 被災者資金支援	【条件】 ・本学の学生または主たる学費支弁者が災害に遭い、修学継続が困難になった者 ・給付対象者(大学院)、スポーツ奨学金のいずれかを給付されている者、奨学金留学期により海外留学期中の者、休学期中の者は対象外とする。	給付奨学金 免除・減免	被災状況に依り1万円から学費全額相当額まで	給付奨学金 免除・減免	単年度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有りで使用可			
	高千穂大学	学費等免除型奨学金制度	随時	学費支援	1~4年生 全学部 入学後に発生した経済状況の急変により修学が困難となった学生で、所定の単位を取得している者	免除・減免	930,000円~1,100,000円(該年度授業料・施設設備費・教育実習費)	1年間	上限なし	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可		
学業成績優秀者賞		その他	申請不要	特待生・成績優秀者 学費支援	2)2年生以上 全学部 前年度の卒業成績、かつ人物ともに優秀な者(卒業成績については別途条件あり)	680,000~880,000円(該年度授業料相当額)	1年間	上限なし	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可			
小池厚之助賞		その他	申請不要	特待生・成績優秀者	2~4年生 全学部 在学生の卒業成績上位で人物優れな者(卒業成績については別途条件あり)	50,000円	給付奨学金	一時金	高学部、経営学部は各学年10名まで 人間科学部は各学年5名まで	地域の制限なし	学務部 学生課	併用可	併用可		
海外短期・中期留学期奨学金		その他	申請不要	留学費用支援制度	高千穂大学で実施している海外留学期プログラムに合格した者。	給付奨学金	留学実務特定期	各留学期間	各留学期間	地域の制限なし	教育研究事務局	併用可	併用可		
海外長期留学期奨学金		その他	申請不要	留学費用支援制度	高千穂大学で実施している海外留学期プログラムに合格した者。	給付奨学金	留学実務特定期	留学プログラムの定義まで	各留学期間	地域の制限なし	教育研究事務局	併用可	併用可		
公的資格取得支援奨学金		その他	4月・10月	資格取得支援制度	・大学が指定する資格取得を保有する者 ・所定の単位を取得済みの者 ・上位資格取得のため専門学校等の通学奨励を受賞し、8割以上出席した者	給付奨学金	実務科の半額(上限10万円)	申請が承認された後一括で支給	若干名	地域の制限なし	教育研究事務局	併用可	併用可		
特待生制度		その他	申請不要	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	英語(英語1期)・ペスト(教科)・大学入学共通テスト利用1期(2教科型)、大学入学共通テスト利用1期(3教科型)の合格者の中で、得点率80%以上の成績と25名ずつの割合で各学年10名以内	免除・減免	1)1年次の授業料18万円(経営学部授業・事業推進コースは78万円)を、全額免除。	入学時のみ	20名	地域の制限なし	入試広報部 入試課	併用可	併用可		
被災された方に対する入学決定料及び入学に対する授業料に係る特別措置		学校出願時	学校出願時	入学費・授業料減免	東日本大震災、東電電力福島第一原子力発電所事故及び、震災災害で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学意欲の確保を図るために、①被災状況による授業料の減免制度、②入学決定料の免除を推進している。	免除・減免	①入学年度前年度の授業料を減免する ②全入試試験の入学決定料を全額免除する	①専学期 ②1回限り	①人数制限なし ②人数制限なし	地域の制限なし	総務部 総務課	併用可	併用可		
特別推薦型奨学金制度		入学手続き時	入学手続き時	特待生・成績優秀者 入学費・授業料減免	学校推薦型奨学金および総合型選抜(第1~3期)の合格者のうち希望者に対し、一般選抜(英語・国語2期)を受験し、得点率80%以上の成績上位5名を特待生として認定。	免除・減免	1)1年次の授業料68万円(経営学部授業・事業推進コースは78万円)を、全額免除。	入学時のみ	5名	地域の制限なし	入試広報部 入試課	併用可	併用可		
多摩大学		特別推薦型奨学金制度	入学手続き時	特待生・成績優秀者	詳細はホームページ(https://www.tama.ac.jp/guardian/scholarship/scholarship-1.htm)または本学選抜要項をご確認ください。	給付奨学金	①最大8万円	併用不可	併用不可	併用不可	併用不可	併用不可	併用不可		
多摩大学	多摩大学チャレンジ奨学金制度(首都圏外学生給付型奨学金)	学校出願時	特待生・成績優秀者	学業成績が優秀な首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)以外の国内高等学校出身者。 ※高1~高3 詳細はホームページ(https://www.tama.ac.jp/guardian/scholarship/scholarship-1.htm)または本学選抜要項をご確認ください。	給付奨学金	年間40万円 7月下旬、12月下旬に半額ずつ支給。	入学後1年間	一般選抜、一般選抜大学入学共通テスト利用方式の合格者のうち、志願した者には奨学金が支給可能。	併用不可	併用不可	併用不可	併用不可			
多摩大学	成績優秀者奨学金制度	入学後	特待生・成績優秀者	学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の種別になる学生を対象に給付される奨学金。	給付奨学金	区分1:各学期分の授業料 区分2:5万円	各学期毎	区分1:各学期毎に、1年生から3年生まで各学期1名 区分2:各学期毎に、1年生から3年生まで各学期20名 グローバル・スタヂアーズ学部 区分1:各学期毎に、1年生から3年生まで各学期1名 区分2:各学期毎に、1年生から3年生まで各学期10名	地域の制限なし	教務課	併用可	併用不可			
多摩大学	海外留学期奨学金	入学後	留学費用支援制度	学業成績が優秀で人物及び健康ともに優れ他種別になり、将来グローバルな活躍が期待でき、海外留学及び海外でのインターンシップを希望している学生を対象に給付される奨学金。	給付奨学金	経営情報学部:最大30万円 グローバル・スタヂアーズ学部:最大40万円 短期留学、海外インターンシップ:10万円以内	入学後1年間	経営情報学部 区分1:10万円以内 短期留学・海外インターンシップ 20名以内 区分2:30万円以内 長期留学 8名以内 グローバル・スタヂアーズ学部 区分1:10万円以内 短期留学・海外インターンシップ 20名以内 区分2:40万円以内 長期留学 14名以内	地域の制限なし	国際交流センター事務局	併用可	併用可			
多摩大学	被災者学費減免措置制度	在学中	被災者資金支援	大規模災害が発生した場合、被災された地域(災害救助法が適用された市区町村)に居住されている受験者に対して、入学金の減免・入学後の学費もしくは授業料の減免(被災状況による)等の対応を行ない、進学および就学支援を行っています。ただし、世帯の収入金額により適用されない場合があります。	免除・減免	被災状況 減免額 災害により保証人が死亡、行方不明、長期療養中または重度な障害を負っている場合 入学金全額および1年間の授業料 災害により保証人が死亡、行方不明、長期療養中または重度な障害を負っている場合 入学金全額および1年間の授業料 災害により保証人が死亡、行方不明、長期療養中または重度な障害を負っている場合 入学金全額および1年間の授業料 災害により保証人が死亡、行方不明、長期療養中または重度な障害を負っている場合 入学金全額および1年間の授業料 災害により保証人が死亡、行方不明、長期療養中または重度な障害を負っている場合 入学金全額および1年間の授業料	併用可	併用不可	併用不可	併用不可	併用不可				















大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否			
東邦大学	入学時の教育充実費減免制度	入学後		その他	教育充実費	基準額 一般入試、共通テスト利用入試、一般入試(共通テスト併用)合格者のうち、総合成績の優秀な者	免除・減免	教育充実費の金額または一部を免除		約50名	地域の制限なし		併用可	併用可			
	授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免		看護学部 一般入試の成績優秀者上位(10名以内)	免除・減免	初年度授業料全額または半額免除		10名以内	地域の制限なし		併用可	併用可			
	スカラシップ制度(初年度)	入学後		学費支援		医学部 一般入試(A)、一般入試(B)、共通テスト利用入試の成績優秀者	給付奨学金	入学年度に限り最高100万円を奨学金として給付			地域の制限なし		併用可	併用可			
	在学生対象の特待生制度	在学中	入学生を除く	特待生・成績優秀者		各学部により異なる	免除・減免	各学部により異なる			医学部 約15名 理学部 12名 法学部 18名 経済学部 6名 健康科学部 3名	地域の制限なし		併用可	併用可		
	健康科学部入学時納付金の減免制度	入学後		入学金・授業料減免		健康科学部 一般入試および共通テスト利用入試の合格者上位6名以内	免除・減免	初年度学納金のうち、授業料の金額または一部を免除		6名以内	地域の制限なし		併用可	併用可			
	東邦大学青嵐会(父母会)貸与奨学金	在学中	学年は問わない	学費支援		金額 本学在学中に家計が急変したことにより学納金の納付が困難で、かつ本学を卒業したいという強い意思を持ち、学習態度等でそれを示すことができる者	貸与奨学金	応募条件によって異なる			若干名	地域の制限なし		併用可	併用可		
	東邦大学薬学部臨風会(同窓会)貸与奨学金	在学中	6年生	学費支援		薬学部臨風会に入会している学部生(臨風会卒業で、経済的理由により学業の継続が困難と認められた成績良好な者)	貸与奨学金	授業料及び薬学部教育充実費(通年または半年)を貸与			若干名	地域の制限なし		併用可	併用可		
	東邦大学理学部臨風会(同窓会)貸与奨学金	在学中	4年生	学費支援		理学部臨風会に入会している学部生(臨風会卒業生で原則として4年次対象)で、授業料等学費の支弁が困難な者	貸与奨学金	義経学部の納付金(授業料、教育充実費)の半額を上限に貸与			約3名	地域の制限なし		併用可	併用可		
	東邦大学理学部臨風会(同窓会)給付奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援		理学部臨風会に入会している学部生(臨風会卒業生)で、授業料等学費の支弁が困難な者のうち、学業成績が優秀で学留意欲のある者	給付奨学金	100万円を上限として給付			1名	地域の制限なし		併用可	併用可		
	東邦大学理学部臨風会(同窓会)入学時奨学金	入学後		入学金・授業料減免		当該年度入学生のうち、本学理学部卒業生の子女・子孫または在学生の兄弟姉妹の者	給付奨学金	入学金相当額を給付			要件を満たす者全員	地域の制限なし		併用可	併用可		
東邦大学看護同窓会貸与奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援		看護同窓会に入会している学部生(同窓会卒業生)で、授業料その他の学費の支弁が困難な者のうち、学業成績が優秀で学留意欲のある者	貸与奨学金	毎年60万円、4名を限度とする			若干名	地域の制限なし		併用可	併用可			
東洋大学	東洋大学学業成績優秀者奨学金	その他	出願制ではありません。	特待生・成績優秀者		2年～4年生、学業成績及び人物と特に優秀な者、学業成績等に基づき学部で選考の上、6月末～7月頃、対象者に通知。	給付奨学金	30万円。			採用年度1年間のみ、支給は一括。	採用年度1年間以上の専攻に3名、ただし、学部の入学定員が10名を超えることに1名を追加、合計20名程度	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	東洋大学経済的修学困難者奨学金「エール」	在学中	7月頃に申請受付予定	学費支援		1年～4年生、修学意欲があるにもかかわらず、経済的に修学が困難な者。	給付奨学金	学部・学科に応じて10万円～25万円			採用年度1年間のみ、支給は一括。	100名程度	地域の制限なし	学生部学生支援課	条件有りて併用可	併用可	
	東洋大学生計維持者の退去に伴う奨学金	随時		学費支援		1年～4年生、修学意欲があるにもかかわらず、生計維持者の退去に伴い家計急変に見舞われた者。	給付奨学金	1年間の授業料の半額相当額。			採用年度1年間のみ、支給は一括。	予算の範囲内	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	東洋大学特別被災奨学金	随時		被災者資金支援		1年～4年生、災害救助法の適用を受けた災害のうち、本学が支援を決定した災害に伴い生計維持者の住家が被災した者、入学前年度に被災した場合を含む。	給付奨学金	被災状況に応じて当該学年学費の1/3～全額相当額			1つの災害につき1回限り。	予算の範囲内	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	東洋大学生計維持者の失職に伴う奨学金	随時		その他	生計維持者の失職に伴い家計急変に見舞われた学生に対する学費支援。	学部1年～4年生、生計維持者が失職したことにより、経済的に困難している通学課程に在学している学部生。	給付奨学金	所属学部・学科に応じて10万円～25万円。			採用年度1年間のみ、支給は一括。	予算の範囲内	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	東洋大学独立自活支援奨学金	学校出願時		その他	学費等減免と大学事務局等での就労環境の提供	独立自活]支援推薦入試合格者の2割・イブニングコース(夜)の学生、学校法人東洋大学事務局等で勤務し、成績基準を充足し、人物が優良である者。	給付奨学金	入学後授業料免除、年間の授業料及び一般預貯金等資金の半額相当額を給付。			毎年6名	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	条件有りて併用可		
	東洋大学交換留学奨学金	在学中	対象者へ大学より通知	留学費用支援制度		交換留学学生選考試験に合格した者、対象学年は交換留学出願要件に準じる。	給付奨学金	①1年間留学の場合：年間授業料相当額、②1学期間留学の場合、年間授業料半額相当額				①1年間留学の場合：2回(留学開始の前月および留学終了後)それぞれ半額ずつ)、②1学期間留学の場合：1回(留学開始の前月)	交換留学生委員(東洋大学海外留学促進委員会)「グローバルリーダー」に「トップ大学生」(奨給)および「国際留学奨励金」(奨給)を授けられる。	地域の制限なし	国際部国際課	併用可	併用可
	東洋大学認定留学奨学金	在学中	対象者へ大学より通知	留学費用支援制度		認定留学学生選考に合格した者、対象学年は認定留学出願要件に準じる。	給付奨学金	①1年間留学の場合：年間授業料相当額、②1学期間留学の場合、年間授業料半額相当額				①1年間留学の場合：2回(留学開始の前月および留学終了後)それぞれ半額ずつ)、②1学期間留学の場合：1回(留学開始の前月)	認定留学生委員(東洋大学海外留学促進委員会)「グローバルリーダー」に「トップ大学生」(奨給)を授けられる。	地域の制限なし	国際部国際課	併用可	併用可
	東洋大学協定校語学留学奨学金	その他	対象者へ大学より通知	留学費用支援制度		協定校語学留学出願時に別に定める協定校語学試験の得点基準を満たしている者、対象学年は協定校語学留学出願要件に準じる。	給付奨学金	年間授業料の4分の1相当額			1回(留学開始の前月)	協定校語学試験に合格した者、対象学年は協定校語学留学出願要件に準じる。	国際部国際課	併用可	併用可		
	東洋大学海外留学促進奨学金	在学中	奨学金タイプにより異なる	留学費用支援制度		チャレンジ型、アカデミック、グローバルリーダー型、トップ大学型の4つのタイプがあり、申請時期や選考方法は異なる。出願時の過去1年以内(前年度)の語学試験のいづれかを受験し、基準のスコアを取得していること。	給付奨学金	7万円～300万円			在籍期間2回まで(単年度給付は1回まで)	奨学金タイプにより異なる	地域の制限なし	国際部国際課	併用可	併用可	
	東洋大学私費外国人留学生授業料減免	入学後		入学金・授業料減免		1年～4年生の在留資格「留学」かつ所定の経済要件及び卒業要件を満たした私費外国人留学生対象	免除・減免	1年次は授業料の30%、2～4年次は学業成績に応じて授業料の20%～40%。			学期ごと	人数制限なし	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用可	
	塩川正十郎奨学金	その他	出願性ではなく大学選抜。	特待生・成績優秀者		在留資格「留学」かつ学業成績、人物と特に傑出しており、母国の発展に寄与する意思を有する学部2年生以上の私費外国人留学生。	給付奨学金	月額10万円。		1年間		各学年2名。	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用可	併用不可	
	東洋大学SDGs留学生アンバサダー制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 特待生 入学金・授業料減免		外国人留学生オンライン利用入試試験でタイプAと及びタイプBとの合格者のうち、出願時に本制度の利用を希望し、以下の認定条件等を満たし、かつSDGs行動計画書の内容が特に優れていると認められた学部生。 <認定条件> ①在留資格「留学」で入学予定の私費外国人留学生。 ②以下の英語能力基準のいずれかを満たす者。 ・TOEFL iBT (Home Edition) 総合スコア84点以上 / タイプB 70点以上 ・IELTS (TM) (Academic Module) タイプA 6.5以上 / タイプB 6.0以上 ・TOEFL (P) タイプA 80 (総合スコア)以上 / タイプB 70 (総合スコア)以上 ③出願書類「SDGs行動計画書」の内容が特に優れている者。	免除・減免	入学時・学期以下の費用を減免する。 (1)入学金の全額 (2)授業料 ・1年次、SDGs留学生奨学金の適用により、授業料の70%相当額 ・2～4年次、SDGs留学生奨学金の適用により、授業料の60%相当額 (3)奨学金管理費の全額 (4)一般預貯金等資金の全額		1か年で3回まで更新可能とする。	年間最大20名	地域の制限なし	学生部学生支援課	併用不可	併用可		



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
日本大学	日本大学特待生	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者		【全学部生対象】 学業成績・人物ともに優秀な2年次以上の学生	給付奨学金	専修 授業料1年分相当額の半額及び図書費12万円 乙種 授業料1年分相当額の半額	1年間	専修 72名 乙種 389名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	各学部教務課			
	日本大学創立130周年記念奨学金	入学後		学費支援		【全学部生対象】 第2種 給付所得者の場合は、支払金額合計が800万円以下、それ以外の場合は、所得金額合計が350万円以下、最低修業年限で卒業できる単位を保有している者	給付奨学金	年額30万円	1年間	333名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	本部学生部学生課			
	日本大学小澤奨学金	入学後		資格取得支援制度 奨励支援		【法学部・経済学部・商学部生対象】 国家試験受験希望者	給付奨学金	年額12万円	1年間	9名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	各学部学生課			
	日本大学キリシナル設計奨学金	入学後		奨励支援		【理工学部・生産工学部・工学部生対象】 国家公務員採用総合職試験受験希望者	給付奨学金	年額20万円	1年間	3名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	各学部学生課			
	日本大学校友会奨学金(奨学金付教育ローン)	入学後		学費支援		【全学部生対象】 経済的理由により学業継続が困難な者	給付奨学金		在学中	0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	本部学生部学生課			
	日本大学法学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援 留学期間支援制度		【法学部生対象】 第1種 学業成績が特に優秀であり、人物が優れている者 第2種 優秀な資質をもちながら経済的理由により学費の支弁が困難な者 第3種 学業及び人物がともに優秀で、協定校等へ正規生として海外留学し、専門的研究者を志す者	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額の40% 第2種 第一部生30万円、第二部生15万円 第3種 往復航空運賃(エコノミークラス)を上乗	1年間	第1種 12名 第2種 第一部生25名、第二部生5名 第3種 2名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課		
	日本大学法学部永田奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 資格取得支援制度 奨励支援		【法学部生対象】 学業成績・人物が優秀で、国家試験(司法試験・国家公務員採用総合職試験等)の受験を志す者	給付奨学金	年額12万円	1年間	4名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課		
	日本大学法学部山岡奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 資格取得支援制度 奨励支援		【法学部生対象】 学業成績・人物が優秀で、国家試験(司法試験・国家公務員採用総合職試験等)の受験を志す者	給付奨学金	年額12万円	1年間	3名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課		
	日本大学法学部杉村奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 資格取得支援制度 奨励支援		【法学部生対象】 学業成績・人物が優秀で、非理士試験の受験を志す者	給付奨学金	年額12万円	1年間	15名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課		
	日本大学法学部校友会奨学金	入学後			学費支援		【法学部生対象】 第1種 経済的理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	第1種 年額30万円(第二部の学生は年額15万円)	1年間	第1種 7名(うち2名は第二部の学生) (2022年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課		
	日本大学法学部後援会奨学生	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【法学部生対象】 第1種 学業及び人物ともに優秀で、経済的な理由により学費の支弁が困難な者	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額の半額	1年間	第1種 19名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	法学部学生課		
	日本大学文理学部奨学金	在学中	2年次以上		特待生・成績優秀者 学費支援		【文理学部生対象】 第1種 学業及び人物ともに優秀な者 第3種 修学意志が堅固な者で、不測の事態発生等の経済的事由により、学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	第1種 年額24万円 第3種 学費相当額を限度	1年間	第1種 54名 第3種 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	文理学部学生課		
	日本大学文理学部後援会奨学金	入学後			学費支援		【文理学部生対象】 経済的な理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額24万円	1年間	100名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	文理学部学生課		
	日本大学文理学部校友会奨学金	入学後			学費支援		【文理学部生対象】 経済的事由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額24万円	1年間	15名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	文理学部学生課		
	日本大学経済学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【経済学部生対象】 第1種 経済的理由により修学が困難で入学時の成績が特に優秀な者 第2種 1種奨学生であった者で経済的理由により修学が困難で引き続き学業成績が優秀な者 第4種 経済的理由により修学が困難で学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額 第2種 授業料1年分相当額の半額 第4種 年額49万円(後学期採用者は年額24万円) (2022年度採用数)	1年間	第1種 0名 第2種 0名 第4種 7名(後学期採用者0名) (2022年度採用数)	地域の制限なし	経済学部学生課		
	日本大学経済学部後援会奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【経済学部生対象】 後援会費を納入していること 第1種 学業及び人物が優秀で経済的理由により修学が困難な者 第2種 自然災害や建設の事象により物件に害が生じ修学が困難かつ学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	第1種 年額30万円(後学期採用者は年額15万円) 第2種 年額48万円	1年間	第1種 122名(後学期採用者0名) 第2種 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	経済学部学生課		
	日本大学経済学部校友会奨学金	在学中	2年次以上		特待生・成績優秀者		【経済学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額12万円	1年間	9名 (2022年度採用者)	地域の制限なし	経済学部学生課		
	日本大学経済学部校友会資格等取得奨学金	入学後			資格取得支援制度		【経済学部生対象】 経済学部で指定した各種資格を取得した者	給付奨学金	資格ごとに設定	1年間	131名 (2022年度採用者)	地域の制限なし	経済学部学生課		
	日本大学商学部後援会奨学金	入学後			学費支援		【商学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額15万円または30万円	1年間	8名 (2022年度採用者)	地域の制限なし	商学部学生課		
	日本大学商学部校友会奨学金	入学後			学費支援		【商学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額15万円または30万円	1年間	19名 (2022年度採用者)	富山県	商学部学生課		
	日本大学商学部校友会委員会奨学金	入学後			学費支援		【商学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額15万円または30万円	1年間	0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課		
	日本大学商学部特待奨学金	学校出願時			学費支援		【商学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額15万円または30万円	1年間	17名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課		
	日本大学商学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者		【商学部生対象】 学業成績が特に優秀な学生	給付奨学金	授業料1年分相当額の半額	1年間	9名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課		
	日本大学商学部資格等取得奨励会	入学後			資格取得支援制度		【商学部生対象】 商学部で指定した各種資格等を取得した者	給付奨学金	資格ごとに設定	1年間	234名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	商学部学生課		
	日本大学芸術学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援 留学期間支援制度 留学期間支援制度 留学期間支援制度		【芸術学部生対象】 第1種 優秀な資質をもちながら経済的理由により修学が困難である者 第2種 専攻分野において特に優れた業績を認められる者 第3種 出資に賛同し、多大な賛助を受けた場合、もしくは不測の理由で家計が急変し学費等の支弁が困難である者 第4種 留学期間により海外に就学する者	給付奨学金	第1種 年額30万円を限度 第2種 年額30万円・50万円 第3種 授業料1年分相当額を限度 第4種 年額20万円を限度	1年間	第1種 21名 第2種 1名 第3種 6名 第4種 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	芸術学部学生課		
	日本大学国際関係学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【国際関係学部生対象】 第1種 学業及び人物ともに優秀な学生(2年次以上を対象) 第2種 緊急の経済的理由により学費等の支弁が困難な者(全学部対象)	給付奨学金	第1種 授業料1年分相当額の半額 第2種 授業料1年分相当額の半額	1年間	第1種 3名 第2種 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	日本大学国際関係学部海外文化交流奨学金	入学後			研修支援制度 研究費支援制度 留学期間支援制度		【国際関係学部生対象】 ドイツにおいて研究・研修する者	給付奨学金	留学期間1年分相当額	1年間	0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	日本大学三島後援会奨学金	入学後			留学期間支援制度 その他	選学費用補助金・家賃補助	【国際関係学部生対象】 第1種 自宅通学不可能な者または遠隔地からの新幹線定期券通学者 第2種 派遣交換留学生、チャレンジ・インターンシップ・プログラム派遣学生、ダブル・ディグリー・プログラム派遣留学生、中期留学生	給付奨学金	第1種 新幹線定期券通学補助 12万円(半額) アパート補助 12万円(半額) 第2種 プログラムにより異なる	半年又は1年間	第1種 新幹線定期券通学補助 0名 アパート補助 87名 第2種 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	日本大学国際関係学部校友会奨学金	入学後			特待生・成績優秀者		【国際関係学部生対象】 第1種 人物が優れ、2年次以上に在学中で学業成績が優秀な者 第2種 人物が優れ、1年次に在学中で入学時成績及び最終学校の学業成績が優秀な者	給付奨学金	第1種 年額25万円 第2種 年額25万円	1年間	第1種 7名 第2種 3名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	日本大学三島同窓会奨学金	入学後			課外活動支援制度 奨励支援		【国際関係学部生対象】 国家試験(外務省専門職員試験・国家公務員試験)合格者または学術・文化・スポーツ・社会活動等において顕著な成果を収め、著しく大学の名誉を高めた者	給付奨学金	年額2〜6万円	1年間	0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	国際関係学部学生課		
	日本大学理工学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【理工学部2年次以上の学生対象】 第1種 学業及び人物が優秀で、学費支弁が困難である者	給付奨学金	年額40万円	1年間	第1種 32名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	日本大学理工学部後援会奨学金	入学後			学費支援		【理工学部生対象】 学費支弁が困難な者 後援会費が納入済みである者	給付奨学金	年額50万円	1年間	40名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	日本大学理工学部校友会奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【理工学部生対象】 学業成績及び人物ともに優秀で、貸与奨学金を受けている卒業見込者	給付奨学金	年額20万円	1年間	10名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	日本大学理工学部校友会特別奨学金	入学後			学費支援 被災者救済支援		【理工学部生対象】 自然災害等の発生あるいは家計急変等のため特に学費等の支弁が困難である者	給付奨学金	年額50万円	1年間	2名 (2021年度採用数)	地域の制限なし	理工学部学生課		
	日本大学生産工学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【生産工学部生対象】 第1種 特待生・学業及び人物が優秀な者 第2種 優秀な資質をもちながら、経済的理由など建設の事象により学業継続が困難な者	給付奨学金	第1種 年額50万円 第2種 前学期30万円・後学期30万円	1年間	第1種 9名 第2種 2名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	生産工学部学生課		
	日本大学生産工学部校友会奨学金	入学後			学費支援		【生産工学部生対象】 経済的理由から修学困難な者	給付奨学金	年額10・20・30万円	1年間	4名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	生産工学部学生課		
	日本大学工学部奨学金	入学後			特待生・成績優秀者		【工学部生対象】 第2種 1年次生のうち、入学時の成績が優異な者 第4種 学業成績及び人物が優秀な者	給付奨学金	第2種 授業料1年分相当額 第4種 年額10万円	1年間	第2種 0名 第4種 12名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	日本大学工学部後援会奨学金	入学後			学費支援		【工学部生対象】 経済的理由により修学が困難な者	給付奨学金	前学期25万円・後学期25万円	1年間	40名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	日本大学工学部五十嵐奨学金	在学中	4年次生		特待生・成績優秀者		【工学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額10万円	1年間	12名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	日本大学工学部北村奨学生	入学後			学費支援		【工学部生対象】 緊急の経済的理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額24万円	1年間	4名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	日本大学医学部土岐奨学金	入学後			特待生・成績優秀者		【医学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	1名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	日本大学医学部永澤奨学金	入学後			特待生・成績優秀者		【医学部生対象】 学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	日本大学医学部同窓会60周年記念医学奨励会	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【医学部生対象】 学業及び人物ともに優秀で、入学後第一保健士の事故等により経済的に修学困難な者	給付奨学金	年額30万円	1年間	1名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	日本大学医学部同窓会祝学奨学金	入学後			学費支援		【医学部5・6年次の学生対象】 給付 学部指定の金融機関と教育ローン契約を締結し、また学費等の支弁が困難であり、学業及び人物がともに優れている者 貸与 不測の事態により学費等の支弁が困難であり、学業及び人物がともに優れている者	給付奨学金 貸与奨学金	給付 学部指定 貸与 学費相当額	1年間	給付 0名 貸与 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		
	日本大学医学部特定医療奨学金	入学後			特待生・成績優秀者 学費支援		【医学部5・6年次の学生対象】 学業及び人物ともに優秀で、臨床研修後、本学医学部付属病院において特定医療を担当する診療科(小児科・産科・救急科など)の医師を志す者。(返還免除)	貸与奨学金	年額60万円(返還免除制あり)	1年間	1名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	医学部学生課		



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
日本歯科大学	日本歯科大学歯学部歯科学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度		【歯学部生対象】 第1種 2年以上の学生で学業及び人物が優秀な者 第2種 2年以上の学生で課外活動・学校行事等に顕著な功績がある者 賞 与 高学年の学生で学費の支弁が困難で、学業及び人物が優れている者	給付奨学金 貸与奨学金	第1種 10万円、20万円 第2種 10万円 賞 与 授業料1年分相当額以内	1年間	第1種 10万円、20万円 第2種 2名 賞 与 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	歯学部学生課		
	日本歯科大学歯学部歯科学会	入学後		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		【歯学部2年次以上の学生対象】 学業及び人物が優秀な者または課外活動に顕著な成果を収めた者	給付奨学金	年額5~10万円	1年間	5万円、3名、10万円、0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	歯学部学生課		
	日本歯科大学松戸歯学部歯科学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度		【松戸歯学部生対象】 第1種 2年以上の学生で学業及び人物が優秀な者 第2種 経済的理由により、学費の支弁が困難であり、学業成績が優秀で人物が優れている者 賞 与 5年以上の学生で、学業成績及び人物が良好で、学費の納入が困難な者	給付奨学金 貸与奨学金	第1種 年額10万円 第2種 年額4万円 賞 与 授業料1年分相当額以内	1年間	第1種 30名 第2種 2名 賞 与 0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	松戸歯学部学生課		
	日本歯科大学松戸歯学部大石歯科学会	入学後		特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		【松戸歯学部生対象】 学業成績・人物が優秀な者、または課外活動において顕著な成果を収め、学部等の発刊に貢献したと認められる者	給付奨学金	年額10万円	1年間	1名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	松戸歯学部学生課		
	日本歯科大学歯学部歯科学部奨学会	入学後		特待生・成績優秀者		【生物資源科学部生対象】 入学試験の成績並びに高等学校在学時の学業及び人物ともに優秀な者	給付奨学金	授業料・施設費・書籍費相当額	1年間	16名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課		
	日本歯科大学歯学部歯科学部大森奨学会	入学後		特待生・成績優秀者		【生物資源科学部生対象】 最終学年のうち学業及び人物ともに優秀な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	12名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課		
	日本歯科大学歯学部歯科学部後援会奨学会	入学後		学費支援		【生物資源科学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額25万円以上60万円以内	1年間	15名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課		
	日本歯科大学歯学部歯科学部校友会奨学会	入学後		学費支援		【生物資源科学部生対象】 経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	年額25万円以上60万円以内	1年間	13名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	生物資源科学部学生課		
	日本歯科大学歯学部奨学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 第2種 経済的理由により学費等の支弁が困難であり、学業及び人物が優秀な者	給付奨学金	第2種 年額30万円	1年間	9名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課		
	日本歯科大学歯学部校友会奨学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 学業及び人物が優秀で、学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	2名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課		
	日本歯科大学歯学部校友会奨学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 経済的理由で学費の支弁が困難であり、学業成績及び人物が優れている者	給付奨学金	年額30万円	1年間	7名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課		
	日本歯科大学歯学部校友会(後援会)奨学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 学業成績優秀で学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	5名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課		
	日本歯科大学歯学部マツモトキヨシ奨学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 学業及び人物が優秀で、学費の支弁が困難な者	給付奨学金	年額30万円	1年間	6名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課		
	日本歯科大学歯学部編入(一般)修学奨励金	入学後		特待生・成績優秀者		【薬学部生対象】 編入試験(一般)及びその後の成績が特に優秀で人物が優れている者	給付奨学金	年額50万円	1年間	0名 (2021年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課		
	日本歯科大学歯学部岩崎善純奨学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【薬学部生対象】 経済的理由により学費等の支弁が困難であり、学業成績が優秀で、人物が優れている者	給付奨学金	年額30万円	1年間	10名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	薬学部学生課		
	日本歯科大学歯学部歯科学部奨学会	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援		【通信教育部2年次以上の正科生の学生対象】 学業及び人物が優秀で経済的理由から修学困難な者	給付奨学金	授業料1年分相当額を上限	1年間	12名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	通信教育部学生課		
	日本歯科大学歯学部歯科学部東奨学会	在学中	2年次以上	特待生・成績優秀者		【通信教育部2年次以上の正科生の学生対象】 学業及び人物ともに優秀な者	給付奨学金	授業料1年分相当額の半額を上限	1年間	1名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	通信教育部学生課		
	日本歯科大学工学部校友会奨学会	入学後		学費支援		【工学部生対象】 経済的理由により学費等の支弁が困難な者	給付奨学金	年額25万円	1年間	0名 (2022年度採用数)	地域の制限なし	工学部学生課		
	日本医科大学	日本医科大学新生奨学金	入学後	特待生・成績優秀者 学費支援		対象 本学医学部学生 第1学年(入学後に申請) 申請資格・条件等 *学生の医学及び将来、医師及び研究者として医療に貢献する優秀な人材の育成に資することを目的として、学業その他において他の模範となる学生を対象とする。 *学生として採用された際、要件を満たす連帯保証人及び保証人を選任できること。 医学部の選考は、委員会において次に掲げる事項について審査を行う。 (1) 学業成績 (2) 家庭の経済事情 (3) 人物等差 (4) 健康状態 (5) その他特種事情	貸与奨学金	150万円を上限とし、学内審査において決定する。	1年間	0名程度(令和5年度)	地域の制限なし	医務環境学務課	併用可	併用可
	特待生制度	その他	入学時のみ	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜の成績上位者(前期35名、後期3名)のうち入学した者を特待生として、入学時の授業料2500000円を免除する。また、グローバル特別選抜の成績上位10名のうち入学した者を特待生とし、1年次と2年次の授業料を免除する。 ※地域枠受験者は本学特待生制度に該当しない。	免除・減免	①一般選抜の成績上位者(前期35名、後期3名) 1年間で授業料250万円を免除。 ②グローバル特別選抜成績上位10名 2年間で授業料500万円を免除。	1年間	①一般選抜の成績上位者 30名 ②グローバル特別選抜成績上位者 10名	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	日本医科大学奨学金	在学中	申請可能年次:1年次～5年次 (貸与希望年度の前年度中に申請する) 貸与対象:第2学年～第6学年	特待生・成績優秀者 学費支援	対象 本学医学部学生 第2学年～第6学年(貸与希望年度の前年度中に申請) 申請資格・条件等 *学生の医学及び将来、医師及び研究者として医療に貢献する優秀な人材の育成に資することを目的として、学業その他において他の模範となる学生を対象とする。 *学生として採用された際、要件を満たす連帯保証人及び保証人を選任できること。 医学部の選考は、委員会において次に掲げる事項について審査を行う。 (1) 学業成績 (2) 家庭の経済事情 (3) 人物等差 (4) 健康状態 (5) その他特種事情	貸与奨学金	学費相当額を限度とし、学内審査において決定する。	1年間	0名程度(令和5年度)	地域の制限なし	学事部教務課	併用可	併用可	
	日本医科大学父母会奨学金	在学中	申請可能年次:1年次～5年次 (融資希望年度の前年度中に申請する) 貸与対象:第2学年～第6学年	特待生・成績優秀者 学費支援	対象 第2学年～第6学年(貸与希望年度の前年度中に申請) 経済的に困難し、かつ学業人物ともに優れた学生に対し、学納金の一部を無料子で貸与する。	貸与奨学金	学費相当額を限度とし、学内審査において決定する。	1年間	0名程度(令和5年度)	地域の制限なし	学事部教務課、父母会事務局	併用可	併用可	
	日本医科大学特別学習ローン制度	在学中	申請可能年次:1年次～5年次 (融資希望年度の前年度中に申請) 融資対象:第2学年～第6学年	学費支援	対象 第2学年～第6学年(融資希望年度の前年度中に申請) 本学が保証人となることにより、学費相当額を上限として金融機関から融資を受けることができる。 学生の選考については、次に定める基準に基づき書類審査及び面接を行う。 (1) 家庭の経済状況 (2) 学業成績 (3) 授業の出席状況	その他	学費相当額を限度とし、学内審査において決定する。	1年間	5名程度(令和5年度)	地域の制限なし	学事部教務課	併用可	併用可	
日本歯科大学	生命歯学部(東京)特待生制度	その他	申請なし	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	生命歯学部(東京)の入学試験(一般選抜、共通テスト利用)と併せて前期の成績が特に優秀で、品行方正等ほかの学生の模範となりえる者。	免除・減免	入学金(入学時のみ)、授業料、教育充実費、施設維持費を、毎年度すべて半額とする。	1年間	約1名(1名程度)	地域の制限なし	生命歯学部 教務・学生課(入試課)	併用不可	併用可	
	新潟生命歯学部特待生制度	その他	申請なし	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	新潟生命歯学部の入学試験(一般選抜、共通テスト利用)の成績が特に優秀で、品行方正等ほかの学生の模範となりえる約15名。うち校友子弟枠と通風協賛生枠(北海道・福岡・鳥取・鳥取・九州・沖縄)を除く。 ※総合選抜または学校推薦型選抜試験で新潟生命歯学部へ合格した方は、一般選抜入試(前期または後期)または共通テスト利用入試(前期のみ)を免除すること、特待生の選考対象となる。該当生は、合格時に発表。 優秀な人材を育成することを目的として、学費・人物とも優れた者に支給。	免除・減免	入学金(入学時のみ)、授業料、教育充実費、施設維持費を、毎年度すべて減免する。	6年間	約15名(校友子弟枠、通風協賛生枠を含む)	地域の制限なし	新潟生命歯学部 入試課	併用不可	併用可	
	学術奨励制度	その他	申請なし 年度末成績審議決定	特待生・成績優秀者			給付奨学金	年度末に選考を行い、各学年1名に30万円、その他10名以内に10万円を支給。		各学年10名以内(1名に30万円、その他の者に10万円)	地域の制限なし			併用可
	育英奨励制度	随時		用途を定めない経済的支援	1年～6年生対象 在学中、不幸にして学費出資者の死去等で修学が困難になった場合、学生の経済的援助を行うことを目的として支給。	給付奨学金	毎月7万円、年額84万円。		必要とするまでの在学期間、最大6年間。	人数制限なし	地域の制限なし			併用可
日本社会事業大学	障害学生奨学金給付制度	学校出願時		学費支援	全学年障害が「学生対象」 身体等の障がい(起因として、修学上特別な経済的支出を必要とする学生を対象)に、その費用の一部を奨学金として給付する	給付奨学金	年間教育充実費相当額。				地域の制限なし	学生支援課		
	障害学生に対する学習環境支援等経費	学校出願時		学費支援	全学年障害が「学生対象」 障がい等(身体、知的障害)で援助を必要とする者。	給付奨学金	別途定める年間実支給額相当額。				地域の制限なし	学生支援課		
	学生寮	入学手続時		奨励制度	社会福祉学部全学年が対象 入寮希望者は、入寮案内に詳しい、必要書類を添えて申込みのこと。 希望者多数の場合、選考あり。	その他	「私室寮(男子・女子)」がある。 寮費については、問い合わせてください。				地域の制限なし	学生支援課		
日本獣医生命科学大学	日本獣医生命科学大学貸与給付奨学金	在学中	卒業年次を除く(学生に)、卒業前2回募集を開始する。	特待生・成績優秀者 学費支援 部災害資金支援	本学では、以下のよう内容の奨学金制度を設けています。給付と貸与の2種類があります。詳細は学生支援課にご相談ください。 ◎対象学年 全学年(全学部学科の学部生) ◎応募資格 「在学中」に父母等保証人(学費負担者)が死亡・廃業等に遭い、経済的に著しく修学が困難となった者。 「卒業(地産・基水産・火災等)」に遭い、経済的に著しく修学が困難となった者。 *資料の取得その他の理由により経済的に著しく修学が困難となった者。 *その他成績等を考慮して選考します。	給付奨学金 貸与奨学金	授業料と実質費の年額2分の1の金額を支給	1年間、在学中2回まで申請可	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
日本女子大学	日本女子大学東成績優秀賞・研究奨励賞	在学中		特待生・成績優秀者		学部2～4年生 前年度までの学業成績が優れ、人物ともに優秀な者	免除・減免	課料後期分免除	対象年度の後期	各学部2～4年生1名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	高村聖典奨励賞	在学中		特待生・成績優秀者		学部4年生(当該年度別に卒業論文を提出できる要件をそなえている学生) 専門の各分野で特に優れた成果をあげ、将来の社会貢献をめざしている者	給付奨学金	50万円	4年後期	2名以上4名以内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	稲橋金新入生奨学	1年生		学費支援 用途を定めない経済的支援		学部1年生 専業主婦の理由による奨学金制度 学業・人物ともに優秀であり、積極的な活動に貢献できる者	給付奨学金	年間5万円(4年間を総額20万円)	4年間	5名以内(学部学生4名・大学院学生1名)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	日本女子大学稲橋奨学	在学中		学費支援 用途を定めない経済的支援		学部2～4年生 経済的理由により学業継続が困難で、かつ成績、人物ともに良好な者 (日本学生支援機構の給付奨学金対象者を除く)	給付奨学金	30万円		対象年度の前期または後期(後期支給となる場合もありです)	30名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	日本女子大学長奨学	在学中		学費支援		学部1～4年生 家計急変等により学費補助を必要とする者 奨励賞 優れた研究発表者や国際大会で賞を受賞した者 応急採用(緊急採用に該当しない)最終年次生で卒業要件を満たしているが、学業納入が困難と判断された者	貸与奨学金	学費半半分相当額	原則1回限り	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	日本女子大学東学業支援給付奨学金	在学中		学費支援 用途を定めない経済的支援		学部3年生 経済的事由による学業継続困難で、かつ成績、人物ともに良好で学業への意欲が高く、日本学生支援機構の貸与奨学金受給中の者 (日本学生支援機構の給付奨学金対象者を除く)	給付奨学金	30万円	3年後期	10名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	日本女子大学特別活動給付奨学金	在学中		その他	正課外活動における奨励	学部2年生以上、学生自治会、社会活動、学研、文化、芸術、スポーツ等の分野で優れた業績をあげた人物・学業ともに良好な者 (専業主婦等を除く)	給付奨学金	20万円		対象年度の後期	1名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	日本女子大学東成Spring新入生奨励会	在学中		特待生・成績優秀者 奨励会 その他	学生生活の支援	学部1～4年生 賞額(1～3名)東京・千葉・埼玉・神奈川)以外の国内高等学校出身者で、学業・人物ともに優秀で学業に入学した者	給付奨学金	20万円		1年次前期または後期(後期支給となる場合もありです)	15名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	世界トップ100大学留学期間奨学	在学中				対象学年:出願時1年～3年 条件:以下の大学への出願者 A:ケルズーブルックマウント・ホリヨーク・カレッジ(但し、交換留学が成立し、留学先大学の授業料が免除される場合は対象としない。) B:オハイオ大学、プリンストン大学、メソバリアン大学、ヨーク大学、ランカスター大学 C:マギル大学	給付奨学金	A:40万円 B:300万円 C:200万円	留学期間の一括授与	2名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	条件有り併用可	
	協定大学留学期間奨学	在学中				対象学年:出願時1年～3年の協定大学留学期間	給付奨学金	1年交換料:50万円 1年滞学料:100万円 短期交換料:25万円 短期滞学料:50万円 *留学期間により減額の可能性あり	留学期間の一括授与	15名程度	地域の制限なし	国際交流課	併用可	条件有り併用可	
	認定大学留学期間奨学	在学中				対象学年:出願時1年～3年の認定大学留学期間	給付奨学金	1年留学:40万円 短期留学:20万円 *留学期間により減額の可能性あり	留学期間の一括授与	15名程度	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可	
	協定大学留学期間奨学	その他				対象学年:出願時1年～3年の協定大学留学期間のうち学業・人物ともに優秀な学生 *長期留学・学部コース留学期間を優先とする。	給付奨学金	30万円	留学期間の一括授与	1名	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可	
	東会奨励会	在学中				対象学年:出願時1年～3年の協定大学留学期間	給付奨学金	20万円	留学期間の一括授与	指定なし	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可	
	東会賞(公認サークル対象)	その他				正課外活動に教育的効果の大きな意義を持つ課外活動の活性化のために、その活動を奨励・奨励するもの。 日本女子大学として公認の試合及びコンクールに参加し優秀な成績をあげる等、功が顕著な公認サークル。または社会活動や文化活動などを通じて功績が認められ公認サークル。	その他	順位付けをし、それぞれ最優秀賞7万円、優秀賞5万円、優良賞3万円が授与される。	年1回	個人ではなくサークルに対して支給	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	東会賞(課外活動功賞)	その他				正課外活動に教育的効果の大きな意義を持つ課外活動の活性化のために、その活動を奨励・奨励するもの。 学生三団体(学生自治会・クラブ連合会・学園実行委員会)の役員等、課外活動における功が顕著と認められる者。	その他	3万円	1回	3名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
日本女子体育大学	二階堂学奨学	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援		4年生 学業成績、人物ともに良好で、日本女子大学大学院への進学が決定している者	給付奨学金	月額2万5千円	4年後期	4名(各学部1名ずつ)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	稲橋奨学	在学中		学費支援 用途を定めない経済的支援		学業・人物ともに優秀かつ健康であって、経済上苦戦を必要とする者。	給付奨学金	月額2万5千円	1年間	27名程度	地域の制限なし	学生支援課(学生生活支援担当)	併用不可	条件有り併用可	
	日本女子体育大学入学試験成績優秀奨学生	その他		特待生・成績優秀者 入学料・授業料減免		本学学生の模範となるような優れた人物のうち、前年度学業において特に優秀な成績を収めた者または前年度スポーツ・舞踊部門で特に優秀な成績を収めた者。	入学料・授業料減免	入学料:50万円 入学金:舞踊部門 毎月2万円	1年間	学業部門:5名以内 スポーツ・舞踊部門:2名以内	地域の制限なし	学生支援課(学生生活支援担当)	併用可	条件有り併用可	
	日本赤十字看護大学入学試験成績優秀奨学生	その他		特待生・成績優秀者 入学料・授業料減免		入学試験における入学試験成績が特に優秀な者または入学試験成績優秀奨学生と同一、経済的支援として入学準備金の一部を免除。 一般選抜(前期または後期)の大学入学共通テスト方式における合格者のうち、成績上位者(総得点が80%以上の者)。	免除・減免	入学料・免除			地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可	
	日本赤十字看護大学伊藤・有馬記念金外語留学期間奨学	入学後		留学期間奨学 課外活動支援制度		大学が主催する海外留学・海外研修、ボランティア、クラブ等の課外活動の他、個人で海外活動を計画しているもの(但し観光が目的の活動は除く)	給付奨学金	年間20万円以内			地域の制限なし				
	日本赤十字看護大学大森孝子記念奨学	入学後		学費支援		経済的理由により修学が困難なもの	給付奨学金	年間20万円を限度として給付する			地域の制限なし				
	日本赤十字看護大学稲橋奨学委員会奨学	入学後		学費支援		経済的理由により修学が困難なもの(*一世帯の年収が500万円以上の場合は応募の対象外)	給付奨学金	年間20万円を限度として給付			地域の制限なし				
	日本赤十字看護大学保護者会海外留学期間奨学	入学後		留学期間奨学 課外活動支援制度		大学が主催する海外留学・研修参加学生	給付奨学金	年間5万円を限度として給付			地域の制限なし				
	特待生制度B	その他		申請不要	特待生・成績優秀者 入学料・授業料減免		前年度の学業成績のうち、履修した必修・選択科目がすべてB)以上でかつ再履修科目がない中で、必修科目の評定(満点)の平均点が上位の者、各学部の人数は次のとおり。 【看護学部】上位2人以内 【さいたま看護学部】上位3人以内	免除・減免		当該年度の年間授業料の半額(60万円)を免除する。		地域の制限なし			
	日本赤十字看護大学松下清子記念奨学(海外研修・国際交流支援)	入学後			留学期間奨学 課外活動支援制度		1)本学及び学部団体主催の各種海外研修プログラム、海外ボランティア、インターンシップ、セミナー参加などの海外活動に参加するもの(但し観光が目的の活動は除く) 2)当該年度に渡航する者で目的及び計画が明確で、効果が期待できるもの 3)経済的理由により渡航が困難な者	給付奨学金	年間20万円以内		地域の制限なし				
大規模災害被災学生支援奨学	在学中			入学料・授業料減免		新入生は学費負担者が入学した年度の前5年間の申請日まで、在学生においては年度の申請日までに、学費負担者が災害救助法適用地区において被災し、その影響で家計が急変したため経済的支援が必要と認められる者。	免除・減免		半期授業料		地域の制限なし				
特待生制度A	その他		申請不要	特待生・成績優秀者 入学料・授業料減免		一般入学選抜試験の成績が上位の者、各学部の人数は次のとおり。 【看護学部】上位2人以内 【さいたま看護学部】上位2人以内	免除・減免		1年次の年間授業料の全額(120万円)を免除する。		地域の制限なし				
日本赤十字看護大学同窓会奨学	入学後			用途を定めない経済的支援		経済的理由により修学困難なもの	貸与奨学金	50万円			地域の制限なし				
一般財団法人日本赤十字社看護婦人会奨学資金	入学後			用途を定めない経済的支援		経済的理由により修学困難なもの	貸与奨学金	月額3万円			地域の制限なし				
日本赤十字社奨学制度	入学後			学費支援		卒業後活躍していると認められ(貸与を受けた病院)に貢献する意思のあるもの	貸与奨学金	年間60万円～84万円(病院により異なる)			地域の制限なし				
日本赤十字看護大学保護者会奨学学業成績優秀者奨学	その他		申請不要	用途を定めない経済的支援		2～4年生の成績優秀者上位5名以内(当該年度の特待生及び編入生除く)	給付奨学金	年間3万円			地域の制限なし				
日本赤十字看護大学伊藤・有馬記念基金学生奨学	入学後			学費支援		経済的理由により修学が困難な学生	給付奨学金	年間20万円以内			地域の制限なし				
日本体育大学	学費減免制度(公費)	在学中		申請締切:7月上旬	その他	後学期施設整備費、教育充実費の免除	免除・減免			毎年度	年間80名程度	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可
	一般奨学生	その他		申請不要 ①1年次は新入生中から該当者に通知 ②2年次以降は入学案内封筒に該当者名を記載して届出	特待生・成績優秀者	対象学年:①1年生 ②2～4年生 学部:全学部(12学部) 資格:学業成績が特に優秀かつ自身と健康な者であって、大学の卒業を期して採用された者(1)(2)(3)と(4)と(5)と(6)と(7)と(8)と(9)と(10)と(11)と(12)と(13)と(14)と(15)と(16)と(17)と(18)と(19)と(20)と(21)と(22)と(23)と(24)と(25)と(26)と(27)と(28)と(29)と(30)と(31)と(32)と(33)と(34)と(35)と(36)と(37)と(38)と(39)と(40)と(41)と(42)と(43)と(44)と(45)と(46)と(47)と(48)と(49)と(50)と(51)と(52)と(53)と(54)と(55)と(56)と(57)と(58)と(59)と(60)と(61)と(62)と(63)と(64)と(65)と(66)と(67)と(68)と(69)と(70)と(71)と(72)と(73)と(74)と(75)と(76)と(77)と(78)と(79)と(80)と(81)と(82)と(83)と(84)と(85)と(86)と(87)と(88)と(89)と(90)と(91)と(92)と(93)と(94)と(95)と(96)と(97)と(98)と(99)と(100)と(101)と(102)と(103)と(104)と(105)と(106)と(107)と(108)と(109)と(110)と(111)と(112)と(113)と(114)と(115)と(116)と(117)と(118)と(119)と(120)と(121)と(122)と(123)と(124)と(125)と(126)と(127)と(128)と(129)と(130)と(131)と(132)と(133)と(134)と(135)と(136)と(137)と(138)と(139)と(140)と(141)と(142)と(143)と(144)と(145)と(146)と(147)と(148)と(149)と(150)と(151)と(152)と(153)と(154)と(155)と(156)と(157)と(158)と(159)と(160)と(161)と(162)と(163)と(164)と(165)と(166)と(167)と(168)と(169)と(170)と(171)と(172)と(173)と(174)と(175)と(176)と(177)と(178)と(179)と(180)と(181)と(182)と(183)と(184)と(185)と(186)と(187)と(188)と(189)と(190)と(191)と(192)と(193)と(194)と(195)と(196)と(197)と(198)と(199)と(200)と(201)と(202)と(203)と(204)と(205)と(206)と(207)と(208)と(209)と(210)と(211)と(212)と(213)と(214)と(215)と(216)と(217)と(218)と(219)と(220)と(221)と(222)と(223)と(224)と(225)と(226)と(227)と(228)と(229)と(230)と(231)と(232)と(233)と(234)と(235)と(236)と(237)と(238)と(239)と(240)と(241)と(242)と(243)と(244)と(245)と(246)と(247)と(248)と(249)と(250)と(251)と(252)と(253)と(254)と(255)と(256)と(257)と(258)と(259)と(260)と(261)と(262)と(263)と(264)と(265)と(266)と(267)と(268)と(269)と(270)と(271)と(272)と(273)と(274)と(275)と(276)と(277)と(278)と(279)と(280)と(281)と(282)と(283)と(284)と(285)と(286)と(287)と(288)と(289)と(290)と(291)と(292)と(293)と(294)と(295)と(296)と(297)と(298)と(299)と(300)と(301)と(302)と(303)と(304)と(305)と(306)と(307)と(308)と(309)と(310)と(311)と(312)と(313)と(314)と(315)と(316)と(317)と(318)と(319)と(320)と(321)と(322)と(323)と(324)と(325)と(326)と(327)と(328)と(329)と(330)と(331)と(332)と(333)と(334)と(335)と(336)と(337)と(338)と(339)と(340)と(341)と(342)と(343)と(344)と(345)と(346)と(347)と(348)と(349)と(350)と(351)と(352)と(353)と(354)と(355)と(356)と(357)と(358)と(359)と(360)と(361)と(362)と(363)と(364)と(365)と(366)と(367)と(368)と(369)と(370)と(371)と(372)と(373)と(374)と(375)と(376)と(377)と(378)と(379)と(380)と(381)と(382)と(383)と(384)と(385)と(386)と(387)と(388)と(389)と(390)と(391)と(392)と(393)と(394)と(395)と(396)と(397)と(398)と(399)と(400)と(401)と(402)と(403)と(404)と(405)と(406)と(407)と(408)と(409)と(410)と(411)と(412)と(413)と(414)と(415)と(416)と(417)と(418)と(419)と(420)と(421)と(422)と(423)と(424)と(425)と(426)と(427)と(428)と(429)と(430)と(431)と(432)と(433)と(434)と(435)と(436)と(437)と(438)と(439)と(440)と(441)と(442)と(443)と(444)と(445)と(446)と(447)と(448)と(449)と(450)と(451)と(452)と(453)と(454)と(455)と(456)と(457)と(458)と(459)と(460)と(461)と(462)と(463)と(464)と(465)と(466)と(467)と(468)と(469)と(470)と(471)と(472)と(473)と(474)と(475)と(476)と(477)と(478)と(479)と(480)と(481)と(482)と(483)と(484)と(485)と(486)と(487)と(488)と(489)と(490)と(491)と(492)と(493)と(494)と(495)と(496)と(497)と(498)と(499)と(500)と(501)と(502)と(503)と(504)と(505)と(506)と(507)と(508)と(509)と(510)と(511)と(512)と(513)と(514)と(515)と(516)と(517)と(518)と(519)と(520)と(521)と(522)と(523)と(524)と(525)と(526)と(527)と(528)と(529)と(530)と(531)と(532)と(533)と(534)と(535)と(536)と(537)と(538)と(539)と(540)と(541)と(542)と(543)と(544)と(545)と(546)と(547)と(548)と(549)と(550)と(551)と(552)と(553)と(554)と(555)と(556)と(557)と(558)と(559)と(560)と(561)と(562)と(563)と(564)と(565)と(566)と(567)と(568)と(569)と(570)と(571)と(572)と(573)と(574)と(575)と(576)と(577)と(578)と(579)と(580)と(581)と(582)と(583)と(584)と(585)と(586)と(587)と(588)と(589)と(590)と(591)と(592)と(593)と(594)と(595)と(596)と(597)と(598)と(599)と(600)と(601)と(602)と(603)と(604)と(605)と(606)と(607)と(608)と(609)と(610)と(611)と(612)と(613)と(614)と(615)と(616)と(617)と(618)と(619)と(620)と(621)と(622)と(623)と(624)と(625)と(626)と(627)と(628)と(629)と(630)と(631)と(632)と(633)と(634)と(635)と(636)と(637)と(638)と(639)と(640)と(641)と(642)と(643)と(644)と(645)と(646)と(647)と(648)と(649)と(650)と(651)と(652)と(653)と(654)と(655)と(656)と(657)と(658)と(659)と(660)と(661)と(662)と(663)と(664)と(665)と(666)と(667)と(668)と(669)と(670)と(671)と(672)と(673)と(674)と(675)と(676)と(677)と(678)と(679)と(680)と(681)と(682)と(683)と(684)と(685)と(686)と(687)と(688)と(689)と(690)と(691)と(692)と(693)と(694)と(695)と(696)と(697)と(698)と(699)と(700)と(701)と(702)と(703)と(704)と(705)と(706)と(707)と(708)と(709)と(710)と(711)と(712)と(713)と(714)と(715)と(716)と(717)と(718)と(719)と(720)と(721)と(722)と(723)と(724)と(725)と(726)と(727)と(728)と(729)と(730)と(731)と(732)と(733)と(734)と(735)と(736)と(737)と(738)と(739)と(740)と(741)と(742)と(743)と(744)と(745)と(746)と(747)と(748)と(749)と(750)と(751)と(752)と(753)と(754)と(755)と(756)と(757)と(758)と(759)と(760)と(761)と(762)と(763)と(764)と(765)と(766)と(767)と(768)と(769)と(770)と(771)と(772)と(773)と(774)と(775)と(776)と(777)と(778)と(779)と(780)と(781)と(782)と(783)と(784)と(785)と(786)と(787)と(788)と(789)と(790)と(791)と(792)と(793)と(794)と(795)と(796)と(797)と(798)と(799)と(800)と(801)と(802)と(803)と(804)と(805)と(806)と(807)と(808)と(809)と(810)と(811)と(812)と(813)と(814)と(815)と(816)と(817)と(818)と(819)と(820)と(821)と(822)と(823)と(824)と(825)と(826)と(827)と(828)と(829)と(830)と(831)と(832)と(833)と(834)と(835)と(836)と(837)と(838)と(839)と(840)と(841)と(842)と(843)と(844)と(845)と(846)と(847)と(848)と(849)と(850)と(851)と(852)と(853)と(854)と(855)と(856)と(857)と(858)と(859)と(860)と(861)と(862)と(863)と(864)と(865)と(866)と(867)と(868)と(869)と(870)と(871)と(872)と(873)と(874)と(875)と(876)と(877)と(878)と(879)と(880)と(881)と(882)と(883)と(884)と(885)と(886)と(887)と(888)と(889)と(890)と(891)と(892)と(893)と(894)と(895)と(896)と(897)と(898)と(899)と(900)と(901)と(902)と(903)と(904)と(905)と(906)と(907)と(908)と(909)と(910)と(911)と(912)と(913)と(914)と(915)と(916)と(917)と(918)と(919)と(920)と(921)と(922)と(923)と(924)と(925)と(926)と(927)と(928)と(929)と(930)と(931)と(932)と(933)と(934)と(935)と(936)と(937)と(938)と(939)と(940)と(941)と(942)と(943)と(944)と(945)と(946)と(947)と(948)と(949)と(950)と(951)と(952)と(953)と(954)と(955)と(956)と(957)と(958)と(959)と(960)と(961)と(962)と(963)と(964)と(965)と(966)と(967)と(968)と(969)と(970)と(971)と(972)と(973)と(974)と(975)と(976)と(977)と(978)と(979)と(980)と(981)と(982)と(983)と(984)と(985)と(986)と(987)と(988)と(989)と(990)と(991)と(992)と(993)と(994)と(995)と(996)と(997)と(998)と(999)と(1000)と(1001)と(1002)と(1003)と(1004)と(1005)と(1006)と(1007)と(1008)と(1009)と(1010)と(1011)と(1012)と(1013)と(1014)と(1015)と(1016)と(1017)と(1018)と(1019)と(1020)と(1021)と(1022)と(1023)と(1024)と(1025)と(1026)と(1027)と(1028)と(1029)と(1030)と(1031)と(1032)と(1033)と(1034)と(1035)と(1036)と(1037)と(1038)と(1039)と(1040)と(1041)と(1042)と(1043)と(1044)と(1045)と(1046)と(1047)と(1048)と(1049)と(1050)と(1051)と(1052)と(10									



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
法政大学	チャレンジ法政奨学金(入試出願前予約採用給付奨学金)	その他	入試出願前(11月)	用途を定めない経済的支援		以下の(1)~(7)の条件、すべてに該当する必要があります。 (1) 2023年度一般選抜(1日種入試、英語外部試験利用入試、A方式入試、大学入学共通テスト利用入試B方式)を受験する者。 (2) 日本国籍を有する者。または在住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者等。 (3) 卒業後、専攻(1年)・修士課程(卒業後)以外の専攻に在学中の専攻の出身者(通称制を除く)。 (4) 上記の学校を2023年10月卒業見込みの者または2022年10月以降卒業した者。 (5) 上記の学校に1年専攻の後に1年専攻の専攻に在学中の専攻の出身者(専攻平均成績が「B」以上である者。卒業見込みの場合は最終学年(前期)までの成績で公表。卒業した者は最終学年3学期(後期)までの成績で公表します。 (6) 文部科学省奨学金の後に給付奨学金に1年以上在学中の専攻の出身者(専攻平均成績が「B」以上である者。卒業見込みの場合は最終学年(前期)までの成績で公表。卒業した者は最終学年3学期(後期)までの成績で公表します。 (7) 文部科学省奨学金の後に給付奨学金に1年以上在学中の専攻の出身者(専攻平均成績が「B」以上である者。卒業見込みの場合は最終学年(前期)までの成績で公表。卒業した者は最終学年3学期(後期)までの成績で公表します。 ※父母それぞれ所得証明書(課税・非課税証明)の年収・所得を合算してください。 ※所得証明書(課税・非課税証明)は、申請時における最新のものを提出してください。 (7) 本学に入学を志す者。	給付奨学金	文系学部入学30万円(2年次以降20万円)(年額) 理工系学部入学43万円(1年次以降25万円)(年額)	4年間(継続条件あり)	200名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	新・法政大学100周年記念奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	1~4年生で、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者。	1~4年生で、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	文系学部20万円(年額) 理工系学部25万円(年額)	1年間	170名程度	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可	
	「開かれた法政2」スポーツ奨励金	在学中		その他	各分野で優秀な学生を奨励する制度	2~4年生で、スポーツの分野において優秀な成績をおさめた認められる者(原則として体育会に所属している者が対象)。すべてのスポーツが該当するとは限りません。	2~4年生で、スポーツの分野で優りた業績をあげた者または団体。	給付奨学金	年額2万円から40万円	1年間	採用条件を満たす者	保健体育センター	併用可	条件有り併用可	
	「開かれた法政2」学術・文化奨励金	在学中		その他	各分野で優秀な学生を奨励する制度	2~4年生で、学術・研究・ボランティア活動・文化・芸術・運動・スポーツ等の分野で優りた業績をあげた者または団体。	2~4年生で、学術・研究・ボランティア活動・文化・芸術・運動・スポーツ等の分野で優りた業績をあげた者または団体。	給付奨学金	30万円を上限(年額)	1年間	20名(団体)以内	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	「開かれた法政2」指定試験合格者奨励金	その他		その他	指定試験に合格した年度	指定試験予備試験・指定試験・国家公務員採用総合試験・教職生試験(全科目合格)、非理工試験、司法書士試験に合格した者。	指定試験予備試験・指定試験・国家公務員採用総合試験・教職生試験(全科目合格)、非理工試験、司法書士試験に合格した者。	給付奨学金	40万円	1年間	採用条件を満たす者	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	「L・U奨学金」L・Uキャリア・アップ奨励金	その他		その他	各分野で優秀な学生を奨励する制度	各分野で優秀な学生を奨励する制度	各分野で優秀な学生を奨励する制度	給付奨学金	5万円(年額)	1年間	採用条件を満たす者	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	「L・U奨学金」U学生スポーツ奨励金	在学中		その他	各分野で優秀な学生を奨励する制度	【体育会対抗】団体スポーツにおいて優れた成績をおさめた運動部等の団体 *団体競技の場合 全日本学生(大学)選手権レベル以上の大会で優勝又は準優勝又はベスト4の成績をおさめた団体 *個人競技における団体戦及び団体戦で種目別の場合 全日本学生(大学)選手権レベル以上の大会で優勝した団体 (注)すべてのスポーツが該当するとは限りません。	【体育会対抗】団体スポーツにおいて優れた成績をおさめた運動部等の団体 *団体競技の場合 全日本学生(大学)選手権レベル以上の大会で優勝又は準優勝又はベスト4の成績をおさめた団体 *個人競技における団体戦及び団体戦で種目別の場合 全日本学生(大学)選手権レベル以上の大会で優勝した団体 (注)すべてのスポーツが該当するとは限りません。	給付奨学金	25万円、50万円、100万円(年額)	1年間	採用条件を満たす団体	地域の制限なし	保健体育センター	併用可	条件有り併用可
	派遣留学奨学金	在学中			留学費用支援制度	3~4年生で応募・採用条件を満たす者。	3~4年生で応募・採用条件を満たす者。	給付奨学金	派遣先より70万円または100万円。半期留学は半額	1年間	採用条件を満たす者	地域の制限なし	グローバル教育センター	併用可	条件有り併用可
	法政大学学生会奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	給付奨学金	文系学部25万円を上限(年額) 理工系学部30万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	鈴木謙奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	50万円(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	「開かれた法政2」成績優秀者奨学金	入学後			特待生・成績優秀者	各学部の2~4年生の前期年度成績上位者、指名制。	各学部の2~4年生の前期年度成績上位者、指名制。	給付奨学金	30万円(年額)	1年間	300名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	「開かれた法政2」認定海外留学奨学金	在学中			留学費用支援制度	本学認定海外留学制による留学生として許可された者。	本学認定海外留学制による留学生として許可された者。	給付奨学金	30万円。半期留学は半額	1年間または半年	15名以内	地域の制限なし	グローバル教育センター	併用可	条件有り併用可
	法政大学グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金	在学中			留学費用支援制度	認定海外留学に決定した者のうち、海外一流大学の正規課程に入学許可・条件付入学許可を受けた者。	認定海外留学に決定した者のうち、海外一流大学の正規課程に入学許可・条件付入学許可を受けた者。	給付奨学金	50万円(条件付入学は25万円)。半期留学は半額。	1年間	30名	地域の制限なし	グローバル教育センター	併用可	条件有り併用可
	法政大学吉田英会奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	帰国生のための入試で入学した者のうち、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者。	帰国生のための入試で入学した者のうち、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	文系学部20万円(年額) 理工系学部25万円(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	SA(Sたが・アブロード)奨学金	入学後			留学費用支援制度	SA参加者(詳細は学部により異なる)	SA参加者(詳細は学部により異なる)	給付奨学金	学部及び留学先等により異なる	留学中(1回)	学部及び留学先等により異なる	地域の制限なし	それぞれの学部事務担当	併用可	条件有り併用可
	株式会社エイト・ユエ奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	文系学部20万円を上限(年額) 理工系学部25万円を上限(年額)	1年間	40名程度	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	藤田明奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	30万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	一般財団法人法政大学校友会奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	文系学部25万円を上限(年額)、理工系学部30万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	法政大学後援会クラブ奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	2~4年生で、学業成績が優りた者で、経済的援助が必要な者。	2~4年生で、学業成績が優りた者で、経済的援助が必要な者。	給付奨学金	25万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
	法政大学スポーツ奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	2~4年生で、学業成績が優りた者で、経済的援助が必要な者。	2~4年生で、学業成績が優りた者で、経済的援助が必要な者。	給付奨学金	20万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可
法政大学評議員・監事奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	1年次入学者で推薦状以外の出身の経済的援助が必要な自宅外通学生。	1年次入学者で推薦状以外の出身の経済的援助が必要な自宅外通学生。	給付奨学金	25万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可	
公益財団法人日本厚生文化復興財団記念奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	1年次入学者で経済的援助が必要な者。	1年次入学者で経済的援助が必要な者。	給付奨学金	25万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可	
桑田道子奨学金	入学後			用途を定めない経済的支援	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	2~4年生で、学業成績が優りた者で、教育上経済的援助が必要な者。	給付奨学金	25万円を上限(年額)	1年間	30名	地域の制限なし	学生センター庶生課	併用可	条件有り併用可	
産業科大学	産業科大学特別奨学生	在学中	2~最終学年	特待生・成績優秀者	2年生以上の学生のうち前年度の学業及び人物優秀な学生を表彰する制度です。継続奨学金の卒業については、指定された継続奨学金の成績に基づきます。特待生には賞状を授与し、前年としてその年度の授業料から最大25万円を減免します。	2年生以上の学生のうち前年度の学業及び人物優秀な学生を表彰する制度です。継続奨学金の卒業については、指定された継続奨学金の成績に基づきます。特待生には賞状を授与し、前年としてその年度の授業料から最大25万円を減免します。	免除・減免	最大2万円	年1回	専攻科 各学年 原則10名以内 継続奨学金 2名 原則10名以内 1、4年 原則2名以内	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可	
	産業科大学奨学金	在学中	1~最終学年	用途を定めない経済的支援	本学在籍中で ・人物・学業ともに優れている者 ・経済的理由で修学が困難な者	本学在籍中で ・人物・学業ともに優れている者 ・経済的理由で修学が困難な者	貸与奨学金	自宅通学者は独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金の額に相当する額 37,800円 自宅外通学者は独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金の7割に相当する額 44,800円	最短期間(卒業年度の終期まで)	特に定めなし	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用不可	
	山崎株式会社(製菓技術グループ)奨学金	在学中	3年次~5年次	入学費・授業料減免	3学業成績が優秀であり、かつ人物が優れていること。 2学業に在籍している学生で、3~5年生を対象とする。	3学業成績が優秀であり、かつ人物が優れていること。 2学業に在籍している学生で、3~5年生を対象とする。	免除・減免	25万円	在学中(1回)	毎年4名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用可	
	入試成績優秀者の授業料一部免除	入学手続時		入学費・授業料減免	前年度の業学科・前期業学科の受験において、学校推薦型選抜B、一般選抜(A方式、B方式、S方式)の入試試験成績優秀者に引し、前年度の授業料の一部を免除する。	前年度の業学科・前期業学科の受験において、学校推薦型選抜B、一般選抜(A方式、B方式、S方式)の入試試験成績優秀者に引し、前年度の授業料の一部を免除する。	免除・減免	授業料 500,000円	入学時のみ	学段推薦型選抜B 5名 一般選抜(A方式) 10名 推薦型選抜(C方式) 30名 一般選抜(S方式) 10名	地域の制限なし	アドミッションオフィス	併用可	併用可	
	冠奨学金	在学中	1~最終学年	用途を定めない経済的支援	本学の伝統を未来に引き継ぎ、医療に貢献する意欲のある学生	本学の伝統を未来に引き継ぎ、医療に貢献する意欲のある学生	給付奨学金	月額3万円・年間36万円	採用年度(1年間(2年))	1名	地域の制限なし	学生支援部	併用可	併用不可	
武蔵大学	武蔵大学別奨学金	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	既定の専修単位を満たし、かつ成績・人物優秀の者	既定の専修単位を満たし、かつ成績・人物優秀の者	給付奨学金	年額12万円	1年間	学部・学年により採用人数が異なる(年間55名)	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	併用可	
	武蔵大学給付奨学金	随時		学費支援	成績・人物優秀・経済的援助が必要な専攻科生	成績・人物優秀・経済的援助が必要な専攻科生	給付奨学金	年額20万円(春学期10万円、秋学期10万円)	1年間	人数制なし	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	併用可	
	武蔵大学提携教育ローン金利補助奨学金	在学中		学費支援	本学が指定する信販会社より、学費等の納付を目的として提携教育ローンを利用し、当該年度中にそのローン金利を支払った者	本学が指定する信販会社より、学費等の納付を目的として提携教育ローンを利用し、当該年度中にそのローン金利を支払った者	給付奨学金	協定奨学金	1年間	年間約50名	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	併用可	
	武蔵大学学生留外研修奨学金	在学中	2年生~4年生	留学費用支援制度	協定留學生	協定留學生	給付奨学金	①留学期間 武蔵大学の授業料が免除となる場合 ①前期留学期間 武蔵大学の前期授業料の1/2相当額を給付 ②中期留学期間 武蔵大学の中期授業料の1/2相当額を給付 ③後期留学期間 武蔵大学の後期授業料の1/2相当額を給付 また、留学期間の年間授業料が武蔵大学の年間授業料を超える場合、その差額分について武蔵大学の年間授業料の1/2相当額を給付して学業を支援する。	1年間	年間30名程度	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	条件有り併用可	
	武蔵大学学生海外研修奨学金	在学中		研修支援制度	学生海外研修生	学生海外研修生	給付奨学金	年額50万円(限定期)	1年間	年間5名程度	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	条件有り併用可	
	武蔵大学地方学生奨励奨学金	在学中	2年生~4年生	学費支援 その他	経済的支援および地方との連携を強化し、優れた人材の育成に資することを目的とする	地方出身で既定の専修単位を満たし、かつ成績・人物良好の者	給付奨学金	年額10万円	1年間	2年生以上の各学年15名(学部別・ブロック別)	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	併用可	
	武蔵大学課外活動奨励奨学金	在学中		課外活動支援制度	①留学期間 武蔵大学の授業料が免除となる場合 ②前期留学期間 武蔵大学の前期授業料の1/2相当額を給付 ③中期留学期間 武蔵大学の中期授業料の1/2相当額を給付 ④後期留学期間 武蔵大学の後期授業料の1/2相当額を給付 また、留学期間の年間授業料が武蔵大学の年間授業料を超える場合、その差額分について武蔵大学の年間授業料の1/2相当額を給付して学業を支援する。	①留学期間 武蔵大学の授業料が免除となる場合 ②前期留学期間 武蔵大学の前期授業料の1/2相当額を給付 ③中期留学期間 武蔵大学の中期授業料の1/2相当額を給付 ④後期留学期間 武蔵大学の後期授業料の1/2相当額を給付 また、留学期間の年間授業料が武蔵大学の年間授業料を超える場合、その差額分について武蔵大学の年間授業料の1/2相当額を給付して学業を支援する。	給付奨学金	①留学期間 年額20万円(限定期) ②前期留学期間 年額20万円(限定期) ③中期留学期間 年額30万円以内	1年間	①年間1名程度 ②年間20名程度 ③年間1名程度	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	併用可	
	武蔵大学白雉奨学金	在学中	2年生~4年生	学費支援	2年生以上のひとり親世帯等の学部学生で、成績良好な者	2年生以上のひとり親世帯等の学部学生で、成績良好な者	給付奨学金	年額20万円	1年間	年間10名以内	地域の制限なし	学生支援センター 学生生活課	併用可	併用可	
	五島育英基金奨学金	在学中	在学中 学部2~4年生 4月締切	特待生・成績優秀者	2年生以上の学生で、学業成績・人物ともに優秀な学生(公費せ)	2年生以上の学生で、学業成績・人物ともに優秀な学生(公費せ)	給付奨学金	100,000円	1回/年	各学科、各学年 1名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
	東京都市大学東洋派・源平奨学金	在学中	学部 1年生~4年生 前期4月締切 後学期10月締切	学費支援	在学中に授業料負担者が病気や災害等により死亡、あるいはその事故が原因で後遺障害により、授業料納付に十分な収入が得られず修学が困難な学生	在学中に授業料負担者が病気や災害等により死亡、あるいはその事故が原因で後遺障害により、授業料納付に十分な収入が得られず修学が困難な学生	給付奨学金	半期授業料全額または一部相当額	①1回/半期 2学期に1回限り ②授業料へ充当するため本人支給なし	30名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
東京都市大学海外研修支援委員会貸与制度	在学中	学部 1年生~4年生 1月締切	研修支援制度	海外での学業・研修等へ参加意欲は旺盛だが、経済的にその費用の支出が困難で参加する学生	海外での学業・研修等へ参加意欲は旺盛だが、経済的にその費用の支出が困難で参加する学生	貸与奨学金	必要経費一部相当額。審査あり(上限30万円)		海外での学業・研修等参加費	30名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
東京都市大学後援会緊急奨学金制度	在学中	学部 1年生~4年生 前期6月締切後学期11月締切	学費支援	後援委員会(家計支持者)の不慮の死亡等により学業が急変し、学業を継続することが困難な学生	後援委員会(家計支持者)の不慮の死亡等により学業が急変し、学業を継続することが困難な学生	貸与奨学金	半期授業料全額		①1回/半期 2学期に1回限り 2学期10月(募集要項を参照)	30名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
地震等災害における学費等減免	随時		入学費・授業料減免	修業科有資格者が地震等の大規模自然災害を受け、学費等の納入が困難な学生 なお、事由発生から1年以内	修業科有資格者が地震等の大規模自然災害を受け、学費等の納入が困難な学生 なお、事由発生から1年以内	免除・減免	授業料全額(1回)半額免除(被災状況による。期間は1年限り)	1年間	30名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可		
東京都市大学創始特待生	入学手続時		特待生・成績優秀者	一般入試(前期)の各学部の成績上位者	一般入試(前期)の各学部の成績上位者	免除・減免	1年次から4年間の授業料を全額免除(入学費、後援委員会および校友会幹事費分納金は除く)	4年間(審査あり)	30名	地域の制限なし	入試センター	条件有り併用可	併用可		
東京都市大学創華奨学金基金奨学金	在学中	学部1年生~4年生 6月締切	学費支援	都市生活学部および人間科学部に在籍する1年生~4年生のうち、勉学意欲があり、かつ経済的事由により修学が困難な学生	都市生活学部および人間科学部に在籍する1年生~4年生のうち、勉学意欲があり、かつ経済的事由により修学が困難な学生	給付奨学金	授業料一部相当額		①1回/半期 2学期に1回限り 2学期10月(募集要項を参照)	30名	地域の制限なし	学生支援センター	併用可	併用可	
東京都市大学オーストラリアプログラム(TAP)奨学金制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	一般入試(前期)の成績が優りた者で本学に入学し、かつ東京都市大学オーストラリアプログラムに参加する学生。	一般入試(前期)の成績が優りた者で本学に入学し、かつ東京都市大学オーストラリアプログラムに参加する学生。	給付奨学金	TAP参加費用(90万円)全額免除		1回限り(参加費用免除を除く)	4年 入学者のうち20名程度	地域の制限なし	国際支援センター	併用可	併用可	
五島育英基金奨学金	在学中	入学後(TAP参加)以外(対象者となる)	特待生・成績優秀者 その他	TAP留学期間の成績、英語能力テスト結果等による成績上位者	TAP留学期間の成績、英語能力テスト結果等による成績上位者	給付奨学金	30万円	1回限り	年間 最大20名	1回限り	国際支援センター	併用可	併用可		
武蔵野大学	武蔵野大学成績優秀奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援	2年生以上で前年度の成績が特に優秀な者	2年生以上で前年度の成績が特に優秀な者	給付奨学金	年額200,000円	1年間	2023年度新設	地域の制限なし		併用可		
	武蔵野大学活学奨学金	入学後		学費支援	学業・人物ともに優秀で、学業伝達を志す者	学業・人物ともに優秀で、学業伝達を志す者	給付奨学金	年額500,000円以内	1年間	13名(2021年度実績)	地域の制限なし		併用可		
	武蔵野大学高峰大蔵経記念奨学金	入学後		学費支援	学業・人物ともに優秀な者	学業・人物ともに優秀な者	給付奨学金	年額240,000円以内	1年間	1名(2021年度実績)	地域の制限なし		併用可		
	武蔵野大学教育ローン・科学補助奨学金	入学後		学費支援	本学指定の金融機関教育ローンを利用し、学費を完納した者	本学指定の金融機関教育ローンを利用し、学費を完納した者	給付奨学金	利用前年額500,000円以内	1年間	1名(2021年度実績)	地域の制限なし		併用可		
	武蔵野大学後援会家計急変奨学金	入学後		学費支援	在学中に後援会加入の保護者等の学費支援者の死去等による家計急変の急変がある者	在学中に後援会加入の保護者等の学費支援者の死去等による家計急変の急変がある者	給付奨学金	半期授業料相当額の範囲内	1年間	4名(2021年度実績)	地域の制限なし		併用可		
	武蔵野大学長崎経済派遣奨学金	入学後		学費支援	協定留學生または経済留學生で、学業・語学レベルが特に優秀な者	協定留學生または経済留學生で、学業・語学レベルが特に優秀な者	給付奨学金	学費全額または半額	1年間	1名(2021年度実績)	地域の制限なし		併用可		
	武蔵野大学課外活動奨学金	入学後		学費支援	全国大会等で優秀な成績を挙げ、さらなる活躍が期待できる者	全国大会等で優秀な成績を挙げ、さらなる活躍が期待できる者	給付奨学金	年額100,000~300,000円	1年間	2023年度新設	地域の制限なし		併用可		
	武蔵野大学申請型奨学金制度	学校出願時		学費支援	合格発表時にあわせて貸付が決定、本学の指定した入試区分への出願時に、申請型奨学金制度申込書を出した者の中から入試成績等により審査	合格発表時にあわせて貸付が決定、本学の指定した入試区分への出願時に、申請型奨学金制度申込書を出した者の中から入試成績等により審査	給付奨学金			最大で4年間(進学率は最大6年間)の授業料全額	115名(2021年度実績) *年度毎に締結審査あり	地域の制限なし		併用可	
	武蔵野大学予約型奨学金制度「2050年のあなたへ。奨学金」	その他		申請開始:9月(出願前)	学費支援	経済的理由により修学困難な一橋三橋以外の高校出身者	経済的理由により修学困難な一橋三橋以外の高校出身者	給付奨学金	年額500,000円以内	1年間	2023年度新設	地域の制限なし		併用可	
	武蔵野大学家計奨学金	入学後			学費支援	優秀な学生で、経済上困難な者	優秀な学生で、経済上困難な者	給付奨学金	年額200,000円	1年間	2023年度新設	地域の制限なし		併用可	
	武蔵野大学期次経済支援奨学金	入学後			学費支援	学業成績が優秀で急な経済的理由により修学困難な者	学業成績が優秀で急な経済的理由により修学困難な者	給付奨学金	120,000円	1年間	2023年度新設	地域の制限なし		併用可	
	部活動主任伝言法研究会武蔵野大学奨学金	入学後			学費支援	学業・人物ともに優秀な者	学業・人物ともに優秀な者	給付奨学金	120,000円						



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否		
武蔵野美術大学	武蔵野美術大学奨学金	入学後		入学金・授業料減免		対象学年: 学部、大学院(修士課程) 全学年 資格・条件: 人物及び学力が優秀であり、かつ経済上の事情により修学することが困難であると認定された者	給付奨学金	学部: 30万円または25万円 大学院(修士課程): 50万円	1年間	学部: 30万円50名、25万円20名 大学院(修士課程): 50万円20名	地域の制限なし	学生支援グループ 学生生活チーム	条件有りで使用可	併用可		
	地方出身学生支援奨学金	入学後		入学金・授業料減免		対象学年・学部: 全学年 資格・条件: 経済的理由により修学が困難で、かつ出勤時点で保証人が過去3年以上継続して、島しょ部を数(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県以外)の都府県に在住している者	給付奨学金	30万円	1年間	10名	地域の制限なし	学生支援グループ 学生生活チーム	併用可	併用可		
	武蔵野美術大学校友会奨学金	在学中	学部4年生	その他	卒業制作支援	対象学年: 学部4年生 資格・条件: 勉学に熱意を持つ学部4年生卒業制作企画により選考	給付奨学金	10万円	1年間	16名	地域の制限なし	校友会事務局	併用可	併用可		
明治学院大学	ペーン給付奨学金	在学中	年2回、学期毎に申請。(新規募集は秋学期のみ。)	学費支援		毎年度秋学期に募集し、秋学期出席者については翌年度春学期の更新申請を1回付ける。 出願資格は以下の通り。 ①経済的理由が原因であると認められる学生で、修学上支障のない健康状態を有する者。 ②日本学生支援機構奨学金と併用可。その他の奨学金を受給している者。または、当該年度、日本学生支援機構奨学金(2年次生以上は第2奨学金)を出願した者。その他の奨学金を受給しなかったが収入減となることとなる者。 ③原則として在学年度の標準単位を修得している者。ただし、1年次と編入生は、入学年度に限り標準単位にとられない。 ④奨励奨学金の申請者。ただし、編入生は、入学後3年間出席することができず、その年度に標準単位を出願できない者。	給付奨学金	給付額は年度により変動。 ※2022年度実績は250,000～110,000円	年2回、学期毎に一時金として給付。	2022年度採用人数: 601名(延べ人数)	地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで使用可	併用可		
	認定留学(長期)奨学金	在学中	秋学期出発の場合は6月頃、春学期出発の場合は1月頃に申請受付。	留学費用支援制度		外国認定留学をする学部学生。 ※ただし、短期留学(留学期間が2ヵ月未満)による者は除く。	給付奨学金	1学期につき25万円(ただし一部の留学プログラムについては金額が異なる)。	学期毎に変給(本学での学期が1学期となる学期について給付)。	2022年度採用人数: 163名(延べ人数)	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可		
	小野道雄基金(奨学金)	在学中	対象は3年次以上、6月頃に申請受付。	その他	学業奨励	①将来、社会福祉または心臓学関連領域の職業に従事することを志している3年次以上の者。 ②キリスト教であること望ましい。	給付奨学金	給付額は年度により変動。 ※2022年度実績は90,000～100,000円	年に1回、一時金として給付。	2022年度採用人数: 6名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可		
	明治学院ぶどうの木奨学金基金(奨学金)	在学中	1～4年次、4月上旬、10月中旬に申請受付。	学費支援 用途を定めない経済的支援		キリスト教系奨励(教養で収益している履修の秋学期や春学期)が履修する1年次以上、在学4年以内の者。	給付奨学金	春・秋各学期15万円(自宅滞学でいずれは25万円)を上限とする。	学期毎に一時金として給付。	2022年度採用人数: 10名	地域の制限なし	学院長室企画課	条件有りで使用可	条件有りで使用可		
	学業優秀賞	在学中	8月上旬に対象者へ通知。	特待生・成績優秀者		①2年次以上、最上位を有する者。 ②各学年学業成績上位者を指す。	給付奨学金	20万円、10万円または7万円を一括で給付。	年1回、一時金として給付。	2022年度採用人数: 112名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可		
	白倉の丘奨学金	その他	受験前の11月に申請受付。	入学金・授業料減免		【以下は2024年度募集での申請資格】 次の①～⑥のすべての条件を満たしている者。 ①2024年度一般入試試験(全学部)に合格(合格・合格)。大学入学共通テスト利用入試試験(前期・後期)で本学を受験する者。 ②日本国籍を有する者。または永住者、定住者、日本人(永住者・定住者)の配偶者・子である者。 ③東京府(東京都)に居住する者(申請・申込用紙に提出する住所は申請時点の住所とする。) ※ 東京府以外の居住する者(申請・申込用紙に提出する住所は申請時点の住所とする)は、申請可能であるが、入学後1年間は東京府に転居する必要がある。 ④上記の条件を満たす者(修了)した者または2024年3月に卒業(修了)見込みの者で、本学へ入学後4年間で入学後から進学する予定の者。 ⑤上記の条件を満たす者(申請・申込用紙に提出する住所は申請時点の住所とする)は、申請可能であるが、入学後1年間は東京府に転居する必要がある。 ⑥父母(※1)の年収について、市区町村が発行する「令和4年度(令和4年分)所得証明書」に記載された「所得金額」が、父母合計で600万円(※1以下である者(※2)) ⑦ 父母が共にいない場合は、父母に代わって養育費を支えている方とします。 ※1 ご参考までに、「所得金額」が父母合計で600万円は、父母共に収入が給付のみであれば、収入金額(課税額)の父母合計で800万円～900万円が目安となります。 ※2 以下の「または」に該当する場合は申請前のご相談ください。 ア)2022年1月から10月の間に(東京都)に居住したことがあり、2022年分の所得金額(令和3年度所得証明書)に記載されている所得金額が例年と比べて高額となっている場合、(そのために上記⑥の所得基準を超えている場合も含みます。) イ)2022年1月以降に(東京都・札幌市・札幌市)より収入が減少しており、2023年分の所得金額(令和3年度所得証明書)に記載されている所得金額より低額となったことが確認できる場合。	給付奨学金 免除・減免	奨学金金額: 年額40万円 給付の方法: 年2回、春学期と秋学期それぞれに20万円を授業料と相殺します。 ※入学年度の春学期については、一旦通常の標準納入いただいた後、6月中旬(予定)に本学から20万円を金融機関口座への振込にて返金します。 ※入学年度の秋学期および2年目以降については、当該学期の学納金納入時に、通常の額から奨学金の分を差し引いた金額納入してください。 ※高等教育の修学支援新制度を受給中の場合は、文部科学省の授業料減免額と白倉の丘奨学金の合計額について、当該学期の授業料と施設費の合計額を超えないものとします。	原則として4年回、学期毎に学納金から相殺にて支給。ただし、2学期目以降については、学業成績・家計状況等に基いて増減の可否を審査します。	2022年度採用人数: 54名	地域の制限なし	学生部学生課	条件有りで使用可	併用可		
	カリキュラム留学生奨学金	在学中	原則、2年次の春学期に申請受付。	留学費用支援制度		経済学国際経営学科と法学部グローバル法学科において、学部の必修プログラムで留学期に留学する学生。	給付奨学金	25万円を一括で給付。	年1回、一時金として給付。	2022年度採用人数: 241名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可		
	被災者学費減免特別措置	在学中	災害救助法適用時に随時。	被災者資金支援		災害救助法適用地域またはその周辺地域において、学費または父兄に代わって家計を支えている方が被災した学部学生。	免除・減免	被害の程度条件を満たした者について、被災の程度に応じて以下のいずれかを減免。 ・学納金の全額(入学金を含む) ・授業料の全額 ・授業料と施設費についてそれぞれ半額減免期間(原則2学期間)。	学期毎に、学納金等を減免。	2022年度採用人数: 30名(延べ人数)	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可		
	MGアクション・チャレンジ奨学金 タイプB(届け出し支援)	在学中	原則、最長修業年以内(休学期間除く)であることが条件。	課外活動支援制度		<対象者> □社会学部中などの者は対象外。 □原則、最長修業年以内(休学期間除く)であることが条件。  <対象とするもの> ・活動を通じて実現したいことが明確であり、その目標を達成するうえで基礎となる活動 ・Do for Others(他者への貢献)に基づいた社会貢献活動 ・正課の範囲を超える活動(「卒業論文」を学部新設奨励や学余などの外部に発表する目標がある場合や「卒業研究」が深くまで活動の一つであり、それ以外にもた前主活動である場合など) 例) ・〇〇賞、コンテストなどへの出場および入賞を目指して活動を行っている ・地域・全国、国際的なボランティア活動、学内外での発表を目指している ・地域のまちおこし、まちづくり事業の企画・実施を継続している ・150名(申請可能な関係目標)に基づいた活動 ・〇〇に関するオンライン・オフラインでの発信・開催を継続している  <対象とならないもの(例)> ・自身のキャリアアップのみを目的とした勉強や活動(資格取得など) ・正課の範囲内の活動(「卒業論文」卒業研究、修、授業の一環に該当する活動) ・外部の団体に所属して、その一環とみなされる活動 ・審判目的とみなされる活動 ※学内からの補助・助成(奨励金・研究費)などの支援を受けている場合および学外の他団体等から助成等の支援を受けている場合も対象外。	給付奨学金	実施企画の内容により、決定。(年1回支給/上限あり)			年1回、一時金として給付。	個人・団体ともに実施企画の内容により、決定。	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有りで使用可
	MGアクション・チャレンジ奨学金 タイプA(経済支援)	在学中	原則、最長修業年以内(休学期間除く)であること。	用途を定めない経済的支援 課外活動支援制度		<対象者> □社会学部・留学期中などの者は対象外。 □原則、最長修業年以内(休学期間除く)であること。 また、以下の要件を全て満たしていること。  ①本学学部生のうち、スポーツ・学術・文化系(ボランティア/国際交流等も含む)の活動において、すでに継続して取り組みを行っている、あるいはこれらに継続して取り組むことと意欲している者(例)、経済的援助が必要であると認められる者 ※本学の公認団体の所属の有無は問わない ※所属するクラブ/サークル活動の範囲内の活動でも可 ※卒業後進学先を希望なし、団体での就職は不可  ②優れた活動計画を立て、主体的に課外活動に取り組み、学内外で本学の教育理念「Do for Others(他者への貢献)」に基づいた活躍が期待できる者  ③修学上支障のない健康状態を有する者  ④「高等教育の修学支援新制度(日本学生支援機構給付奨学金・授業料減免)」を現在受給している者 または、現時点で上記制度の受給資格が、本奨励金の募集開始日(以下に記述)に届かない場合、入学後1年間は上記制度に該当している者 ※上記制度が不採用となった場合、本奨励金の採用となった後でも、給付を取り消すことがあります。事前に了承の上、お断りください。  ⑤2年次生以上については、在学年度の標準取得単位数(卒業単位数を最長修業学期数の中で割って、少数点を切り上げた数値×前期終了時点の学期数)を取扱っていること。1年次生については、今年度春学期終了時点で標準取得単位数以上の取得が確約できること ※今年度編入生は2年次生については、1年次生と同基準とする。	給付奨学金	5万円(注:採用者数により変動)			原則、年1回、一時金として給付。 当該年度のみ、8月初旬に半額分支給し、冬学期成績優秀者のみに成績優秀者を基に継続審査を行う。その結果、審査が通った学生のみの増額支給とする。	若干名 ※2022年度実績: 7名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的ものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
明星大学	明星大学勸学奨学金	在学中	1~3年生	学費支援 その他	人材育成	①以下をいずれかに該当する者 ①在学第1~3年生 ②在学大学院修士課程・博士前期課程1年生 ③在学大学院博士後課程1~2年生 ※在学年度、修了年度、通数教育部の方は対象にはなりません。 ④学内事務局の業務体制に対し、就業に行つていただける者。	給付奨学金	年額30万円(月額3万円)	1年間(最長3年間継続可)	2023年度新規採用47名(勤労学生全体で10名程度)	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可	
	明星大学防災被災学生等の特別支援制度	在学中	1~4年生 ※自然災害の災害が発生してから1年以内の者に対して適用 ※在職時に被災しその後卒業した学生等については、卒業の直前1ヶ月以内に申請を行うことを条件に適用	被災者資金支援		以下を全て満たす者 (1)在学学部学生及び在籍大学院生 (2)災害救助法適用地域に学費支弁者が居住している者 (3)以下のいずれかに該当する者 (ア)学費支弁者が災害で死亡した場合 (イ)学費支弁者の居住する世帯が、災害により全壊又は大半壊半壊の被害を受けたと認定された者 (ウ)学費支弁者の居住する世帯が、災害により半壊半壊又は半壊の被害を受けたと認定された者 (エ)学費支弁者の居住する世帯が、災害により全壊半壊の被害を受けたと認定された者 (オ)学費支弁者の居住する世帯が、災害により半壊半壊の被害を受けたと認定された者 (カ)学費支弁者の居住する世帯が、災害により全壊半壊の被害を受けたと認定された者 ※入学金の給付は、既に该校に在している学生等には適用されない。	給付奨学金	授業料等学納金1年分相出の10分の1から1年分相出額(入籍前に被災した場合は、入学金相当額も給付) 申請資格③アからオに該当した場合 ア)入学金及び授業料等学納金1年分相当額 イ)入学金及び授業料等学納金1年分相当額 ウ)入学金及び授業料等学納金1年分相当額の半額 エ)入学金及び授業料等学納金1年分相当額の5分の1 オ)前記アからエに該当する学費支弁者1名分相当額の10分の1。	原則として半年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可	
	明星大学特待生奨学金(学部)	在学中	2~4年生		特待生・成績優秀者 学費支援		以下を全て満たす者。 (1)2年生以上の在学学部学生。 (2)学業・人物ともに特に優れている者。 ※応募はしません。成績等により審査し、対象者へ大学より通知します。	給付奨学金	50万円	毎年度	40名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学スポーツ・文化活動特別推薦奨学金	その他		総合型選抜1期入方式又はスポーツ文化活動優秀者枠に出席することで自動エントリー	学費支援 課外活動支援制度		以下を全て満たす者。 (1)在籍学部学生 (2)総合型選抜1期入方式又はスポーツ文化活動優秀者枠に出席した入学者 (3)大学の学業上の体育会又は文化活動に所属する学生実団体のうち、学業が指定するクラブに所属する者で特に優れた能力を有し、将来活躍が期待される者。	給付奨学金	20万円または30万円	330万円 4年間(毎年審査あり) 200万円 毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学特別奨学生奨学金	その他		一般選抜1期入方式又はⅡ期入方式に出席することで自動エントリー	特待生・成績優秀者 学費支援		以下を全て満たす者。 (1)在籍学部学生。 (2)一般選抜1期入方式又はⅡ期入方式において成績上位で合格し、明星大学特待生奨学金制度の適用を受け、入学した者。	給付奨学金	130万円 200万円	毎年度	最大30名程度	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学学費支援緊急奨学金(4年生枠)	在学中		4年生	学費支援		以下を全て満たす者。 (1)在学学部4年生で、直前1年以内に以下の事由(※)が発生したことによって、家計の急激な変化(経済的困難)を併い、学費納入が困難となった者。 ※学費支弁者が在学中に死亡、失業(倒産・廃業を含む)、ただし自らの意思によるものに限る。・嫁喪・離婚(〇による離婚含む)により大幅な収入減が生じた場合。または学費支弁者が被災・後援・事故・障害により半年以上就労が困難となった場合。 (2)その他大学が指定する条件を満たす者。	給付奨学金	50万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学学費支援緊急奨学金(緊急対応枠)	在学中		1~4年生	学費支援		以下を全て満たす者。 (1)在学学部学生又は大学院生 (2)①のいずれかの理由により学費が必要し、収入が減少した者。 ①学費支弁者が在学中に死亡した者 ②学費支弁者が在学中に障害者手帳第1種または障害者手帳第2種を取得し、就労が困難となった者。 ③その他大学が指定する条件を満たす者。	給付奨学金	50万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学石岡奨学金	在学中		4年生	学費支援		以下を全て満たす者。 (1)在学学部4年生で、学業・人物ともに優秀な学生である者、かつ経済的支援を必要とする者。 (2)卒業後の就職先が決定している者。 (3)その他大学が指定する条件を満たす者。	給付奨学金	40万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学建築系小佐野奨学金	在学中		明星大学理工学部総合理工学工学科建築学系又は建築学部に在籍する4年生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		以下を全て満たす者。 (1)本学大学院学内推薦入学試験合格者で2024年4月より本学大学院へ進学が決定している、本学理工学部建築学系又は建築学部在学中の4年生。 (2)学業・人物ともに優秀である者。 ※応募はしません。成績等により審査し、対象者へ大学より通知します。	給付奨学金	20万円	毎年度	2名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学児童福祉奨学金	学校出願時			学費支援 入学金・授業料減免		以下を全て満たす者。 (1)申請時に児童養護施設に在籍している者、又は養子で、学業・人物ともに優秀な者である者。 (2)大学入学前受入利用選抜1期の出願時に本奨学金に申請をし、本学より採用通知を受け、かつ採用通知を受けた者。 ※応募はしません。成績等により審査し、対象者へ大学より通知します。	免除・減免	入学金の免除及び年間学費の半額を減免	4年間(継続審査あり)	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学奨励ファミリー奨学金	在学中		1年生~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援		以下を全て満たす者。 (1)在学学部学生で、兄弟姉妹が当該年度5月1日に明星大学学部又は明星中学校・高等学校に在籍(休学者は除く)する者。 (2)親片親その他の方法で兄弟姉妹と証明でき、かつ学費支弁者が同一者である者。	給付奨学金	申請者を除く、兄弟姉妹1人につき20万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
	明星大学特待生奨学金(内部進学)	在学中		4年生	特待生・成績優秀者 学費支援		以下を全て満たす者。 (1)本学大学院学内推薦入学試験合格者で、2024年4月より本学大学院(博士前期課程及び修士課程)へ進学が決定している本学在籍学部4年生 ※卒業生(後援者)を除く。 (2)学業・人物ともに特に優秀な者	給付奨学金	25万円	毎年度	12名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可
明星大学スポーツ活動等特別奨学金	入学後			入学金・授業料減免		次の何れかに該当する者 (1)オリンピック又はパラリンピックで活躍される競技において、世界大会レベルの競技会に日本代表として選出された者 (2)世界大会、オリンピックの競技会を主催している競技及びその他の競技のうち、次に定める競技において、世界大会レベルの競技会に日本代表として選出された者 ア)ラグビー イ)野球 ウ)フットボール エ)サッカー 1.その他理事長が定める競技等	免除・減免	学費の全額(資格を満たした学年の年度の翌年度まで)	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可	
明星大学における海外留学の奨学金(長期留学(交換・認定留学))	在学中			入学金・授業料減免		以下を全て満たす者。 【認定留学】 (1)在学学部学生及び在籍大学院生 (2)本学の学生が、本学の学術交流提携校、又は、教員でない研究科委員が留学先としてふさわしいと認められた海外の大学もしくはそれに相当する高等教育機関において、学業又は研究すること (3)その他大学が指定する条件を満たす者 【交換留学】 (1)在学学部学生及び在籍大学院生本学の学部又は大学院の通学課程の学生である者 (2)本学に1年以上在学している者 (3)その他大学が指定する条件を満たす者	免除・減免	入学金及び施設維持費を除く学費	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可	
明星大学における海外留学の奨学金(短期留学)	在学中			留費用支援制度		以下を全て満たす者。 (1)在学学部学生及び在籍大学院生 (2)国際教育センター主催の短期留学に参加する者 (3)成績が累積平均GPA値1.0以上及びTOEIC60以上の者 (4)留学の費用により経済的困難となった者 (5)その他大学が指定する条件を満たす者	給付奨学金	海外留学: 最大20万円 国内留学: 最大10万円	毎年度	40名程度	地域の制限なし	学生サポートセンター	併用可	併用可	
立教大学	自由の学費奨学金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)以外に所在する高等学校等出身で、経済的理由により本学への入学が困難な受験生に対し、入学後の経済支援を行うことを目的とした奨学金。 特に入社奨励生向けには5月中旬、一般入社奨励生向けには1月上旬に申請を受け付け、本学入学前に採用候補者を発表する。採用候補者が当該入社合格し入学し、入学後に所定の学費減免を行うことにより正式に支給される。	給付奨学金	文系学部 年額50万円 理系部 年額70万円	原則として4年間給付。ただし、学業成績および収入基準により継続審査を行う。	特別入社枠約100名、一般入社枠、大学入学共通テスト利用入社枠40名	地域の制限なし	学生部学生課	条件有り併用可	条件有り併用可	
	GLAP奨学金	学校出願時		用途を定めない経済的支援		グローバル・リベラル・アーツプログラム(GLAP)での学修を希望しながらも経済的理由により入学が困難な受験生に対し、入学後の経済支援を行うことを目的とした奨学金。 国際コース英語入試(GLAP)の出願期間中に申請を受け付け、入試合格発表と同日に採用結果を通知し、入学後に所定の手続きを行うことにより正式に正式に支給される。	給付奨学金	年額120万円	原則として4年間給付。ただし、学業成績および収入基準により継続審査を行う。	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	条件有り併用可	条件有り併用可	
	学部給与奨学金	在学中		学部1~4年次	用途を定めない経済的支援		経済的理由により留学者が困難な学部学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	文系学部 年額50万円 理系部 年額70万円 GLAP 年額100万円 ※グローバル・リベラル・アーツプログラム	毎年度	70名	地域の制限なし	学生部学生課	条件有り併用可	条件有り併用可
	大森利徳記念奨学金	在学中		学部1~4年次	用途を定めない経済的支援		経済的理由により留学者が困難な、関東地方以外の連邦出身で、出願時点で自宅外から通学している文系学部の学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額50万円	毎年度	6名	地域の制限なし	学生部学生課	併用不可	条件有り併用可
	学業奨励奨学金	在学中		学部2~4年次	特待生・成績優秀者		学業意欲、人物ともに優れた学生(GLAP)学生を除く)に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	給付奨学金	年額20万円	毎年度	60名以内	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	GLAP学業奨励奨学金	在学中		学部2~4年次	特待生・成績優秀者		学業意欲、人物ともに優れたグローバル・リベラル・アーツプログラム(GLAP)の学生に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	給付奨学金	年額20万円	毎年度	各学年2名以内	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	内藤昌尚奨学金	在学中		学部2~4年次	特待生・成績優秀者		学業意欲、人物ともに優れた学生に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。 学業奨励対象者およびGLAP学業奨励対象者を出発のうち、学業に最も優れている学生に支給する。	給付奨学金	年額50万円	毎年度	各学部1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	緊急給与奨学金	在学中		学部1~4年次	用途を定めない経済的支援		緊急事態発生時等から入学に対して経済的支援(入学金返還および授業料減免)を行うことを目的とした制度。 入学日当日から起って1年以内(発生した年度)に発生した自然災害に係る学業奨励適用地域出身者が対象。	給付奨学金	年額30万円	毎年度	8名程度	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	被災地(災害救助法適用地域)の入学者に対する経済支援制度	在学中		学部1年次	入学金・授業料減免 留費用支援制度		災害救助法適用地域からの入学者に対して経済的支援(入学金返還および授業料減免)を行うことを目的とした制度。 入学日当日から起って1年以内(発生した年度)に発生した自然災害に係る学業奨励適用地域出身者が対象。	免除・減免	入学金の返還および入学年度の学費を除く1年間の学費の1を減免	毎年度	奨励資格を満たす学生全員	地域の制限なし	学生部学生課	条件有り併用可	条件有り併用可
	松嶋幸三郎記念奨学金	在学中		学部2~4年次	課外活動支援制度		見聞を広め、深い教養を身につけることを目的とした抜群的な海外選抜の計画を持ち、学業・人物ともに優秀な学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額40万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	ポール・ラッシュ博士記念奨学金	在学中		学部1~4年次	課外活動支援制度		キャリアに基づき専攻活動に従事している、または従事しようとしている学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額70万円以内	毎年度	若干名	地域の制限なし	ボランティアセンター	併用可	条件有り併用可
	野口定男記念奨学金	在学中		学部1~4年次	課外活動支援制度		体育会に所属し、学業および体育会活動に強い意欲を持つ学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額5万円程度	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	吉原奨学金	在学中		学部1~4年次	課外活動支援制度		体育会に所属し、学業および体育会活動に強い意欲を持つ学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額5万円程度	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	大川又三郎記念奨学金	在学中		学部3年次	研究費支援		研究対象として広く金融に関する内容を取り上げる学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額30万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可
	ロザリー・レナード・ミッチェル奨学金	在学中		学部1~4年次	研究費支援		ジェンダーに関する活動・研究をした、または計画している学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	ジェンダーフォーラム年報掲載論文対象 年額5万円または10万円 活動・研究対象 年額20万円以内	毎年度	若干名	地域の制限なし	ジェンダーフォーラム	併用可	併用可
	グローバル奨学金	在学中		学部1~4年次	留費用支援制度		経済的理由により立教大学が実施する海外留学プログラムへの参加費用および留学中の学費の納入が困難な学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	所定の支給基準により、年額10万円~60万円	毎年度	基準を満たした学生全員	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	校友会成績優秀者留学支援奨学金	在学中		学部2~4年次	特待生・成績優秀者 留費用支援制度		立教大学が実施する海外留学プログラムに参加する学業成績優秀な学生を対象に、留学中の学業を奨励し、卒業後に立教大学校友会の発展に寄与する人材に成長することを目的として支給する奨学金。	給付奨学金	年額20万円	毎年度	50名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	しょうがいし業奨励奨学金	在学中		学部1~4年次	用途を定めない経済的支援		しょうがい、経済的理由のある学生に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	給付奨学金	年額20万円	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	竹田隆三神父奨励金	在学中		学部1~3年次	用途を定めない経済的支援		立教大学各専攻のしょうがいのある学生・生徒・児童を対象として、その学業支援活動を目的として支給する奨学金。	給付奨学金	年額10万円程度	毎年度	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	高松孝治記念奨学金	在学中		学部3~4年次	特待生・成績優秀者		学業成績、人物ともに優秀なキリスト教科目の学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額50万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	経済学部開設100周年記念奨学金	在学中		学部1~4年次	その他	優れた論文提出者に支給	将来性のある経済学部学生の研究奨励を目的として、優れた論文提出者に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額30万円または20万円	毎年度	3名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
	東京校理士会奨励金	在学中		学部1~4年次	資格取得支援制度		在学中に取士試験の受験科目に合格した経済学部の学生に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	給付奨学金	年額50万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可
理学部創設30周年記念奨学金	在学中		学部1~4年次	その他	優れた論文提出者に支給	学業成績が特に優れた、学業意欲の旺盛な法学部の学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額30万円、20万円または10万円	毎年度	3名以内	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
森岡奨学金	在学中		学部3年次	特待生・成績優秀者		学業成績が特に優れた、学業意欲の旺盛な法学部の学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額60万円	2年間給付	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
鶴引奨	在学中		学部2年次	特待生・成績優秀者 留費用支援制度		学部3年次において立教大学派遣留学制度により協定校に留学する法学部2年次に対し、学業奨励を目的として支給する奨学金。	給付奨学金	年額10万円	毎年度	1名	地域の制限なし	法学部	併用可	併用可	
田中孝奨学金(賞)	在学中		学部1~4年次	用途を定めない経済的支援 留費用支援制度		夏日本次賞で受賞したコミュニケーション福祉学部の学生に対し、経済奨励を目的として支給する奨学金。日本学生支援機構奨学金を受給した出身している者が対象。	給付奨学金	年額60万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可	
田中孝奨学金(消費費)	学校出願時			学費支援 用途を定めない経済的支援		自衛隊入隊によってコミュニケーション福祉学部への入学を希望しながらも経済的理由により入学が困難な受験生に対し、入学後の経済的支援を行うことを目的とした奨学金。	給付奨学金	学費・その他の納入金額相当額 選考において特に支援が必要と認められた場合は、別途、学費奨励金として年額80万円を支給	原則として4年間給付。ただし、学業成績および収入基準により継続審査を行う。	若干名	地域の制限なし	学生部学生課	条件有り併用可	条件有り併用可	
校友会奨学金	在学中		学部3年次	特待生・成績優秀者		卒業後の目覚ましい活躍が期待され、学業成績が優秀な学生、あるいは学業成績が良好かつ課外活動で顕著な成果を収めた学生に対し支給する奨学金。 学業成績は出願し、1年次に入社する。	給付奨学金	年額50万円	毎年度	10名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	併用可	
田中孝奨学金	在学中		学部2~3年次	課外活動支援制度		アジア諸国のボランティア経験やNPO/NGOを訪問し、活動または研究を通して見聞を広め深い教養を身につけることを目的とした海外選抜計画を持ち、かつ学業・人物ともに優秀な学生に対し支給する奨学金。	給付奨学金	年額40万円	毎年度	1名	地域の制限なし	学生部学生課	併用可	条件有り併用可	











大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否
白梅学園大学	白梅学園大学・白梅学園短期大学 給付奨学金	その他	入学前採用と在学採用を行う。入学前採用は、入学試験要項に定められた要項を行う。在学採用は4月に募集する。	学費支援	1年～4年生の全学年学生対象 【目的】学習意欲が豊か(経済的理由により)学習に困難を抱えるものに対して、学納金の一部(施設費)を給付し、修学を支援することを目的とします 【対象】経済的理由が基礎的要素を満たしていること	1年～4年生の全学年学生対象	給付奨学金	年額30万円	1年間 毎年年度採用のため、年度ごとに申請が必要です。	30名	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可
	白梅学園大学・白梅学園短期大学 特待生奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者	白梅特待生チャレンジャー入試の合格者をもって成績上位より、授業料の全額相当額1名、半額相当額3名を最大4年間で給付します。	白梅特待生チャレンジャー入試の合格者をもって成績上位より、授業料の全額相当額1名、半額相当額3名を最大4年間で給付します。	給付奨学金	①授業料全額相当額 1名 ②授業料半額相当額 3名	最大4年間		地域の制限なし	学生課	条件有り併用可	併用可
東京未来大学	特待生制度	入学後		特待生・成績優秀者 奨励制 入学金・授業料減免	対象学部:ことし心理学部、モチベーション行動科学部 対象学年:入学時の入学 出願資格:特待生対象の入試基準に準ずる	対象学部:ことし心理学部、モチベーション行動科学部 対象学年:入学時の入学 出願資格:特待生対象の入試基準に準ずる	免除・減免	年額10万円、30万円、50万円のいずれか	最長4年間(毎年年度成績優等者あり)	若干名	地域の制限なし	エンロー-マネジメント局	併用可	併用可
	みらい奨学金	在学中	ことし心理学部、モチベーション行動科学部に在学中2年生～4年生	学費支援	対象学年:ことし心理学部、モチベーション行動科学部に在学中2年生～4年生 条件:学業優秀であるに限らず、経済的理由により学費の支援が困難と認められた者	対象学年:ことし心理学部、モチベーション行動科学部に在学中2年生～4年生 条件:学業優秀であるに限らず、経済的理由により学費の支援が困難と認められた者	免除・減免	年10万円の授業料減免	1年間(継続審査は実施せず毎年選抜)	若干名	地域の制限なし	エンロー-マネジメント局 奨学金担当	併用不可	併用不可
こども教育宝仙大学	こども教育宝仙大学奨学金	在学中		学費支援	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	(1)学業成績が優秀で、将来就職・進学面について志望する2～4年生 (2)大学の活動に積極的に参加し、学業および生活面において他の種別となる2～4年生 (3)経済的支援を必要とする2～4年生	給付奨学金	前年年度授業料の全額(60万円)/1/2相当額(40万円)/1/4相当額(20万円)/1/8相当額(10万円)のいずれか	1年間	若干名	地域の制限なし	学生厚生委員会	併用可	併用可
東京有明医療大学	東京有明医療大学授業料免除制度	在学中	1年生～4年生	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	①成績優秀者1年～4年生 -第1回一般選抜成績優秀者 -前年度定期試験(前・後学期)の必修科目に不合格科目がないこと -4年以内の卒業が望ましいこと -学業成績並びに主たる家計支持者及び従たる家計支持者の所得状況を勘案する (学社基準) ア給与所得 400万円以下 イ給与所得以外 150万円以下 給与所得以外の所得がある場合には上記に合算する その他、日本学生支援機構の定期採用(第二種奨学金)の基準を準用する 経済的理由(家計急変) -学業成績が優秀 -必修科目に不合格科目がないこと -4年以内の卒業が望ましいこと -主たる家計支持者及び従たる家計支持者及び従たる家計支持者の所得状況を勘案する (学社基準) ア給与所得 341万円以下 イ給与所得以外 355万円以下 給与所得以外の所得がある場合には上記に合算する その他、日本学生支援機構の定期採用(第二種奨学金)の基準を準用する	①成績優秀者1年～4年生 ②経済的理由(家計急変) -学業成績が優秀 -必修科目に不合格科目がないこと -4年以内の卒業が望ましいこと -主たる家計支持者及び従たる家計支持者及び従たる家計支持者の所得状況を勘案する (学社基準) ア給与所得 341万円以下 イ給与所得以外 355万円以下 給与所得以外の所得がある場合には上記に合算する その他、日本学生支援機構の定期採用(第二種奨学金)の基準を準用する	免除・減免	①成績優秀者40名、優秀者15名、選抜者5名 ②経済的理由25名、家計急変40名	1年間	若干名	地域の制限なし	学務部学生課	併用可	併用可
東京医療学院大学	東京医療学院大学奨学金貸与制度	在学中	2年次、3年次および4年次	学費支援	2年次から4年次に在籍する東京医療学院大学の学生で、経済的理由により、授業料その他納付金の支弁が困難な学生。	2年次から4年次に在籍する東京医療学院大学の学生で、経済的理由により、授業料その他納付金の支弁が困難な学生。	貸与奨学金	学費の2分の1を限度とする。	1年間	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	東京医療学院大学特待生制度	在学中	2年次、3年次および4年次	特待生・成績優秀者	1年次から3年次の各学年次終了時において、リハビリテーション学科看護学専攻及び看護学科の学生は各学年の学業成績が第1位、第2位の学生、リハビリテーション学科作業療法専攻の学生は各学年の学業成績が他の学生より優れていること	1年次から3年次の各学年次終了時において、リハビリテーション学科看護学専攻及び看護学科の学生は各学年の学業成績が第1位、第2位の学生、リハビリテーション学科作業療法専攻の学生は各学年の学業成績が他の学生より優れていること	免除・減免	年間授業料2分の1		15名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	東京医療学院大学卒業支援給付制度	在学中	3年次以降	学費支援	本学に4年間在学した学生で、当該在学期間の授業料、実験実習費及び施設整備費を完済している者、ただし、その他の規程等により授業料の減免を受けている者は卒業支援金の給付対象者とはならない。	本学に4年間在学した学生で、当該在学期間の授業料、実験実習費及び施設整備費を完済している者、ただし、その他の規程等により授業料の減免を受けている者は卒業支援金の給付対象者とはならない。	給付奨学金	年間授業料の2分の1				学生課	併用可	併用可
情報経営イノベーション専門職大学	特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 奨励制 入学金・授業料減免 学費支援	-4年学対象 -1学部のため全学対象 -入学時は、入学試験において優秀な成績を修めた者を対象 -2年時以降は、GPA・学内活動等の成果を評価して決定される。	-4年学対象 -1学部のため全学対象 -入学時は、入学試験において優秀な成績を修めた者を対象 -2年時以降は、GPA・学内活動等の成果を評価して決定される。	給付奨学金 免除・減免	①特待生制度 -給付額(20万円・50万円・100万円) ※成績によって変更 ②奨励制 -学生数特待生 -免除(授業料40万円～70万円)	募集1年度 ※1年間との選考を実施	20名ほど	地域の制限なし	イノベーションマネジメント局	併用可	併用可
東京保健医療専門職大学	東京保健医療専門職大学学生支援委員会奨学金	随時		学費支援	家計支持者の死亡など不測の事態により家計事情が急変し、就学が困難な学生に対する修学支援の一環としての本学独自奨学金制度	家計支持者の死亡など不測の事態により家計事情が急変し、就学が困難な学生に対する修学支援の一環としての本学独自奨学金制度	貸与奨学金	年間学納金上乗せして貸与(最大4年分)	在学期間中	在学期間中	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
	東京保健医療専門職大学特待生	その他	申込不要【前年度の成績優秀者対象とした制度(2年次以降以降)】	特待生・成績優秀者	2年次以降の学生を対象とし、各学年各科目での成績最優秀者(GPA)	2年次以降の学生を対象とし、各学年各科目での成績最優秀者(GPA)	免除・減免	授業料50%減免(450,000円)	1年間(有期成績優秀者選抜)選出された当該年度	最大6名(2年次以降の各学年各科目で1名のため次年度まで最大6名)	地域の制限なし	学生部	併用可	併用可
神奈川大学	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	【対象者】 給費生試験で給費生合格し、入学した者	【対象者】 給費生試験で給費生合格し、入学した者	給付奨学金	-入学金相当額給付 -法、経済、人間科学部 年額100万円給付 -経営、外語法、国際日本学部 年額110万円給付 -理、工学部 年額150万円給付 -建築学部 年額145万円給付 自宅入居者には生活補助金10万円給付			地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	2～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	【出願資格】 ① 学部1～4年次生 ② 前年度までの修得単位数が、通算標準修得単位数以上 ③ 前年度のGPAが2.0以上 ④ 主たる家計支持者及び従たる家計支持者の収入の合計が700万円以下	【出願資格】 ① 学部1～4年次生 ② 前年度までの修得単位数が、通算標準修得単位数以上 ③ 前年度のGPAが2.0以上 ④ 主たる家計支持者及び従たる家計支持者の収入の合計が700万円以下	給付奨学金	【給付額】 -法、経済、人間科学部 25万円給付 -経営、外語法、国際日本学部 25万円給付 -理、工学部 31万円給付 -建築学部 30万円給付	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	併用不可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	【出願資格】 ① 学部1年次生 ② 前年度のGPAが2.5以上であること ③ 主たる家計支持者及び従たる家計支持者の収入の合計が700万円以下	【出願資格】 ① 学部1年次生 ② 前年度のGPAが2.5以上であること ③ 主たる家計支持者及び従たる家計支持者の収入の合計が700万円以下	給付奨学金	【給付額】 -法、経済、人間科学部 21万円給付 -経営、外語法、国際日本学部 24万円給付 -理、工学部 30万円給付 -建築学部 30万円給付	入学年度一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	併用不可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1年次生	用途を定めない経済的支援	【出願資格】 新入生奨学金の採用者のうち、東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)・神奈川県を除く地方出身者で自宅外通学している者	【出願資格】 新入生奨学金の採用者のうち、東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)・神奈川県を除く地方出身者で自宅外通学している者	給付奨学金	【給付額】 15万円	入学年度一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	併用不可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1～4年次生	留学期間支援制度	【出願資格】 学部1～4年次生 (1)短期海外研修 本学が実施する海外研修プログラム等又は海外インターンシップに参加する者で学業成績、人物ともに優れた者 ※標準修得単位数以上であること (2)派遣交換留学 本学前に在籍し、派遣交換留学生に決定した者	【出願資格】 学部1～4年次生 (1)短期海外研修 本学が実施する海外研修プログラム等又は海外インターンシップに参加する者で学業成績、人物ともに優れた者 ※標準修得単位数以上であること (2)派遣交換留学 本学前に在籍し、派遣交換留学生に決定した者	給付奨学金	【給付額】 (1)短期海外研修 5万円 (2)派遣交換留学 1員額～110万円(額と地域による)	(1)一度限り (2)留学期間内		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援 奨励奨学金制度	【出願資格】 学部1～4年次生 以下の種類について、寄付者の意向により募集対象が決定 ①学業成績を含めて極めて優秀な学生 ②学業成績が良好であるにもかかわらず、経済的理由により学業の継続が困難な学生 ③学業・人物ともに優秀な学生	【出願資格】 学部1～4年次生 以下の種類について、寄付者の意向により募集対象が決定 ①学業成績を含めて極めて優秀な学生 ②学業成績が良好であるにもかかわらず、経済的理由により学業の継続が困難な学生 ③学業・人物ともに優秀な学生	給付奨学金	【給付額】 10万円	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	条件有り併用可	併用可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1、2年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	【出願資格】 学部1、2年次生 日本学生支援機構の第一種奨学金基準を満たすこと *ただし、特に学業成績優異と認められる場合はその限りではない。	【出願資格】 学部1、2年次生 日本学生支援機構の第一種奨学金基準を満たすこと *ただし、特に学業成績優異と認められる場合はその限りではない。	給付奨学金	【給付額】 文系40万円 理系60万円	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	併用不可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1～4年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	【出願資格】 ①学部1～4年次生 ②過去に支援給付奨学金および他の奨学金を受給していない者	【出願資格】 ①学部1～4年次生 ②過去に支援給付奨学金および他の奨学金を受給していない者	給付奨学金	【給付額】 20万円	一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用不可	併用不可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	原則として卒業年次生	学費支援 用途を定めない経済的支援	【出願資格】 ①原則として卒業年次生 ②実況その他の実態または家計支持者の死亡等により家計が急変した者 ③成績・人物ともに優秀で健康な者	【出願資格】 ①原則として卒業年次生 ②実況その他の実態または家計支持者の死亡等により家計が急変した者 ③成績・人物ともに優秀で健康な者	給付奨学金	【給付額】 学費半額分の50%相当額	一度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	1～4年次生	貸付取得支援制度	【出願資格】 ①学部1～4年次生 ②修得単位数が通算標準修得単位数以上であること ③以下のいずれかに該当していること 1 経済試験、公認会計士試験又は税理士試験に合格した者 2 短期大学課程の1年次課程に在籍する目的が貸付取得に属する科目から科目(所得税又は法人税法のいずれか1科目を含む)に合格した者 3 2で既述生に採用された者で、税理士試験に合格した者 4 国家公務員採用試験に合格し、それと同等程度の公務員試験に合格した者 5 TOEFL iBTで90点以上又はTOEIC85点以上を取得した者	【出願資格】 ①学部1～4年次生 ②修得単位数が通算標準修得単位数以上であること ③以下のいずれかに該当していること 1 経済試験、公認会計士試験又は税理士試験に合格した者 2 短期大学課程の1年次課程に在籍する目的が貸付取得に属する科目から科目(所得税又は法人税法のいずれか1科目を含む)に合格した者 3 2で既述生に採用された者で、税理士試験に合格した者 4 国家公務員採用試験に合格し、それと同等程度の公務員試験に合格した者 5 TOEFL iBTで90点以上又はTOEIC85点以上を取得した者	給付奨学金	【給付額】 10～30万円(資格・進路による)	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
	神奈川大学奨励奨学金	その他	申請手続き不要	特待生・成績優秀者 学費支援	神奈川大学学業成績優秀者表彰制度により、成績優秀者として表彰された学生	神奈川大学学業成績優秀者表彰制度により、成績優秀者として表彰された学生	給付奨学金	【給付額】 -最優秀者:40万円 -優秀者:20万円	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
	神奈川大学奨励奨学金	その他	出願前11月	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援	【出願資格】 入学前予約型 高校卒業後進学した方で、高校の成績が一定の基準(評定平均4.0以上)を満たす学生 ※主たる家計支持者及び従たる家計支持者(原則父母)の収入合計700万円以下	【出願資格】 入学前予約型 高校卒業後進学した方で、高校の成績が一定の基準(評定平均4.0以上)を満たす学生 ※主たる家計支持者及び従たる家計支持者(原則父母)の収入合計700万円以下	給付奨学金	【自宅所在地が神奈川県・東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)以外】 文系:年額40万円 理系:年額60万円 【自宅所在地が神奈川県・東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)の学生】 文系:年額40万円 理系:年額50万円	原則として4年間給付(継続審査あり)	【自宅所在地が神奈川県・東京都(伊豆・小笠原諸島を除く)の学生】100名	地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
	神奈川大学奨励奨学金	在学中	学部4年次	特待生・成績優秀者 学費支援	【出願資格】 学部4年次(在籍し、次年度大学院への進学を希望する者。 【本学院校考入学試験または専修入学試験出願予定者】)	【出願資格】 学部4年次(在籍し、次年度大学院への進学を希望する者。 【本学院校考入学試験または専修入学試験出願予定者】)	給付奨学金	【給付額】 理、工学部22万円 その他の研究科:15万円	入学年度一度限り	50名	地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可
神奈川大学奨励奨学金	在学中	1～4年次生	研究費支援	【出願資格】 研究における明確な目標をもち、学業成績、人物ともに優れた、かつ学術研究分野において優れた実績をあげた学生	【出願資格】 研究における明確な目標をもち、学業成績、人物ともに優れた、かつ学術研究分野において優れた実績をあげた学生	給付奨学金	【給付額】 2万円～(活動内容及び実績による)	採用年度限り		地域の制限なし	教育・学生支援部 学生課	併用可	併用可	
鎌倉女子大学	フリーミア奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援	対象学年:全学年(1年次年度限り) 学費:全学年 資格:経済的理由により修学が困難であると認められ、かつ本学の建学の精神に則り、他の学生の模範となる者。	対象学年:全学年(1年次年度限り) 学費:全学年 資格:経済的理由により修学が困難であると認められ、かつ本学の建学の精神に則り、他の学生の模範となる者。	給付奨学金	年間240,000円	1回限り	若干名	地域の制限なし	学生センター 学生課	併用可	条件有り併用可
鎌倉女子大学	スベリアル奨学金	その他	3～4年次の学生で、学長から推薦された者。	特待生・成績優秀者	対象学年:入学時のみ 学部:短等教育科 資格:【総合型選抜(短大・併願制/特待生チャレンジ)】のすべての受験生が特待生の選考の対象。合格者の成績上位10名に給費。	対象学年:入学時のみ 学部:短等教育科 資格:【総合型選抜(短大・併願制/特待生チャレンジ)】のすべての受験生が特待生の選考の対象。合格者の成績上位10名に給費。	免除・減免	入学金380,000円を免除	1回限り	10名	地域の制限なし	入試・広報センター 入試・広報課	併用可	条件有り併用可
鎌倉女子大学	緊急型奨学金(予約型)	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(短大/併願制/一般) -総合型選抜(学部/専修制/併願制) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ)	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(短大/併願制/一般) -総合型選抜(学部/専修制/併願制) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ)	免除・減免	入学金380,000円(入学予定者) ②授業料440,000円(入学予定者・在学者) ③授業料減免費180,000円(一部の学科は220,000円、206,000円)(入学予定者・在学者) ④実験実習費160,000円(一部の学科は186,000円、200,000円)(入学予定者・在学者) それ以外の項目において金額は学額、この額は半額の免除。	1回限り	10名	地域の制限なし	入試・広報センター 入試・広報課	併用可	条件有り併用可
鎌倉女子大学	緊急型奨学金(予約型)	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(短大/併願制/一般) -総合型選抜(学部/専修制/併願制) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ)	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(短大/併願制/一般) -総合型選抜(学部/専修制/併願制) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ)	免除・減免	入学金380,000円(入学予定者) ②授業料440,000円(入学予定者・在学者) ③授業料減免費180,000円(一部の学科は220,000円、206,000円)(入学予定者・在学者) ④実験実習費160,000円(一部の学科は186,000円、200,000円)(入学予定者・在学者) それ以外の項目において金額は学額、この額は半額の免除。	1回限り	10名	地域の制限なし	入試・広報センター 入試・広報課	併用可	条件有り併用可
鎌倉女子大学	緊急型奨学金(予約型)	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(短大/併願制/一般) -総合型選抜(学部/専修制/併願制) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ)	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(短大/併願制/一般) -総合型選抜(学部/専修制/併願制) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ)	免除・減免	入学金380,000円(入学予定者) ②授業料440,000円(入学予定者・在学者) ③授業料減免費180,000円(一部の学科は220,000円、206,000円)(入学予定者・在学者) ④実験実習費160,000円(一部の学科は186,000円、200,000円)(入学予定者・在学者) それ以外の項目において金額は学額、この額は半額の免除。	1回限り	10名	地域の制限なし	入試・広報センター 入試・広報課	併用可	条件有り併用可
鎌倉女子大学	緊急型奨学金(予約型)	学校出願時		入学金・授業料減免	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(短大/併願制/一般) -総合型選抜(学部/専修制/併願制) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ) -総合型選抜(短大/併願制/特待生チャレンジ)	対象学年:入学時のみ 学部:全学部 資格: (1)入学年度の前期年度において、本人及び学費負担者(保証人)が沖縄、東京都、小笠原諸島、または離島島嶼対策推進地域に居住し、奨学金申請時に居住開始から3年以上経過しており、当該事業を証明する公的書類を提出できる者。 (2)主たる学費負担者(保証人)の申請前年における年間収入金額が下記の家計基準を満たしている者。 (学社基準) 給与所得 800万円以下 給与所得以外 300万円以下 (3)下記の入試に属する者。 -一般選抜(学部)/特待生チャレンジ -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(学部)前期白日程 -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(短大)/特待生チャレンジ -一般選抜(共通テスト利用)前期 -一般選抜(共通テスト利用)後期 -特待生チャレンジ(指定校) -学校推薦型選抜(学部/専修制/一般) -学校推薦型選抜(								



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
関東学院大学	関東学院大学スカラシップ制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜(前期日程・3科目(同等配点)型)試験合格者において成績上位者または、大学入試共通テスト利用選抜(後期日程5科目スカラシップ型)試験合格者、かつ入学後成績が優秀である者(2年次以降の継続は、学年ごと(卒業成績等の審査あり)。 修士支援制度(入学金・授業料減免との併用不可、但し日本学生支援機構給付奨学金との併用は可)。	入学初期に入学金と初年度年間授業料を全額免除	免除・減免			100名以内	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	関東学院大学チャレンジスカラシップ制度	その他	入学手続後	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	本学を専断とする総合選抜、学校推薦型選抜等で、本選考試験の出願資格を認め入試試験を受けた者のうち、入学手続を完了した者。	入学金および授業料の免除	免除・減免			各学部若干名	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	関東学院大学特待生制度	在学中	3年次および4年次生	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	3~4年次に在籍する本学入学者の成績が優れて優れた者	年間授業料相当額(ただし、授業料減免措置を受けている者は減免後の授業料相当額)	給付奨学金	1年間	70名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	関東学院大学給付奨学金	在学中	学部2年生以上	特待生・成績優秀者 学費支援	学部2年生以上のうち、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な者で、日本学生支援機構奨学金受給者(ただし外国人留学生、特待生、名スラップ生は除く)	年間2万円	2万円	給付奨学金	1年間	50名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有り併用可	
	関東学院大学スポーツスカラシップ制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学校推薦型選抜(スポーツ)期、2期の成績優秀で、課外活動における実績が特に優れた者	入学金、学費(補給金の一部、もしくは全額免除(免除額等の条件については別途基準(審査あり))	入学金、学費(補給金の一部、もしくは全額免除(免除額等の条件については別途基準(審査あり))	免除・減免		11名以内とし、大学スポーツ振興委員会が各クラブの配分を決める	地域の制限なし	スポーツ振興課	併用可	併用可	
	関東学院大学外国留学に係る授業料免除	入学後		学費支援	学費支援	以下のいずれかに該当し、学業・人物ともに優秀なもの(GPA基準あり) ①派遣留学生 ②留学派遣学生 ③公費留学生として留学する学生	留学期間に該当する学部の授業料免除	免除・減免		1年間(2学期)	若干名	地域の制限なし	国際交流推進課	併用可	併用可
	関東学院大学国際交流奨学金	入学後		留費用支援制度	留費用支援制度	以下のいずれかに該当し、学業・人物ともに優秀なもの(GPA基準あり) ①交換留学生 ②派遣留学生 ③留学派遣学生からの交換留学生	一律50,000円/ Semester	給付奨学金	留学期間中	若干名	地域の制限なし	国際交流推進課	併用可	併用可	
	青森小田奨学金	在学中	3~4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援	学費支援	所属学部長の推薦するキリスト教に理解のある3~4年生	採用実年度(年)より異なる	給付奨学金	1年間	10名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	関東学院大学教育ローン利息補償奨学金	在学中	各学年	学費支援	学費支援	教育ローン利用者(うち人物・学業・経済状況を総合的に審査)	教育ローン年間利息相当額(限度額あり)	給付奨学金	1年間	各学年25名以内	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
	関東学院大学長壽奨学金	在学中	詳細は(3)対象学年・学部・資格・条件を参照してください	特待生・成績優秀者 学費支援 留費用支援制度 課外活動支援制度 資格取得支援制度 奨励金・学費支援 別項支援	特待生・成績優秀者 学費支援 留費用支援制度 課外活動支援制度 資格取得支援制度 奨励金・学費支援 別項支援	1. 第1種奨学金(学費奨励) 対象学年: 2次から4年次及び大学院生 対象学部: 国際文化学部・社会学部・文学部 採用人数: 学部生15名以内、大学院生5名以内 奨励金額: 次のいずれかに該当する者。ただし、申請書は前年度又は当該年度に由来するものを審査対象とする。 ①学業・文化・芸術に優れた者で、社会的に評価を受ける者。 ②成績優秀かつ課外活動に優れた者で、社会的に評価を受ける者。日本学生支援機構の奨学金の受給を受けている者。ただし、原則として、日本学生支援機構の申請書及び経済状況調査書、関東学院大学給付奨学金受給者、関東学院大学給付奨学金受給者、特待生、スカラシップ生及びチャレンジスカラシップ生を除く。 ③上記1と2のいずれかの奨励金受給者のGPAが4.0以上となる者。 【利用期間】1年とする。ただし、日本学生支援機構の奨学金を利用している者においてはその期間中であることとし、審査のうえ継続して支給することができる。採用された場合、同一分野の応募は次回以降は不可。 2. 第2種奨学金(キャリア支援) 対象学年: 1次から4年次及び大学院生 対象学部: 国際文化学部・社会学部・文学部 採用人数: 審議により決定 奨励金額: 次のいずれかに該当する者。ただし、申請書は前年度又は当該年度に由来するものを審査対象とする。 ①学業・文化・芸術に優れた者で、社会的に評価を受ける者。かつGPAが3.0以上となる者。ただし、国際文化学部英語文化学科の留学期間奨学金又はGPA奨学金を受けた者を除く。 ②成績優秀、学部が指定する資格取得に関する有期講義を履修し、講義の70%以上出席したことを証明する書類の提出が可能な者。ただし、大学院(就職支援等の主催)で履修したものを除く。 ③ボランティア、本学及び学外の公益活動に貢献するボランティア活動に参加した者。ただし、授業期間中セミナ活動、単位取得に貢献があるものボランティアを除く。 【利用期間】1年とする。ただし、家計の急変等によって支給することができなくなる可能性がある。同一分野の応募は前回以降は不可。 3. 第3種奨学金(緊急時対応給付型) 対象学年: 1次から4年次及び大学院生 対象学部: 国際文化学部・社会学部・文学部 採用人数: 20名 奨励金額: コロナウイルス感染症の影響を受け、家計の急変などにより、学業の継続に支障を生じた者(101年度以前に第1種奨学金(第4種)緊急時対応給付型)を受給した者が、再度受給申請をする場合は、修学状況の推移のたの最終セメスターの修業単位数が10単位以上を要していること。ただし、以下の者は除く。 ①大学院の修士生、名スラップ生などの。後援者候補者として認められる者。 ②大学院生のうち、関東学院大学修士前期課程奨学金受給者、関東学院大学後期課程特別奨学金受給者、関東学院大学士後期課程奨学金受給者又は留学期間の。 ③高等専攻の修学支援制度(奨励金)の奨学金を受給している者。 ④高等専攻の修学支援制度(奨励金)の奨学金を受給している者及び日本学生支援機構による給付型奨学金(家計急変)を受けた者。 ⑤関東学院大学大学院後期課程特別奨学金受給者、関東学院大学大学院後期課程特別奨学金受給者、関東学院大学士後期課程奨学金受給者 入試科目: 学業・文化・芸術に優れた者で、社会的に評価を受ける者。かつGPAが3.0以上となる者。ただし、国際文化学部英語文化学科の留学期間奨学金又はGPA奨学金を受けた者を除く。 第2種奨学金: 2年生以上の外国人入学生であり、学業に優れた者であり、優れた努力が認められた者。 第3種奨学金: 2~3年生であり、学業において優れた努力が認められた者。	給付奨学金	1年とす。詳細は(3)対象学年・学部・資格・条件を参照してください	地域の制限なし	学務課(国際文化学部、社会学部、経済学部)	条件有り併用可	条件有り併用可			
	「関東学院女子短期大学記念」奨学金	その他	第1種奨学金は随時、第2・3種奨学金は4月又は9月	特待生・成績優秀者 学費支援	特待生・成績優秀者 学費支援	1. 第1種奨学金(学費奨励) 対象学年: 2次から4年次及び大学院生 対象学部: 国際文化学部・社会学部・文学部 採用人数: 審議により決定 奨励金額: 次のいずれかに該当する者。ただし、申請書は前年度又は当該年度に由来するものを審査対象とする。 ①学業・文化・芸術に優れた者で、社会的に評価を受ける者。 ②成績優秀かつ課外活動に優れた者で、社会的に評価を受ける者。日本学生支援機構の奨学金の受給を受けている者。ただし、原則として、日本学生支援機構の申請書及び経済状況調査書、関東学院大学給付奨学金受給者、関東学院大学給付奨学金受給者、特待生、スカラシップ生及びチャレンジスカラシップ生を除く。 ③上記1と2のいずれかの奨励金受給者のGPAが4.0以上となる者。 【利用期間】1年とする。ただし、日本学生支援機構の奨学金を利用している者においてはその期間中であることとし、審査のうえ継続して支給することができる。採用された場合、同一分野の応募は次回以降は不可。 2. 第2種奨学金(キャリア支援) 対象学年: 1次から4年次及び大学院生 対象学部: 国際文化学部・社会学部・文学部 採用人数: 審議により決定 奨励金額: 次のいずれかに該当する者。ただし、申請書は前年度又は当該年度に由来するものを審査対象とする。 ①学業・文化・芸術に優れた者で、社会的に評価を受ける者。かつGPAが3.0以上となる者。ただし、国際文化学部英語文化学科の留学期間奨学金又はGPA奨学金を受けた者を除く。 ②成績優秀、学部が指定する資格取得に関する有期講義を履修し、講義の70%以上出席したことを証明する書類の提出が可能な者。ただし、大学院(就職支援等の主催)で履修したものを除く。 ③ボランティア、本学及び学外の公益活動に貢献するボランティア活動に参加した者。ただし、授業期間中セミナ活動、単位取得に貢献があるものボランティアを除く。 【利用期間】1年とする。ただし、家計の急変等によって支給することができなくなる可能性がある。同一分野の応募は前回以降は不可。 3. 第3種奨学金(緊急時対応給付型) 対象学年: 1次から4年次及び大学院生 対象学部: 国際文化学部・社会学部・文学部 採用人数: 20名 奨励金額: コロナウイルス感染症の影響を受け、家計の急変などにより、学業の継続に支障を生じた者(101年度以前に第1種奨学金(第4種)緊急時対応給付型)を受給した者が、再度受給申請をする場合は、修学状況の推移のたの最終セメスターの修業単位数が10単位以上を要していること。ただし、以下の者は除く。 ①大学院の修士生、名スラップ生などの。後援者候補者として認められる者。 ②大学院生のうち、関東学院大学修士前期課程奨学金受給者、関東学院大学後期課程特別奨学金受給者、関東学院大学士後期課程奨学金受給者又は留学期間の。 ③高等専攻の修学支援制度(奨励金)の奨学金を受給している者。 ④高等専攻の修学支援制度(奨励金)の奨学金を受給している者及び日本学生支援機構による給付型奨学金(家計急変)を受けた者。 ⑤関東学院大学大学院後期課程特別奨学金受給者、関東学院大学大学院後期課程特別奨学金受給者、関東学院大学士後期課程奨学金受給者 入試科目: 学業・文化・芸術に優れた者で、社会的に評価を受ける者。かつGPAが3.0以上となる者。ただし、国際文化学部英語文化学科の留学期間奨学金又はGPA奨学金を受けた者を除く。 第2種奨学金: 2年生以上の外国人入学生であり、学業に優れた者であり、優れた努力が認められた者。 第3種奨学金: 2~3年生であり、学業において優れた努力が認められた者。	給付奨学金	原則として対象年度限り	若干名	地域の制限なし	各学部教務課	併用可	併用可		
	関東学院大学奨励奨学金	その他	9月下旬~10月上旬に募集	特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度 その他	特待生・成績優秀者 学費支援 課外活動支援制度 その他	以下①~④のいずれかに該当し、かつ審判者の申し出内容の条件にあった者(ただし、特待生およびスカラシップ生・休学・留年した者は除く) ①経済困難者 ②学業成績優秀者 ③正課外活動で活躍した者	100,000円(年額)	給付奨学金	当該年度に限り	30名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	条件有り併用可	
	経済学部「資格取得支援制度」	随時		資格取得支援制度	資格取得支援制度	経済学部および経済学研究科の学生で、該当の資格試験を受けた者	検定料相当額	給付奨学金	年度内	若干名	地域の制限なし	学部教務課(国際文化学部、社会学部、経済学部)	併用可	併用可	
	経済学部・経営学部「国際交流活動制度」	随時		留費用支援制度	留費用支援制度	経済学部および経営学部の学生で、本学国際センターが主催する海外留学・留学研修プログラムまたは、本学グローバル人材育成プログラムの海外研修に参加した者。	長期研修: 30万円以内 短期研修: 15万円以内 海外ボランティア研修: 10万円以内	給付奨学金	在外研修期間によって異なる。(5万~30万円)	若干名	地域の制限なし	各学部教務課	併用可	併用可	
	法学部学生在外研修奨励基金	随時		留費用支援制度	留費用支援制度	法学部学生で、外国の大学又はそれに相当する高等教育・研究機関等における、交換留学、研究、学会報告、資料収集および語学研修に参加したものの。	在外研修期間によって異なる。(5万~30万円)	給付奨学金	在外研修期間によって異なる。(5万~30万円)	若干名	地域の制限なし	学務課(経営学部、法学部、人間共生学部)	併用可	併用可	
関東学院大学兄弟姉妹給付奨学金制度	入学後		入学金・授業料減免	入学金・授業料減免	学部納入生で、兄弟姉妹が本学の学部または大学院に在籍している者。	入学金相当額	免除・減免		入学年度の月に一括	若干名	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可	
予備校講座(資格)(公務員)助成金	随時		資格取得支援制度	資格取得支援制度	法学部学生で、指定の予備校講座(資格)もしくは予備校講座(公務員)を受講し、かつ講座への出席率が70%を超える者。	講座受講料の半額相当(ただし、支給上限は10万円とする)。	給付奨学金	入学年度の月に一括	若干名	地域の制限なし	学部教務課(経営学部、法学部、人間共生学部)	併用可	併用可		
関東学院大学スポーツ特待生制度	その他	大学スポーツ振興委員会が選考する	特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	学業・人物ともに優秀で他の優遇となり、かつ、全国規模の大会又は都道府県の大会において入賞する者、特に優れた成績を挙げた者	授業料半額又は授業料相当額の半額	給付奨学金	1年間、ただし、修業年限内で再採用もある。	20名以内	地域の制限なし	スポーツ振興課	併用可	併用可		
相模女子大学	特別奨学生制度	入学後	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	大学全学部学科および短期大学の学生 ①一般選抜A日程および一般選抜日程の成績優秀者 2)大学の2年生以降、短期大学の2年生については、成績が一定の水準を下回る場合を除き、継続して特別奨学生の扱いとし、授業料の全額を免除する。	入学年度の授業料725,000円~745,000円	免除・減免		大学の2年次以降、短期大学の2年生については、成績が一定の水準を下回る場合を除き、継続して特別奨学生の扱いとし、授業料の全額を免除する。	1名	地域の制限なし		併用可	併用可	
	地方学生支援特別奨学金制度	学校出願時		特待生・成績優秀者	大学全学部学科および短期大学の学生で以下の要件をすべて満たす者 要件1 神奈川県・東京都・兵庫県を除く以外の出身者 要件2 自宅からの通学が不可能であること 要件3 保護者が生計が別であること	入学年度に限り、給付金額300,000円を支給	その他	入学年度に限り	年間上限30名	地域の制限なし		併用可	併用可		
	相模女子大学奨学金	在学中		学費支援	学費支援	能力があるにもかかわらず経済的理由によって修学が困難である者に対し、学費の貸与を行う制度です。貸与額(授業料相当額)となりますが、卒業年度については「学費相当額」を選択することもできます。 【審査基準】 学力: 1年生以上出身高校の課外書評の平均値が3.2以上であること 2)年生以上は前年度の成績が上位1/2以内であること 家計: 日本学生支援機構第一種奨学金の算定基準に準じます。	①授業料相当額 ②学費相当額(卒業年度) ③学費相当額(卒業年度) ④学費相当額(卒業年度)	貸与奨学金	1年間(4月~翌年3月)ただし、厳正な審査により変更も可	大学院(大学・短期大学)生あわせて25名程度	地域の制限なし	学務・生活支援課	併用不可	併用不可	
	相模女子大学緊急給付奨学金	随時		学費支援 その他	学費支援 その他	家計急変等の経済的理由による緊急給付支援制度 【要件】 本学在籍者で、原則として最短期間年度で卒業が見込める者とする。また、過去に本学授業料の減免、免除および給付を受けたことのない者とし、家計急変等の事由発生が入学後、かつ、出願まで概ね1年以内である者とする。 家計急変等の経済的理由とは、次のいずれかによるものとする。 (1)自然災害等の発生による死亡、疾病、事故、失業等 (2)地震、火災、風水害等 (3)その他本学が認めた経済的理由	給付奨学金	在学中1回限りとする	地域の制限なし	学務・生活支援課	併用可	併用可			
	相模女子大学障害者(障害者)卒業時緊急奨学金	その他		用途を定めない経済的支援	用途を定めない経済的支援	大学および短大の最終学年に在籍し、経済的理由により卒業が困難となる	貸与奨学金				地域の制限なし		併用可	併用可	
産業能率大学	上野特別奨学金	その他	大学指名(5月中旬)	特待生・成績優秀者 学費支援	経営学部、情報マネジメント学部同等学部対象 学業・人物ともに優れて、他の優遇となり得る者	給付奨学金	300,000円	1)1年間 2)1回限り	経営学部・マーケティング学部・現代マネジメント学部 各学年1名以内(計4名以内)	地域の制限なし	学生サービスセンター/湘南学生サービスセンター	併用可	併用可		
	上野学業奨学金	その他	大学指名(5月中旬)	特待生・成績優秀者 学費支援	経営学部、情報マネジメント学部同等学部対象 学業・人物ともに優れて、他の優遇となり得る者	給付奨学金	150,000円	1)1年間 2)1回限り	経営学部・現代マネジメント学部 各学年1名以内、マーケティング学部 各学年3名以内(計4名以内)	地域の制限なし	学生サービスセンター/湘南学生サービスセンター	併用可	併用可		
	修学支援奨学金	入学後		学費支援	経営学部、情報マネジメント学部同等学部対象 所定の要件により学費支援が必要と判断出来る者	給付奨学金	150,000円	1)1年間 2)1回限り	経営学部・情報マネジメント学部 計10名以内	地域の制限なし	学生サービスセンター/湘南学生サービスセンター	併用可	条件有り併用可		
	産業能率大学・富士通(株)育英基金奨学金	その他	大学指名(5月中旬)	特待生・成績優秀者 学費支援	経営学部、情報マネジメント学部同等学部対象 学業・人物ともに優れて、他の優遇となり得る者	給付奨学金	200,000円		経営学部・マーケティング学部・現代マネジメント学部 各学年1名以内(計4名以内)	地域の制限なし	学生サービスセンター/湘南学生サービスセンター	併用可	併用可		
	産業能率大学奨学金制度	入学後		留費用支援制度	留費用支援制度	留費用支援制度	給付奨学金	留学期間 留学期間中に在籍する期間 留学期間 留学期間中に在籍する期間	地域の制限なし	教務課/湘南教務課	併用可	併用可			
	産業能率大学後援奨学金	随時		学費支援 被災等資金支援	学費支援 被災等資金支援	経営学部、情報マネジメント学部同等学部対象 修学意欲がありながら本学在学中の災害または自然災害等による家計急変のため、奨学金が困難な	給付奨学金	授業料半額相当額以内	1)1年間 2)1回限り	原則として3名以内	地域の制限なし	学生サービスセンター/湘南学生サービスセンター	併用可	併用可	
	湘南工科大学	一般選抜B方式(3教科型)減免制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜B方式(3教科型)学部ごとに合格者の成績上位40名を対象 ※原則4年間適用 但し、2年次以降の継続については成績により変更あり	免除・減免	入学金(20万円)および授業料(年間20万円ずつ)を4年間継続で最大100万円サポート ※2年次以降継続審査あり	1)1年間 2)2年次以降継続審査あり	40名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
	一般選抜C方式(2教科型)減免制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜C方式(2教科型)学部ごとに合格者の成績上位20名を対象 入学金の半額(10万円)をサポート	免除・減免	入学金の半額(10万円)サポート	1回限り	20名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
一般選抜B方式(2教科型)減免制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	一般選抜B方式(2教科型)学部ごとに合格者の成績上位10名を対象 ※原則4年間適用 但し、2年次以降の継続については成績により変更あり	免除・減免	入学金(20万円)および授業料(年間20万円ずつ)を4年間継続で最大100万円サポート ※2年次以降継続審査あり	1)1年間 2)2年次以降継続審査あり	10名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可		
聖マリアナ医科大学	聖マリアナ医科大学特待生	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	資格・合格者のうち、入学試験における成績・人物ともに優秀な者。	給付奨学金	給付額: 初年度の授業料、教育費特待費、教育充実費相当額(540万円)を免除する。	入学時のみ	若干名	地域の制限なし	教務部教務課	併用可	併用可		
	聖マリアナ医科大学奨学金	在学中	全年	学費支援	資格・経済的理由により修学が困難な者(卒業成績、履修状況および人物とも良好であると認められる者)。	給付奨学金	給付額: 360万円を限度として給付する。その他: 原則として、返還の義務はない。	年度内1回	1名	地域の制限なし	教務部教務課	併用可	併用可		
	聖マリアナ医科大学奨学金	在学中	全年	学費支援	資格・本学に在学中、家計の収入により授業料等学校納付金の支障が困難で、かつ、健康、学業、人物とも良好であると認められる者。	貸与奨学金	貸与額: 月給60,000円 貸与期間: 最短期間(6年)以内、返還方法: 卒業後2年を経過したその翌月から返済を受ける(期間の途中の年々の範囲内で返還、無条件)。	最短期間(6年)以内	1名	地域の制限なし	教務部教務課	併用可	併用可		
	学業成績優秀学生奨学金	在学中	第5学年	特待生・成績優秀者 学費支援	資格・前5年生のうち、学業成績が特に優秀であり、かつ、人間的にも優れ、他の学生の模範になると認められる者。	給付奨学金	給付額: 授業料等学校納付金を返還として給付する。	年度内1回	1名	地域の制限なし	教務部教務課	併用可	併用可		
	保護者会短期学費支援奨学金	在学中	全年	留費用支援制度	資格・短期留学者(大学間留学者に基づく短期留学者)又は米国大学医学部での臨床実習中のための短期留学者)とする者。	給付奨学金	貸与額: 月給60,000円 貸与期間: 最短期間(6年)以内、返還方法: 卒業後2年を経過したその翌月から返済を受ける(期間の途中の年々の範囲内で返還、無条件)。	在学中1回	10名	地域の制限なし	教務部教務課	併用可	併用可		
	朝石記念奨学金	在学中	全年	学費支援	資格・医学部学生として優れた資質を有し、かつ、経済的理由により学業の継続が困難な者。	貸与奨学金	貸与額: 月給30,000円以内、貸与期間: 最短期間(6年)以内、返還方法: 卒業後1年を経過したその翌月から、貸与を受けた期間の2倍の年々の範囲内で返還、無条件。	最短期間(6年)以内	1名	地域の制限なし	教務部教務課	併用可	併用可		
	保護者会奨学金	在学中	全年	学費支援	資格・父兄等の保護者が不測の事態に遇った為、経済的に学業の継続が困難になった者およびやむを得ない事情があると認められた者。	貸与奨学金	貸与額: 月給30,000円以内、貸与期間: 最短期間(6年)以内、返還方法: 卒業後1年を経過したその翌月から、貸与を受けた期間の2倍の年々の範囲内で返還、無条件。	最短期間(6年)以内	1名	地域の制限なし	教務部教務課	併用可	併用可		







大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
フェリス学院大学	フェリス学院大学奨学金卒業成績優秀者給付奨学金	その他	大学で選考(申請不要)	特待生・成績優秀者 学費支援		学部2年生(2年次編入生を除く)・2年次前期時点で、45単位以上修得者。学部4年生・4年次後期時点で、卒業要件単位充足者。	給付奨学金	年額10万円	採用年度限り	24名(2年次:12名、4年次:12名)	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	フェリス学院大学奨学金自己研鑽給付奨学金	在学中	1~4年次	その他	学内・学外の活動において、顕著な自己研鑽を行った者への支援	学部1~4年生:本学在学中における毎年度12月までの学内・学外の活動において、顕著な自己研鑽を行った者。	給付奨学金	レベルに応じて、5万円、10万円、20万円の上限がある。	採用年度限り	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	フェリス学院大学経済支援給付奨学金	在学中	2~4年次	特待生・成績優秀者 学費支援		学部2~4年生:留学生在学は2年次編入生は3年次より、3年次編入生は4年次以上(別記可)。日本学生支援機構奨学金第一種貸付基準以内、累積GPA 2.50以上、標準修得単位修得者。	給付奨学金	年額10万円	採用年度限り	6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	音楽芸術部門賞	その他	大学で選考(申請不要)	特待生・成績優秀者		音楽学部音楽実習科卒業生または大学院音楽研究科音楽芸術専攻修了年生より、フロンティア研究のほか、学業・人徳を総合的に判断して専攻分野の優秀な学生を選定する。大学で選考。	貸付奨学金	上限3万円(詳細情報あり)	採用年度限り	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	フェリス学院大学奨学金	在学中	1~4年次	学費支援		日本学生支援機構奨学金借入基準に準じて、日本学生支援機構奨学金の利用を優先し、それを利用できない場合及び利用してもなお経済的に困難していることを条件とする。	貸付奨学金	第1種(年額授業料相当額)第2種(年額授業料相当額の半額)第3種(年額学納金相当額)	採用年度限り	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	旧フェリス学院短期大学家政科同窓会による奨学金	在学中	1~4年次	学費支援		(1)本学に1 semester以上在籍した者。(2)学納金延滞届出者。(3)日本学生支援機構奨学金第二種貸付基準以内の者。(4)標準修得単位修得者。(5)休学中でない者。(6)休学期間を除き、標準修得単位数超過していない者。	貸付奨学金	1学期10万円	採用年度限り	毎年定員名。前年の採用者は最大4名以内。前年の採用者は5名以内の採用者を含めた人。	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	フェリス学院大学江口奨学金	その他	第1種 随時 第2種 大学で選考(申請不要) 第4種 随時 第5種 随時 第6種 年2回(6月と12・1月) 第7種 大学で選考(申請不要) 第8種 大学で選考(申請不要)	特待生・成績優秀者 学費支援制度 留学費用支援制度 課外活動支援制度		第1種「音楽学部が定めた学外公演等に参加する音楽専攻部生。本学大学院音楽研究科学生及び本学音楽学部制生。出願が必要。第2種「音楽学部音楽芸術科2年生以上及び大学院音楽研究科音楽芸術専攻2年生。出願の必要はない。前年度に修得した成績で優異。第3種「音楽学部音楽実習科2年生以上及び大学院音楽実習科音楽実習専攻2年生。出願が必要。出願書類に基づく審査。第4種「学外のコンクール及び修得単位等に参加する音楽専攻部生。大学院音楽研究科学生。出願が必要。出願書類に基づく審査。第5種「卒業・修了時における成績優秀者。出願の必要はない。第6種「入学年度の成績優秀者。出願の必要はない。	給付奨学金	第1種「参加者16名につき上限5万円。第2種「音楽芸術科2年生 1名につき40万円。3年次生及び4年次生 1名につき10万円。第4種「1名につき上限10万円(給付総額の上限は20万円となる。第5種「1名につき20万円。第6種「1名につき上限10万円。第7種「1名につき20万円。第8種「1名につき20万円	採用年度限り	第1種「20名以内。第2種「音楽芸術科2年生・3年次生・4年次生 各名各1名以内。第3種「1名以内。第4種「第1種・第2種・第4種・第6種・第7種「採用年度限り第5種「年次年度限り第6種「入学した年度の翌年度限り	地域の制限なし	教務課(山手キャンパス)	併用可	併用可	
	フェリス学院大学大塚伸行奨学金	その他	派遣留学決定後、本学が指定した期日	特待生・成績優秀者 学費支援		1.留学時の経費負担が大いな英語圏である次の国へ派遣される交換留学生。アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ。2.本学における海外での活動が30日以上ある者。3.TOEFL 81点以上 または IELTS 5.5以上の者。4.奨学生決定時及び留学終了後、報告書に於いて書面での挨拶及び成果報告を行うことに同意する者	給付奨学金	留学先授業料相当額(上限300万円)、雑費(食費・雑費、送金手数料等)は含まない。	留学期間中	10名以内	地域の制限なし	国際課	併用不可	条件有り併用可	
	フェリス学院大学派遣留学生奨学金I	その他	派遣決定後、本学が指定した期日	学費支援		1.履修科目相互免除でない協定校への派遣留学生 2.派遣認定留学生 3.メタスタアプログラム派遣学生(TOEFL iBT 154以上またはIELTS 5.4以上のみ)	給付奨学金	1.本学学納金の全額または一部を給付 最大130万円 2.本学学納金の一部を給付 最大43万円 3.本学学納金の一部を給付 最大30万円	留学開始前の一括支給。または派遣された月数以内	地域の制限なし	国際課	併用可	併用可		
	フェリス学院大学派遣留学生奨学金II	その他	留学出願時に申請。	留学費用支援制度		派遣交換留学生 独立行政法人日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)との重複受給は不可	給付奨学金	下記の料額及び派遣費(協定校により支給額は異なる。) 1.留学先の授業料を支払う場合 月額2万円~4万円 2.留学先の授業料が免除になる場合 4万円~6万円(留学開始前一括支給)	派遣期間	派遣に上された月数以内	地域の制限なし	国際課	併用不可	条件有り併用可	
	フェリス学院大学海外留学奨学金	その他	留学、または研修参加決定後2か月以内	留学費用支援制度		派遣交換留学生、認定派遣学生、メタスタアプログラム派遣学生、海外短期研修参加学生で、経済的理由により海外留学が困難な者	貸付奨学金	1210万円(標準)。 派遣交換学生、認定派遣学生、50(50万円)まで申込み可能。 海外短期研修、メタスタアプログラムは、22(20万円)まで申込み可能。	5割額に於いて決定する。	地域の制限なし	国際課	併用可	併用可		
	フェリス学院大学大石奨学金	在学中	1~4年次	その他	障がいをもつ学生への経済的支援	各市町村発行による障害者手帳に記載されている「身体障害者障害等級2級、3級及び2級の者 卒業見込資格を有した者とし、学業・人徳ともに優れた、経済的に困難している学生。次の各欄に掲げる条件を満たす者。 (1)日本学生支援機構奨学金の申請資格を有する者 (2)日本学生支援機構奨学金第一種貸付基準内特別奨学金貸付基準該当者 (3)標準修得単位数を超過していない者 (4)1年次前期までの成績が平均2.5以上の者	給付奨学金	年額10万円	1年	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
フェリス学院大学石岡奨学金	在学中	4年次	特待生・成績優秀者 学費支援		卒業見込資格を有した者とし、学業・人徳ともに優れた、経済的に困難している学生。次の各欄に掲げる条件を満たす者。 (1)日本学生支援機構奨学金の申請資格を有する者 (2)日本学生支援機構奨学金第一種貸付基準内特別奨学金貸付基準該当者 (3)標準修得単位数を超過していない者 (4)1年次前期までの成績が平均2.5以上の者	給付奨学金	年額40万円	1年	1名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
フェリス学院大学入学選抜成績優秀者奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援		全学部1年次、入学における成績上位者。次年度以降の継続条件あり。	給付奨学金	基本授業料相当額。学費支援新制度との併用は可能だが、授業料減免の適用を受ける場合の給付金額は、基本授業料からその減免額を差し引いた金額とする。	学年期間を除く在学期間(最大3 semester)	66名	地域の制限なし	採用者の決定に関すること、入試課、給付に関すること、学生課	併用可	条件有り併用可		
フェリスチャレンジ制度	在学中	1~4年次生	課外活動支援制度		次の条件を満たす者であること ①1学期初め~10月1日1年次までの期間で完了する企画であること ②グループでの活動とし、グループ構成員全員が本学学生であること ③社会貢献、学生生活の向上を目指す企画であること。 ④活動目的が明確であること。 ⑤活動は5割以内で行うこと。	その他		報告(書添り)1回、1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
フェリス学院大学資格取得講座	在学中	1~4年次生 申請期間:2023年4月1日(土)~2024年3月31日(日)	資格取得支援制度		1~4年次の本学に在籍する学部生	その他	受講料の10%割引、入学金6000円免除	受講料・受講申込資格 入学金、資格の取次入学金	人数制限なし	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可		
横浜商科大学	学費免除奨学生制度	その他	学校出願時、及び入学時 その他	入学金・授業料減免 その他	施設設備費全額免除	入試試験受検時に高等学校などに在籍していた者が対象で、本学への入学時点で日本商工会議所主催の簿記検定試験1級の資格又は税理士試験科目合格した者	免除・減免	(1)入学金相当額を免除する。 (2)入学から最大4年目までの授業料を免除する。 (3)入学から1年目までの施設設備費を免除する。		(5)の金額欄に記載の内容を参照する。	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報課	併用可	併用可
	入学金免除奨学生制度	その他	学校出願時、及び入学時	その他	入学金免除	対象:本学入学者 条件 ①総合奨学金(特別)入試に合格した者 ②入学試験合格の時点で児童福祉が本学に在籍する者 ③入学試験合格の時点で日本国際教育支援協会・国際交流基金主催の日本語能力試験N1合格者、又は日本学生支援機構主催の日本語試験「日本語」の合計得点が300点以上の者 ④J-STEP「言語共通参加枠(CERF B1以上)又は日本商工会議所主催簿記検定試験のいずれかを本学入学までに合格した者 ⑤指定入学者入試に合格し、指定平均点が2.5以上の者	給付奨学金	入学金全額給付	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報課	併用可	併用可	
	横浜商科大学返済型奨学金制度	その他	条件を満たす2年~4年次から1名選出される。	特待生・成績優秀者		卒業成績優秀者	給付奨学金	400,000円給付	1年間	3名	地域の制限なし	アドミッション・広報課	併用可	併用可	
	横浜商科大学特待生	在学中	1年生~4年生	特待生・成績優秀者		特待生は、(1)~(2)のいずれかを満たす者。 (1)2年次生、3年次生、又は4年次生で、卒業成績優秀者9名(各学年各学科1名) (2)本学入学後に日本商工会議所主催簿記検定試験1級を通過していること、又は税理士試験科目合格等の要件を満たしていること	免除・減免	授業料・施設設備費全額免除	1年間		(1)各学年各学科より各1名 (2)人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報課	併用可	併用可
	資格取得奨励奨学金	在学中	資格取得時、在学中に際し	資格取得支援制度		横浜商科大学指定の資格取得者	給付奨学金	資格に於いて30,000円から100,000円	1回限り。	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	アドミッション・広報課	併用可	併用可
	授業料免除奨学生制度	その他	学校出願時、及び入学時	入学金・授業料減免		対象は本学入学者 入学時点で次の各号のいずれかに該当するものに対して、授業料全額免除する (1)総合奨学金(特別)入試に合格した者 (2)一般選抜入試(日経)または一般選抜(大学共通テスト(試験利用選抜))入試入試及び日経日程での合格者上位10%の者	免除・減免	授業料全額免除	最大4年間 指定入学者は卒業成績が一定以上であること条件に1年ずつ延長し、最大4年間免除します。	(3)参照	地域の制限なし	アドミッション・広報課	併用可	併用可	
	スカシップ	その他	合格時に通知	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		一般選抜第1期において、優秀な成績をおけた受験生。 スカシップ入学者(授業料・実業補習費・学費費免除。 スカシップ入学金免除。	免除・減免	①初年度124万円 ②入学金30万円	①3年間 ②1回限り	①20名 ②若干名	地域の制限なし	入試課	併用可	併用可	
田面調布学園大学	旗布守園西村一郎奨学金制度	在学中	①経済支援(1年生~4年生 6月上旬) ②卒業成績優秀(1年生~4年生 指名制のため本人申請なし)	学費支援		①経済支援 1~4年生全学部対象。家庭の経済状況、学業、人徳、卒業成績優秀。2~4年生全学部対象。1年間の成績において、特に優秀な成績を挙げ、かつ人的に優れた者。 2024年度新入生選抜(特待生型)(課題提出型1期・2期選考)、一般選抜(個別試験A日程)および(次入学共通テスト利用型1期)において成績上位者を学費減免とします。	免除・減免	当該年度の授業料の2分の1相当額	当該年度の後期	1級実務士 40名程度 2学業成績優秀者 若干名	地域の制限なし	学生生活・進路支援課	併用不可	併用可	
	学費減免チャレンジ入試制度	学校出願時		特待生・成績優秀者			免除・減免	減免S5:4年間授業料100%減免(計280万円) 減免S1:4年間授業料50%減免(計140万円) 減免S2:4年間授業料30%減免(計84万円) 減免S3:入学金相当額免除(計30万円)		減免S5:4年間 減免S1:4年間 減免S2:4年間 減免S3:入学時	2023年 40名 2022年 42名	地域の制限なし	入試・広報課	併用可	併用可
横浜薬科大学	特待生・特別奨学生 制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		【特待生・特別奨学生 制度】 本学で学びたいという強い意志を持った学生に対して、独自の奨学金制度を設定し、学生生活をより充実できるように様々な経済的支援を行っています。 特待生・特待生A・特待生B・特待生(薬科)特別奨学生 1.学業成績・人徳ともに優秀な学生に入学し、入学後の学業を奨励することを目的とするもの。 2.学内の経済的困難に陥り、学業に専念できる環境を整えるよう経済的サポートすることを目的とするもの。 3.奨励された学業(授業料)の返還期限は一切ありません。 ※2年次以降は前年度の学業成績、出席状況等の学費状況を審査しますが、特に問題ない限り、継続して適用されます。 1.対象者 新入生 2.選抜試験 入学選抜A日程・B日程の合格者のうち、成績優秀者6名を上限として特待生を選抜 3.奨励条件 本学が実施する入学試験における成績優秀者合資格に選出した者 4.応募条件 本学の建学の精神及び教育理念を十分に理解して薬学を学び、将来、立派な薬剤師・研究者・技術者・教員になることを熱望する者、入学試験の出願資格を満たす者	免除・減免	0.5年制(薬学専攻科・臨床薬学科・看護薬学科) ・特待生: 前年度学納金の40%(入学前全額免除) ・特待生A: 125万円(110万円免除) ・特待生B: 150万円(80万円免除) ・特別奨学生: 185万円(80万円免除) 0.4年制(薬料科) ・特待生: 初年度学納金 95万円(授業料100万円免除) ・特別奨学生: 初年度学納金155万円(授業料40万円免除)	0.5年制(薬料科)入学定員に対する募集人員(目安) 特待生:1人 特待生A:16人 特待生B:10人 特別奨学生:10人 0.4年制(薬料科)入学定員に対する募集人員(目安) 特待生・特別奨学生:若干名	学年進行上問題がなければ6年制 特待生は6年制、4年制12年間継続	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
	薬学専攻学費支援基金	在学中	1年生~4年生	学費支援		【薬学専攻学費支援基金】 本学において、学習意欲をもった在学生に対して、修学継続に必要な学費の全部又は一部を貸与することにより当該学生を支援し、経済的困難を軽減することを目的とする。 1.対象者 在学生 2.貸付手続 申込みは在学生本人とし、学費負担者の連帯保証が必要。 3.基金用途 学内に於ける1ヶ月単位での学費負担軽減(貸付期間が連続期間とする方法による。(直接支給はしない) 4.貸付期間 当該年度の1ヶ月とする。(更新可) 5.利息 無利息貸付とする。 6.貸付基金の返還方法 貸付総額を卒業年度の翌年度4月から本学指定の銀行口座に振り込み開始。(分割可) 7.基金に関する問い合わせ 学生課 045-459-1325(直通)	貸付奨学金	当該年度の学納金の全額又は一部です 日本学生支援機構から学費の貸し付けを受けることを優先し、その貸付額・学納金を限度として申請できます。 奨学金が停止されている場合は、学納金を限度として必要額を申請できます。	当該年度の1ヶ月とする。(更新可)	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
	横浜薬科大学	在学中	2~4	入学金・授業料減免		入学金を免除(在学生を対象。全学部対象。 ①学業成績が高く、経済的理由により修学が困難であると認められる者。 ②学業に専念できる環境を整えるよう経済的サポートすることを目的とするもの。 ③家計が急変し、修学の継続が困難な者。	免除・減免	授業料の全額または2分の1または4分の1を免除。	1年間		地域の制限なし	学務課(学生担当)	併用不可	併用可	
横浜薬科大学特別給付奨学金	在学中	1~4	入学金・授業料減免		日本学生支援機構給付奨学金に採用されていること。	免除・減免	日本学生支援機構給付奨学金の採用区分に於いて、授業料全額、2分の1、4分の1を免除	日本学生支援機構 給付奨学金 採用中		地域の制限なし	学務課(学生担当)	併用可	併用可		
横浜薬科大学特待生制度(在学生選考)	在学中	2~4	特待生・成績優秀者		入学選抜A日程(在学生を対象。全学部対象。 GPA制による前年度の学業成績が3以上でかつ30単位以上修得した者。(卒業上位者を含む)	免除・減免	授業料の全額または2分の1または4分の1を免除	1年間	各学年5名を上限として選考	地域の制限なし	学務課(学生担当)	条件有り併用可	併用可		
横浜薬科大学特待生制度(入試選考)	学校出願時		入学金・授業料減免		入学時、入学選抜A日程・B日程の合格者のうち、成績優秀者6名を上限として特待生を選抜 2.奨励条件 本学が実施する入学試験における成績優秀者合資格に選出した者 3.本人入試区分入学者(既に特待生に選出された者、編入合格者を除く)の1年次前期の学修成績上位12名を上限として特待生を選抜	免除・減免	授業料の全額または2分の1または4分の1を免除	1年間	1.成績優秀者6名を上限として選抜 2.成績優秀者10名を上限として選抜 3.成績優秀者12名を上限として選抜	地域の制限なし	学務課(入試係)	条件有り併用可	併用可		
横浜薬科大学出品・発表支援制度	その他	前期:当該年度の6月下旬 後期:当該年度の3月下旬 ※詳細な締切日程については、毎年5月頃に発表	課外活動支援制度		在学生及び教員が主催するグループ展・公開展等において出品や研究成果・論文等の発表を行う際にかかる費用を、1人当たり年間50,000円を上限として支援する制度です。(審査あり)	その他	年間/50,000円	申請締め切り / 年2回		地域の制限なし	学務課(学生担当)	併用可	併用可		
日本映画大学	入学選抜の成績優秀者に対する授業料減免	学校出願時		特待生・成績優秀者		入学選抜A日程における成績上位者	免除・減免	①年間100万円 ②学費相当額を限度	①1年間	①年間10名以内	地域の制限なし	入試・広報部	条件有り併用可	条件有り併用可	
	横浜創英大学	在学中	学生からの申請ではない	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		留学期間、優秀な資格取得を目指す本学学生に対し、在学中の前年度学業成績が優秀で品行方正な学生に対し給付を行う。1.対象者は、各学部の2~4年生 2.人数は、各学部各年次につき、2名以内。	給付奨学金	一人当たり18万円	1年(4月に全額支給)	12名	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
横浜創英大学	在学中	修学継続困難時	学費支援		入学選抜において家計の事情が変わり、修学を継続することが困難と認められる学生の学納金を補助することを目的として給付を行う。 1.対象者は、各学部の1~4年生 2.人数は、前年度1名4名以内。経済的理由による学納金の困難により修学することができないこと。 3.家計が急変し、修学の継続が困難な者。	給付奨学金	一人当たり25万円	在学中1回のみ	4名以内/年	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可		
湘南医歯大学	特待生制度(薬学部)	学校出願時		特待生・成績優秀者		薬学部では、総合選抜及び学校推薦選抜1種の合格者のなかから成績上位者を特待生として選抜し、授業料の全額または半額を免除します。 ※詳細については2024大学入学選抜学生募集要項をご確認ください。	免除・減免	授業料全額免除(1,450,000円) 6年総額1,700,000円 授業料半額免除(725,000円) 6年総額1,350,000円 ※詳細については2024大学入学選抜学生募集要項をご確認ください。		6年制 入学後、各年度末の学業成績が学年上位10%以内及び必修科目全単位修得の条件に達し、次年度以降が継続と判定する。 ※詳細については2024大学入学選抜学生募集要項をご確認ください。	計22名 ※詳細については2024大学入学選抜学生募集要項をご確認ください。	地域の制限なし	入試広報事務局	併用可	併用可
	ふれあいグループ奨学金	入学後		学費支援		ふれあいグループの選考基準に基づき、本学に卒業継続の支援を目的として貸与します。 ※詳細については2024大学入学選抜学生募集要項をご確認ください。	貸付奨学金	50,000円または20,000円 最高4ヶ月間(30,000円)貸付した場合は、総額1,440,000円 ※詳細については2024大学入学選抜学生募集要項をご確認ください。	履修表(貸付)・留学期間は除く ※詳細については2024大学入学選抜学生募集要項をご確認ください。	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援	併用可	併用可	



大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の対象時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」「その他」の具体的内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
グローバルBiz専門 職大学	開学記念深堀特別奨学金	入学手続時		入学金・授業料減免	いずれかの選抜にて合格し、出願時に開学記念深堀特別奨学金受給を希望し、世帯全員の課税証明書(所得証明書)を提出した者	現在、高等学校最終学年に在学中(2024年4月に本学への入学を希望する者)の中で、経済的事由により高等教育機関への進学等が困難な学生を対象としています。なお、この奨学金は本学の新生奨学金との併用が可能です。	給付奨学金 免除・減免	奨学金 最大100万円 1年次 40万円(入学金 20万円および学費 20万円) 2年~4年次 各年次 20万円(前年度の GPA と出席率による継続審査有)	1年次、2年~4年次(前年度の GPA と出席率による継続審査)	1人数制限なし	地域の制限なし	入試企画室	併用可	併用可	
	深堀学園優秀新生奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	総合型選抜合格者、学校推薦型選抜合格者、一般選抜合格者で、出願時に深堀学園優秀新生奨学金受給を希望し、期日までに入学手続きを済ませた者		給付奨学金 免除・減免	20万円~50万円	1年次	16名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	入学前資格奨学金	入学手続時		学費支援 資格取得支援制度	対象者: いずれかの選抜方法の合格者で、かつ出願時に入学前資格奨学金受給を希望し、資格の証明書のコピーを提出し、期日までに入学手続きを済ませた者 対象資格: 実用英語技能検定(英検)準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 800点、日商簿記検定試験1級、日本語能力試験N1 選抜方法: 選抜試験の成績並びに書類		給付奨学金 免除・減免	10万円	1年次	11名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	地方新生奨学金	入学手続時		学費支援	対象者: 総合型選抜の合格者、学校推薦型選抜合格者、一般選抜合格者、社会人選抜合格者で、出願時に地方新生奨学金を希望し、期日までに入学手続きを済ませた者。 対象資格: (離島を除く東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・茨城県・栃木県・群馬県)以外の出身者 選抜方法: 選抜試験の成績並びに書類		給付奨学金 免除・減免	10万円	1年次	110名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	優秀留学生奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	対象者: 私立外国人留学生選抜合格者で、出願時に優秀留学生奨学金受給を希望し、資格の証明書のコピーを提出し、期日までに入学手続きを済ませた者 対象資格: 日本語能力試験 N1 または日本留学試験の読解・聴解の合計が 280 点以上の者 選抜方法: 選抜試験の成績並びに書類		給付奨学金 免除・減免	20万円	1年次	13名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	留学生奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免	対象者: 私立外国人留学生選抜合格者で、出願時に留学生奨学金受給を希望し、期日までに入学手続きを済ませた者 選抜方法: 選抜試験の成績並びに書類		給付奨学金 免除・減免	10万円	1年次	14名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	深堀学園優秀者奨学金	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免	前年度の出席率が95%以上で、対象年度の成績が極めて優秀、または素晴らしい成果を上げた学生		給付奨学金 免除・減免	20万円~50万円	2年生~4年生の各申請年	2年生~4年生の各学年6名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	資格奨学金	入学後		学費支援 資格取得支援制度	対象者: 在学中に対象資格を取得した、学業成績、人物共に優れた学生 対象資格と奨学金: 通関士(20万円)、TOEIC 860点以上(15万円)、基本情報技術者試験(5万円)、日本語能力試験 N1(10万円、留学生のみ)		給付奨学金 免除・減免	5万円~10万円	1年~4年、各学年次	各学年13名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	経済支援奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免	1年~4年生対象 経済支援を必要とする、学業成績、人物共に優れた学生		給付奨学金 免除・減免	10万円	各学年次	各学年10名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	海外活動奨学金	入学後		学費支援 入学金・授業料減免	1年~4年生対象 対象年度に海外活動(インターンシップ)を終え、学業成績、人物共に優れた学生		給付奨学金 免除・減免	10万円	各学年次	各学年5名程度	地域の制限なし	入試企画室	併用可	条件有りて併用可	
	帝京科学大学	特待生制度	在学中	1年生~3年生	特待生・成績優秀者	1年~3年生の全学部生 基幹科目5科目の平均が90点以上かつ学部の推薦がある者		免除・減免	学生納付金のうち、授業料、実験実習費及び施設設備費の25%を減免	1年間	48名以内	地域の制限なし	教務課学生第1係	併用可	条件有りて併用可
		帝京科学大学奨学金	在学中	1年生~4年生	入学金・授業料減免	1年~4年生対象 ①申請日以前1年以内に発生した家計急変により、学生納付金の納入が困難であると認められた者 ②成績優秀者		免除・減免	学生納付金のうち、授業料の50%を減免	半期	人数制限なし	地域の制限なし	教務課学生第1係	併用可	条件有りて併用可